

1560迄 (1476件)

1551年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダ王国マハラジャ「Nilakendra/Tohaan di Majaya」(~1567年)
1551年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王国マンラーイ朝国王「メーク」(~1564年)
1551年-05:30|スリランカ| |||<即位>コッテ王国国王「タムパ・ラ」(~15970527死去)
1551年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Hassan9世 Dhirukusa Loka」(~1552年)
1551年-04:00|ロシア| |||<再位>カザン・ハン「シャー・ア・リー」(3回目~1552年3月)
1551年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||シャッキはペルシャに併合される
1551年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「ムハンマド・パシャ」(2回目~1561年)
1551年-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「サヒブ1世ギレイ」
1551年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「フランチェスコ・デ・マルコ・カペッロ」(~1553年)
1551年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「ヘンリック・ホルン・ティル・カンガス」(~1561年)
1551年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「テケグル・メフメト・パシャ」(~1552年)
1551年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「デ・イコ・デ・モスク」(~1554年)
1551年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国第16代ハン「デヴレト1世ギレイ」(~15770629死去)
1551年-01:00|ポーランド| |||<就任>ポーランド公「イザベラ・ヤキェロンカ」、「サホ・ヤイ・ヤノシュ・ジグモント」(~1556年) 共同統治
1551年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ソフィ・メフメト・パシャ」(~1553年)
1551年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「アンヌ」(~15671112死去)
1551年-01:00|ポーランド| |||<就任>レグニツァ公「ヘンリ9世」(~1556年)
1551年-01:00|アルジェリア/モロッコ| |||モロッコのサート朝がトレムセンに侵攻しザイヤン朝スルタンが逃亡
1551年 00:00|イギリス| |||<就任>4代バカン女伯「クリスティーナ・ステュアート」(~15800920死去)、4代バカン伯(妻の権利)「ロバート・タゲラス」(~1580年)
1551年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「オッテ・ヴァイデ・ティル・ヒンデラッフ」(2回目~同年)⇒「エッガート・ハッソン」(~1553年)
1551年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ネリフェ島知事「Juan Ruiz de Miranda」(~1554年)
1551年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ウィリアム・ハーバート」(~15700317死去)
1551年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ペドロ・バルデス・ロサス」
1551年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<死去>カーボベルデ 諸島のコレヒートル/治安判事「ルヘ・ビメンテル」
1551年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 諸島のコレヒートル/治安判事「ジョアン・ロドリゲス・カストロ」(~1555年)
1551年1月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ルカ・スピノラ」(~15530104)
1551年1月11日-09:00|日本|愛知県刈谷市|天文19年12月5日|山口左馬助教継が今川方になったので、後詰を諦めた織田信秀は、刈谷城主(刈谷市城町)水野藤九郎守忠以下の赦免を条件に刈谷城を開城/松井宗信、刈谷城開城時に尾張衆が防いだ為、直ちに馳せ入り度々の合戦で同心・親類・被官、随分の者数多く討死
1551年1月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ベッドフォード伯「ジョン・ラッセル」(~15550314死去)
1551年1月25日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|天文19年12月19日|島津貴久が居城を内城へ移す/父の島津忠良は加世田城に隠居
1551年1月28日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルリスボン地震、死者2千人
1551年2月3日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天文19年12月28日|<坂戸城の戦い(越後国)>長尾景虎の家督相続に反対した坂戸城主長尾政景(上田長尾家当主。上杉景勝の父)が坂戸城に籠り、謀反を起こす/景虎は、会津の黒川城主(会津若松市)の蘆名盛氏が政景に加担することを恐れて、ただちに蘆名氏の臣松本右京亮に政景謀反を伝え、先手を取った
1551年2月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ツェルプスト侯「Johann5世」
1551年2月4日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ツェルプスト侯「Karl1世」(~15610504死去)、「Bernhard7世」(~15700301死去)、「Joachim Ernest」(⇒1570年アンハルト侯~15861206死去)
1551年2月6日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文20年|異雪和尚[長門国大寧寺十三世]が龍蔵寺を開く
1551年2月6日-09:00|日本|北海道|天文20年|蝦夷地/蠣崎季広、アイヌと講和/瀬棚の酋長を上/国を置いて西蝦夷の長とし、知内の酋長を東蝦夷の長とす
1551年2月6日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|天文20年|<死去>伊勢神戸領主「神戸具盛」⇒子の「神戸長盛」が継ぐ(~天文21(1552)年死去)
1551年2月6日-09:00|日本|山梨県甲州市|天文20年|武田晴信、京都の仏師康清を招き、自らの肖像彫刻武田不動尊像(恵林寺保存)を造立させる
1551年2月20日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天文20年1月15日|<広瀬郷の戦い>長尾景虎が発智長芳の居城・板木城を攻撃し勝利
1551年2月27日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|天文20年1月22日|<死去>下野烏山領主「那須高資」大田原資晴と宇都宮広綱が千本城(千本資俊)に誘い出して謀殺⇒弟の「那須資胤」が継ぐ(~天正11年02月11日(15830403)死去)
1551年3月14日-09:00|日本|滋賀県大津市|天文20年2月7日|<志賀合戦>松永久秀・長頼兄弟、足利義藤・細川晴元らを志賀から追う/六角定頼が足利義藤・細川晴元らを支援、松永長頼に勝利
1551年3月17日-09:00|日本|滋賀県高島市|天文20年2月10日|足利義輝、近江・朽木に移座
1551年3月19日-09:00|日本|山梨県|天文20年2月12日|<出家改名>甲斐国守護「武田晴信」除髪⇒「武田信玄」を名乗る
1551年3月31日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|天文20年2月24日|<死去>上杉憲寛(不明)元関東管領
1551年4月-01:00|リビア/マルタ| |||<就任>マルタ騎士団のトリスタニア総督「カスパー・レ・デ・ヴァリエス」(~8. 14)

1560迄 (1476件)

1551年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジ・ローテ・ジャンニニ」「マリノ・ディ・アントレ」
1551年4月2日-09:00|日本|栃木県栃木市|天文20年2月26日|<死去>下野皆川領主「皆川成勝」⇒子の「皆川俊宗」が継ぐ(〜天正元年09月11日 (15731006) 死去)
1551年4月4日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文20年2月28日|<鹿ヶ谷合戦>細川晴元・六角義賢の連合軍、京都鹿ヶ谷に放火して三好長慶軍と交戦するも退却
1551年4月12日 11:00|日本|京都府京都市|天文20年3月7日|夜、三好長慶が吉祥院の陣に伊勢貞孝を招き酒宴中、放火未遂があった
1551年4月15日-09:00|日本|群馬県藤岡市|天文20年3月10日|<第1次平井城合戦>北条氏康、関東管領山内上杉家を関東から追う(岩付太田資正や箕輪長野業正らは北条家に帰属)
1551年4月19日-09:00|日本|京都府京都市|天文20年3月14日|奉公衆の進士賢光、伊勢貞孝の屋敷で三好長慶の殺害を謀るも失敗
1551年4月20日-09:00|日本|京都府京都市|天文20年3月15日|細川晴元方の丹波勢、京都に進出。京都郊外を放火
1551年4月20日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文20年3月15日|香西元成・柳本・宇津・三好政勝と三好長虎率いる軍勢20000が戦い、長虎が勝利
1551年5月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>「バタ」の「ペイルベイ」「ハテム・アリ・パシャ」(1回目〜1553年8月)
1551年5月1日-02:00|ルーマニア| |||<就任>「モルダヴァ」摂政「ステファン・アレク」(〜15510611)、「エリナ(エリナ・キザン)」(〜15510611)
1551年5月12日 05:00|ペルー| |||<設立>ペルー・王立リマ大学(南北アメリカ大陸最古の大学、⇒国立サンマルコス大学)
1551年5月18日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<死去>「リウ」オニア騎士団団長「ヨハン・フォン・デア・レック」
1551年5月18日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<就任>「リウ」オニア騎士団団長「ハインリッヒ・フォン・ガレン」(〜15570530没)
1551年5月23日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ジェームズ・クロフト長老」(〜15521209)
1551年6月2日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>「ヌバグ」ラダ 総督「ファン・デ・モンターニョ」(〜1558年没)
1551年6月8日-09:00|日本|大阪府東大阪市|天文20年5月5日|<若江城の変>河内守護代・遊佐長教が珠阿弥に暗殺される
1551年6月11日-02:00|ルーマニア| |||<就任>「モルダヴァ」総督「ステファン6世」(〜15520901死去)
1551年6月23日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<死去>ノルウェー総督「ペーター・ハンソン・ティル・セム・オグ・フォス」
1551年6月24日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<就任>ノルウェー総督「イエスパー・フリス・ティル・アールスレフ」(〜15560623)
1551年6月26日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王アンリ2世、「シャトー・ブリアン勅令」を出す/「リルボーン」の神学者の保証がない一切の「宗教書」の印刷を禁止/カヴァン派が禁止される/プロテスタントへの弾圧についての管轄を再び「国王裁判所」とする
1551年6月29日-09:00|日本|長野県上田市|天文20年5月26日|武田方の真田幸隆の謀略により、村上方城主山田国政の小県郡戸石城落城/村上義清越後に亡命
1551年7月4日-09:00|日本|茨城県水戸市|天文20年6月|佐竹義昭、江戸忠通を臣従させる
1551年7月11日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天文20年6月8日|日向伊東氏11代当主・伊東義祐、佐土原に大仏殿を建立
1551年7月14日 00:00|イギリス| |||<死去>「サフォーク公」「ヘンリー・ブラントン」
1551年7月14日 00:00|イギリス| |||<就任>「サフォーク公」「チャールズ・ブラントン」(〜同年消滅)
1551年8月2日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文20年7月|伊東勢、鬼ヶ城を攻め落とし、木脇祐守を城主にあて、清武・加江田衆を守備兵とする
1551年8月11日-09:00|日本|福井県|天文20年7月10日|<死去>前若狭国守護「若狭武田氏第6代当主・武田元光」
1551年8月12日-09:00|日本|福島県|天文20年7月11日|陸奥/畠山・白川結城氏の仲介で、蘆名盛氏と田村隆顕が和睦
1551年8月14日-01:00|リビア/トルコ/マルタ| |||マルタ騎士団がトリポリ(現代のリビア)でオスマン帝国に敗れオスマン朝がリビアのトリポリを占領
1551年8月15日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ「リタア・ベイルベイ」「ムラト・アガ」(〜1556年)
1551年8月15日-09:00|日本|京都府京都市上京区|天文20年7月14日|<相国寺合戦>三好政勝・香西元成ら、丹波国より入京して相国寺に布陣。松永久秀(三好長慶部将)ら、これを撃退/京都相国寺、三好軍と松永軍の戦闘により全焼
1551年8月21日-09:00|日本|群馬県藤岡市|天文20年7月20日|<第2次平井城合戦>北条氏康、平井城を開城
1551年9月-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェの「ペイルベイ」代行「ハリファ・サッファ」(〜1552年5月)
1551年9月1日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|天文20年8月1日|<坂戸城の戦い>坂戸城の長尾房長・政景父子は誓詞を送り長尾景虎に和平を申し出て降伏/景虎、ほぼ越後を掌握
1551年9月2日-09:00|日本|千葉県|天文20年8月2日|<死去>上総国大名「真里谷信隆」(親北条派)⇒子の「真里谷信政」が家督継承
1551年9月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>「ブラウンスヴィーク」ケルンハーゲン侯「フィリップ1世」
1551年9月4日-01:00|ドイツ| |||<就任>「ブラウンスヴィーク」ケルンハーゲン侯「エルスト3世」フィリップ1世の息子(〜15670402死去)
1551年9月12日 05:00|ペルー| |||「メンドサ」ペルー副王として着任
1551年9月13日-09:00|日本|長野県松本市|天文20年8月13日|武田晴信軍、小笠原長時の属城信濃国刈谷原城を攻略
1551年9月20日-09:00|日本|広島県|天文20年8月20日|<安芸争乱>陶隆房と毛利元就、連携して大内家に敵対。陶隆房は厳島を占拠。毛利元就は安芸銀山城を占拠
1551年9月22日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国議議政「沈連源」(〜15580604)

1560迄 (1476件)

1551年9月22日-01:00|フランス| |||<即位>ロングヴァイル公「レオナル」(~15730807死去)
1551年9月23日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「モンテ・ヘル侯・テンデ・イラ伯アントニオ・デ・メントーサ」(~15520721没)
1551年9月26日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランス軍が、ザクセンで神聖ローマ皇帝軍を破る
1551年9月28日-09:00|日本|山口県山口市|天文20年8月28日|<大寧寺の変(周防国、長門国)>若山城から出陣した陶軍は、隆房率いる本隊が徳地口から、陶家臣の江良房栄・宮川房長率いる別働隊が防府口から山口に侵攻/杉・内藤の軍勢も呼応して陶軍の陣営に馳せ参じた/義隆は、大内氏館・築山館を出て多少でも防戦に有利な山麓の法泉寺に退き本堂に本陣を置き、嶽の観音堂・求聞寺山などを隆豊らが固めたが、一緒に逃亡した公家たちや近習らを除けば、義隆に味方した重臣は隆豊くらいであり、兵力も2,000~3,000人ほどしか集まらなかった/組織的な抵抗もほとんどできず、空となった大内氏館や周辺の近臣邸は、火をかけられたり、宝物を略取されたりした
1551年9月29日-09:00|日本|京都府京都市|天文20年8月29日|<死去>二条尹房。陶晴賢の反乱に巻き込まれて殺害された(56歳)元関白、内大臣
1551年9月29日-09:00|日本|山口県山口市|天文20年8月29日|<大寧寺の変(周防国、長門国)>法泉寺の義隆軍は山口を放棄して長門に逃亡/法泉寺には、陶隆康が殿として残って討ち死に/継室のおさいの方は、山口宮野の妙喜寺(現在の常栄寺)に逃れた
1551年9月30日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天文20年9月|丹後国加佐郡代官の殺害を発端として所領を失った加佐郡衆が、郡内所々に城郭を構えて武田氏と戦う
1551年9月30日-09:00|日本|熊本県|天文20年9月|肥後・大友義鎮、肥後北半を平定し、豊後岡城主・志賀親守を肥後守護代とする
1551年9月30日 01:00|日本|山口県長門市|天文20年9月1日|<死去>備後・安芸・周防・長門・石見・筑前・豊前国守護「大内義隆」10時頃、陶晴賢の謀叛により逃亡先の長門の大寧寺で前関白二条尹房や三条公頼らと共に自害/45歳
1551年10月-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「ナラパティ4世」(~15550122)
1551年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ピエール・レオネ・コルベッリ」「ピエール・マッテオ・ベルツィ」
1551年10月1日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク公「ヘンリー・グレイ」トーマセット侯(~15540223処刑剥奪)
1551年10月1日-09:00|日本|山口県|天文20年9月2日|大内義隆の嫡男・義尊は従者と共に逃亡するが陶方の追っ手によって殺害された/義隆の次男(義尊の弟)である問田亀鶴丸は、母方の祖父が内藤興盛の孫(興盛の娘の子)であることもあり助命された
1551年10月3日-09:00|日本|広島県東広島市|天文20年9月4日|<頭崎城合戦>毛利元就、東西条の大内領に兵を進め、義隆派の平賀隆保が籠もる頭崎城を攻め、隆保は頭崎城から逃亡して、槌山城の菅田宣眞の元に入った
1551年10月3日-09:00|日本|福岡県北九州市八幡西区|天文20年9月4日|<花尾城合戦>陶隆房、相良武任に勝利。相良武任は討死
1551年10月4日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文20年9月5日|伊東軍、目井城を攻め、城主新納河内守を打ち取る
1551年10月8日-09:00|日本|広島県広島市安芸区|天文20年9月9日|<鳥籠山城合戦>毛利元就、阿曾沼隆郷に勝利/阿曾沼隆郷、隠居し阿曾沼広秀が家督継承
1551年10月8日-09:00|日本|福岡県糟屋郡須恵町|天文20年9月9日|<高鳥居城合戦>陶隆房、杉興運に勝利。杉興運は討死
1551年10月10日-09:00|日本|広島県東広島市|天文20年9月11日|毛利元就は、吉川・小早川・宍戸らと共に軍勢4000で大内義隆方槌山城を攻め降伏させた
1551年10月11日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ノサンバランド公「ジョン・ダドリー」初代ウリック伯(~15530822大逆罪で処刑・爵位剥奪)
1551年10月11日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ウィリアム・ハーバート」(~15700317死去)
1551年10月12日 00:00|イギリス| |||<就任>ウィンチェスター侯「ウィリアム・ホーレット」ウルトシャー伯(~15720310死去)
1551年10月12日-09:00|日本|秋田県秋田市|天文20年9月13日|<死去>出羽湊領主「安東(湊)堯季」⇒子の「安東(湊)茂季」が継ぐ(~元亀元(1570)年)
1551年10月26日-01:00|アンドラ| |||<死去>アンドラ公国共同大公「ウルヘル司教フランチェスコ・ウーリス」
1551年10月26日-01:00|アンドラ| |||<就任>アンドラ公国共同大公「ウルヘル司教ジョアン・プニェット」(~15521022)
1551年11月3日-01:00|フランス/ドイツ| |||ザクセン選帝侯モリッツが、マゲデブルクを占領
1551年11月10日-09:00|日本|広島県三原市|天文20年10月13日|小早川隆景は竹原小早川家の本拠・木村城を出て沼田小早川家の高山城に入った
1551年11月11日-09:00|日本|長野県大町市|天文20年10月14日|村上義清、丹生子城を攻め落とす
1551年11月21日-09:00|日本|長野県松本市|天文20年10月24日|<平瀬城合戦>信濃・武田晴信、小笠原長時属城・平瀬城(平瀬義兼)を攻略。平瀬義兼は自害
1551年11月22日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文20年10月25日|<村中城の戦い>豊後の大友氏と結ぶ胤栄の旧家臣の土橋栄益が胤信を廃し龍造寺鑑兼を担いで村中城を攻撃/隆信は降伏開城して一敗地に塗れて蒲池鑑盛(柳川城主)を頼って筑後に落ち延びた/村中城には勝った龍造寺鑑兼が入った
1551年11月24日-09:00|日本|長野県安曇野市|天文20年10月27日|武田晴信、同郡小岩岳城を攻めるが失敗
1551年12月27日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文20年12月|領主牧野出羽守保成代官渡部孫兵衛、素盞鳴神社(豊橋市長草町)薬師如来造営
1551年12月27日-09:00|日本|石川県|天文20年12月|<交替>能登国守護「畠山義統」隠居⇒「畠山義綱」(~永禄9年(1566)11月追放)
1552年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Baltasar Veloso」(~同年)⇒「Francisco L

1560迄 (1476件)

opes de Sousa (~1553年)
1552年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャバロ・スルタン「Kaicili Guzarate」(~不詳)⇒「Kodrat」(~1605年)
1552年-08:00|インドネシア| |||<即位>パテン王国スルタン「マウナ・ハサデ・イン」(~1570年)
1552年-08:00|インドネシア| |||パテン王国スナン・グヌンジャティ(ワレハン)がチレボン王国(西部ジャワのイスラム教国)建国、本拠地をパテンから移し引退/その子ハサデ・イン(ハサン・ウッディーン)が後を継ぐ(~1570)
1552年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Ibrahim Shah」(~1555年)
1552年-05:30|インド| |||<即位>パンディヤ朝君主「Nelveli Maran」(~1564年)
1552年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニ朝ハン「ナウルズ・アフマド・ハン(バラク・ハン)」アブル・ハイルの子セフ・インチ・ホージャの子(~1556年)
1552年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「ヤムグルチ」(3回目~1554年)
1552年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「サムシ・アフマド・ハ・シャ」(~1555年)
1552年-02:00|ルーマニア/トルコ| |||ティミショアラのビライエツはオスマン帝国の一部
1552年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>スルツ伯・クレットガウ方伯「ルトルフ2世」
1552年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファトゥーツ執行官「ユエナリス・クレター」(~1580年)
1552年-01:00|ベルギー/フランス| |||ブイヨンをフランスが占領(~15590403)
1552年-01:00|スペイン| |||ラス・カサスが「インディアスの破壊に関する簡潔な報告」を刊
1552年 00:00|カナダ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「フィリペ・ホ」⇒「ルイ・デ・メロ」(~1556年)
1552年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Henry Stanley」(~1570年)
1552年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「ファン・ペレス・デ・カブレラ」(~1555年)
1552年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「カスパル・デ・セペタ」(~1554年)
1552年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア市長「アロンソ・オルティス・アルゲタ」(~1553年)
1552年1月15日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランス王アンリ2世、ドイツのザクセン選帝侯モーリッツらプロテスタント諸侯(「シュマルカルデン同盟」と「同盟」し、「ジャンボール条約」を結ぶ/神聖ローマ皇帝カール5世に対抗し、「ドイツ・フランス戦争」を始める(~1553年)
1552年1月22日 00:00|イギリス| |||<死去>サセツ公「エドワード・シーモア」反逆罪で処刑される(誕生1506年)
1552年1月23日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天文20年12月28日|日向伊東氏11代当主・伊東義祐、大仏殿に大仏を安置
1552年1月26日-09:00|日本|岐阜県|天文21年|<追放>美濃国守護「土岐頼芸」滅亡⇒<就任>美濃領主「斎藤道三」(~天文23(1554)年03月隠居)
1552年1月26日-09:00|日本|徳島県阿波市|天文21年|松永久秀、「松永城(犬墓城)」を阿波国阿波郡(徳島県阿波市)に築く
1552年1月26日-09:00|日本|長崎県南島原市|天文21年|<交替>肥前高来郡一円領主「有馬晴純」⇒嫡男の「有馬義貞」(~元亀元(1570)年隠居)
1552年1月26日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|天文21年|<死去>伊勢神戸領主「神戸長盛」⇒子の「神戸利盛」が継ぐ(~1559(永禄2)年)死去)
1552年1月26日-08:00|モンゴル| |||アルタン軍が北モンゴルでオイラトに大勝しカラコムを奪回
1552年1月26日-09:00|日本|大阪府|天文21年1月|<交替>摂津国守護「細川晴元」隠居⇒「細川氏綱」(~永禄6年12月20日(15640104)死去)
1552年1月26日-09:00|日本|京都府|天文21年1月|<交替>丹波国守護「細川晴元」隠居⇒「細川氏綱」(~永禄6(1563)年12月20日死去)
1552年1月27日-09:00|日本|滋賀県|天文21年1月2日|<死去>近江国守護「六角定頼」⇒「六角義賢」が継ぐ(~弘治3(1557)年隠居)
1552年2月4日-09:00|日本|新潟県|天文21年1月10日|上野・関東管領・上杉憲政、北条氏康に平井城を追われ、越後国主長尾景虎を頼る
1552年2月5日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天文21年1月11日|上杉龍若丸は小田原に連行され一宮に於て誅殺される
1552年2月5日-09:00|日本|山口県宇部市|天文21年1月中旬|陶隆房は、周防大崎に蟄居する杉重矩を攻め、重矩は長門万倉(宇部市)の長興寺に逃れるが追い詰められ自害
1552年2月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェリーン公「ハインリヒ5世」
1552年2月6日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュヴェリーン公「フィリップ1世」ハインリヒ5世の息子(~15570104死去)ヨハン・アルブレヒト1世と共同統治
1552年2月9日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王国執事「エスケ・ビルゲ・ティル・スヴァンホルム」
1552年2月9日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事代行「ヨハン・フリス・ティル・ヘッセルガー」(2回目~15590107)
1552年2月12日-01:00|フランス/オーストリア| |||フランス王アンリ2世、神聖ローマ皇帝カール5世に宣戦布告
1552年2月22日-09:00|日本|京都府京都市|天文21年1月28日|<天文の和議>足利義輝、三好長慶と和睦/足利義輝は細川昭元(晴元嫡子)を伴い近江国より帰洛
1552年2月25日-09:00|日本|大阪府|天文21年2月|<交替>河内・紀伊国守護「畠山政国」隠居⇒「畠山高政」(~永禄3(1560)年10月)
1552年2月25日-09:00|日本|千葉県千葉市|天文21年2月|下総・里見義堯、生実・有吉城を攻撃、破れて上総に退却
1552年3月-04:00|ロシア| |||<即位>ガザン・ハン「ヤティガル・ムハンマド」(~10月)
1552年3月5日-09:00|日本|大阪府大東市|天文21年2月10日|河内下半国守護代・安見直政、飯盛城下に「数奇の座敷」を造営し河内上半国守護代・萱振を招待し酒宴半ばで萱振主従10人を斬殺後、直ちに家臣を高屋城下に向かわせ萱振屋敷を襲撃させ萱振一族の子女全てを殺害

1560迄 (1476件)

1552年3月5日-09:00|日本|新潟県|天文21年2月10日|関東管領上杉憲政、後北条氏に追われ、越後の長尾景虎を頼る

1552年3月6日-09:00|日本|埼玉県児玉郡神川町|天文21年2月11日|北条氏康、関東管領上杉氏傘下・安保泰広の御嶽城を落とす

1552年3月16日-09:00|日本|大阪府大東市|天文21年2月21日|安見宗房、萱振賢継を飯盛城に招いて暗殺

1552年3月16日-09:00|日本|埼玉県児玉郡神川町|天文21年2月21日|北条氏康、御嶽城を落とす

1552年3月16日-09:00|日本|千葉県千葉市緑区|天文21年2月下旬|里見義堯、北条氏の拠点有吉城を攻めたが破れて上総に退却

1552年3月21日-09:00|日本|京都府京都市|天文21年2月26日|<任命>室町幕府準管領「細川氏綱」(~永禄6(1563)年12月20日死去)

1552年3月25日-09:00|日本|群馬県藤岡市|天文21年3月|<平井城攻略戦>北条氏康が、関東管領である上杉憲政の居城の平井城を攻略/憲政は、越後国へ逃亡

1552年3月26日-09:00|日本|新潟県|天文21年3月2日|<改姓>越後国主「長尾景虎」上杉憲政から名跡を譲られる⇒「上杉景虎」

1552年3月27日-09:00|日本|愛知県名古屋市中種区|天文21年3月3日|<死去>尾張国末森城主「織田信秀」病で/42歳⇒長男「織田信長」が家督を嗣ぐ

1552年3月27日-09:00|日本|山口県|天文21年3月3日|<就任>周防・長門国主「大内義長」大友晴英が周防山口に入り大内氏を嗣ぎ改名(~弘治3(1557)年4月3日自害断絶)

1552年4月1日-01:00|サマリ| ||<就任>サマリ/共和国執政「ジ・オ・ロ・ウ・イ・コ・デ・イ・マッテオ・ベルツィ」「バルト・デ・イ・ガスパール」

1552年4月1日-09:00|日本|長野県上田市|天文21年3月8日|<時田合戦(常田合戦)>上原昌辰、上原昌成らが討死

1552年4月6日 01:00|アリス諸島/ホルガル| ||<就任>ガラオザ島ドナリア長官「Fernando Coutinho2世」(~1573年)

1552年4月10日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ2世、フランス北東部ロレーヌ地方のロレーヌ、トゥール、ヴェルダンを抜き、帝国都市メッツ占領

1552年4月14日-09:00|日本|福井県|天文21年3月21日|<若狭遠敷合戦>粟屋一族の牢人衆粟屋右馬允、遠敷郡に攻め入り武田信方と戦って敗退

1552年4月16日-09:00|日本|福岡県|天文21年3月23日|宗像家の鍋寿丸(宗像氏貞)擁立派は、側室の子である鍋寿丸を当主に据えるため、先代当主の正室母子を山田館にて斬殺

1552年4月24日-09:00|日本| ||天文21年4月|<死去>十四屋宗伍(不明)茶人

1552年4月25日-09:00|日本|岡山県|天文21年4月2日|<交替>備前国守護「浦上宗景」⇒「尼子晴久」(~永禄3(1560)12月24日死去);<交替>美作国守護「赤松晴政」⇒「尼子晴久」(~永禄3(1560)12月24日死去)

1552年4月25日-09:00|日本|島根県|天文21年4月2日|<任命>出雲・隠岐国守護「尼子晴久」(~永禄3(1560)12月24日死去)

1552年4月25日-09:00|日本|鳥取県|天文21年4月2日|<任命>因幡・伯耆国守護「尼子晴久」(~永禄3(1560)12月24日死去)

1552年4月25日-09:00|日本|広島県|天文21年4月2日|<任命>備中・備後国守護「尼子晴久」(~永禄3(1560)12月24日死去)

1552年5月-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのベルムベ「サラ・ライス」(~1556年)

1552年5月4日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天文21年4月中旬|<佐和山城合戦>京極高広が佐和山城を攻撃、六角義賢は荒神山に本陣を置いて高広軍に対峙するが敗れ高広方は佐和山城を占領

1552年5月4日-09:00|日本|長野県|天文21年4月11日|<常田合戦>村上義清、武田晴信に勝利

1552年5月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中緑区|天文21年4月17日|<赤塚の戦い(尾張国)>鳴海城主の山口教繼が駿河の今川義元に寝返り、子の教吉を鳴海城に置き、笠寺城を修築して今川方の葛山長嘉・岡部元信・三浦義就・飯尾乗連・浅井政敏を引き入ると、自らは桜中村城に立て籠もった/織田信長は兵800で那古野城を出陣し小鳴海に移動し、三の山へ登った/山口教吉が三の山の東、鳴海からは北にある赤塚に1500の兵で出陣して来たので信長も赤塚に進軍し、両者は先陣を繰り出して戦闘に突入/矢戦の後、槍戦となり、巳の刻より午の刻(およそ午前10時から正午ごろ)まで乱戦が続けられた/信長側は30騎が討ち死にした/勝敗は付かず、元々は味方同士で顔見知りの間柄だったため、敵陣に逃げ込んだ馬はお互いに返し合い、生け捕りになった者も交換して帰陣

1552年5月24日-09:00|日本|愛知県西尾市|天文21年5月|尾張国金蓮寺に釈迦涅槃図が寄進される

1552年6月15日-09:00|日本|大阪府|天文21年5月23日|畠山高政が河内に侵攻、畠山尚誠、敗れて没落

1552年6月15日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天文21年5月23日|<第2次八上城の戦い>(4月25日~)三好長慶、丹波に出陣し八上城を攻めるが波多野晴通が防ぐ

1552年6月18日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文21年5月26日|<大給城北沢水手戦い>今川方東条松平甚太郎忠茂、大給松平親乗を攻め、松平忠茂被官石原藤二郎・蜂谷又一郎・加納甚三・松平彦一・小者藤若が敵三人を討ち取る

1552年6月22日-01:00|ルクセンブルク/スペイン| ||<就任>スペイン領ルクセンブルク総督兼総司令官代行「エグモン伯爵ラモル⇒ゲルター元帥マルティン・ファン・ロッセルム(~1555年)⇒メヘン伯シャルロット・ブリアム」(~15570518)

1552年6月22日-09:00|日本|広島県三原市|天文21年6月|小早川隆景が新高山城を築城して本拠とする

1552年7月7日-09:00|日本|福井県|天文21年6月16日|<改名>越前国守護「(越前朝倉氏第11代当主)朝倉延景」⇒「朝倉義景」

1552年7月21日 05:00|ヘル/スペイン| ||<死去>ヘル副王「モンテバル侯・テンデ・イラ伯アントニオ・デ・メンドーサ」

1552年7月21日 05:00|ヘル/スペイン| ||<就任>ヘル暫定副王「メルオール・ブラボ・デ・サラヒ・ア・ソマヨール」(~15560629)

1552年8月2日-01:00|ドイツ| ||ドイツのフェルディナントが、新教諸侯を解放してモリッツとパッサウ条約を結び、信教の自由を

1560迄 (1476件)

認める

- 1552年8月2日-09:00|日本|滋賀県米原市|天文21年7月12日|<太尾山城合戦>六角義賢、京極高延・浅井久政らに勝利。浅井久政は六角家の傘下に入る
- 1552年8月13日-09:00|日本|広島県福山市|天文21年7月23日|備後・毛利元就、備後滝山城(宮光寄)を攻略/三次(江田氏)、庄原(山内氏)を服属させ、備後制圧
- 1552年8月16日-09:00|日本|長野県上水内郡小川村|天文21年7月26日|信濃水内郡小川城の大日向直政・直武父子、嫡男直経を謀殺して家中の反武田を一掃
- 1552年8月20日-09:00|日本|群馬県沼田市|天文21年8月|越後国春日山城主「長尾景虎」は平子孫太郎や庄田定賢らを先鋒として始めて三国峠を越して関東へ発向し、沼田城を攻める北条軍を撃退
- 1552年8月20日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天文21年8月|<佐和山城の戦い>京極高広が六角義賢の佐和山城を占領
- 1552年8月20日-09:00|日本|長野県上水内郡小川村|天文21年8月|水内郡小川城の大日向讃岐入道が武田への帰属を申し入れる
- 1552年8月31日-09:00|日本|長野県安曇野市|天文21年8月12日|甲斐国守護「武田晴信」、安曇郡小岩嶽城(小笠原長時)を攻略
- 1552年9月1日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ステファン6世」
- 1552年9月1日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ジョン1世」(12日)
- 1552年9月3日-09:00|日本|愛知県あま市|天文21年8月15日|清洲城守護代織田信友家宰の坂井大膳らが信長に敵対し松葉城・深田城を奪い、松葉城主織田伊賀守・深田城主織田右衛門尉信次を監禁
- 1552年9月4日-09:00|日本|愛知県あま市|天文21年8月16日|<萱津合戦>織田信長は叔父の守山城主織田信光を援軍として清洲軍と萱津で交戦/清洲軍を破り松葉城・深田城を取り戻す
- 1552年9月5日-04:00|ロシア| |||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」がガザン攻撃。ガザンの町に構築した地下道爆破、ガザン陥落
- 1552年9月12日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル4世」(15611118)
- 1552年9月19日-09:00|日本|大阪府|天文21年9月|<就任>河内国守護「畠山高政」(永禄3(1560)年10月没落)
- 1552年9月27日-09:00|日本| |||天文21年9月9日|<死去>鷹司兼輔(73歳)元関白、左大臣
- 1552年10月-01:00|フランス| |||神聖ローマ皇帝カール5世が5万の大軍で、ギーズ公フランソワが立て籠もるフランス北東部ロレーヌ地方のメススを包囲/ギーズ公フランソワがこれを撃退
- 1552年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・ピエロ・トンティエリ」
- 1552年10月2日-04:00|ロシア| |||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」が、ガザン・ハン国のガザン市を征服/ガザン・ハン国は滅亡
- 1552年10月17日-09:00|日本|広島県東広島市|天文21年9月29日|平賀隆保が自身の命と引き換えに槌山城に籠る兵の助命を毛利隆元、吉川元春に申し出/隆元・元春は隆保の申し出を了承し隆保は自害
- 1552年10月18日-09:00|日本|広島県|天文21年10月|尼子軍、備後福永城攻撃。毛利軍救援し、これを破る
- 1552年10月18日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天文21年10月|天用栄龍、福田山掉月庵(榛原町細江)開山
- 1552年10月20日-09:00|日本|京都府京都市西京区|天文21年10月3日|三好長慶、松永甚介3千と合流し、細川晴元党の潜伏地域を焼き討ち。京都西岡に放火し三鈷寺・善峰寺などが炎上
- 1552年10月22日-01:00|アンドラ| |||<就任>アンドラ公国共同大公「ウルホス・カエル・デ・スベグ」(15560413)
- 1552年11月-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ルイジ・グリンティ」(1554年11月)
- 1552年11月6日-09:00|日本|京都府|天文21年10月20日|細川晴元党香西元成、内藤貞正(八木城主、氏綱党)を撃破し、河瀬城(大堰川流域、位置不詳)奪取
- 1552年11月9日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「トマス・キューザック卿」「ジェラルド・エイルマー卿」判事(15531119)
- 1552年11月12日-09:00|日本|広島県神石郡神石高原町|天文21年10月26日|毛利・大内両軍、神石郡高光より尼子軍を追落す
- 1552年11月15日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ラドゥ8世」(1553年5月)
- 1552年11月15日-09:00|日本|京都府京都市北区|天文21年10月29日|幕府軍、京都船岡山に出張/細川晴元軍、蓮台野へ退く
- 1552年11月16日-09:00|日本|岐阜県山県市|天文21年11月|<大桑城の戦い>斎藤道三が大桑城を包囲/土岐頼芸は美濃国より落ち延び姻戚関係があった近江の六角義賢の元へ身を寄せた
- 1552年11月16日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文21年11月|足利義輝、細川晴元の上洛に備え霊山城を築城
- 1552年11月19日-09:00|日本|千葉県市原市|天文21年11月4日|<椎津城合戦>里見義堯は土岐頼定(万喜城)、正木時茂(大多喜城)を先方に2千の兵で武田(真里谷)信政が北条氏の援軍を含む1千の兵で守る椎津城に押し寄せ、信政に勝利/真里谷信政は自害
- 1552年11月20日-09:00|日本| |||天文21年11月5日|<死去>里村昌休(43歳)連歌師
- 1552年11月21日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ルイス・デ・ロレイロ」(15530313)
- 1552年11月22日-09:00|日本|千葉県木更津市|天文21年11月7日|<死去>下総真里谷領主「真里谷信応」里見氏から離反し自害没落
- 1552年11月27日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天文21年11月12日|<河瀬城合戦>(10月28日~)三好長慶に攻められ八木城から敗走してきた香西・波多野連合軍を河瀬氏は匿い周囲を包囲されたため降伏
- 1552年12月3日-08:00|中国/ポルトガル| |||明・嘉靖31年11月18日|<死去>「フランシスコ・ザビエル」マカオの沖の上川(サンジャン)島で病没/46歳(誕生15060407)
- 1552年12月12日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文21年11月27日|将軍義輝・三好長慶の和議破綻/足利義輝、

1560迄 (1476件)

新規築城の東山靈山城入城/細川晴元、高雄口から嵯峨に現われ、桂川を渡って西岡一帯の村落を焼打ち/郡城(コリ、右京区)・西院城を守備する三好長慶被官小泉秀清・中路修理亮らは小泉城を焼いて將軍義輝のいる靈山城に逃れる

1552年12月12日-09:00|日本|山梨県|天文21年11月27日|定恵院の死により武田家との婚姻関係が解消したため、今川義元の娘嶺松院を武田晴信の嫡男義信と婚姻させる

1552年12月13日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文21年11月28日|清水坂の戦い/細川晴元軍、京都靈山城を攻撃し五条口を焼く/建仁寺、兵火に炎上

1552年12月24日-09:00|日本|山口県|天文21年12月9日|周防国山口において、イエズス会によって、日本初のクリスマスが、執行される

1552年12月26日-01:00|フランス| || |ギーズ公フランソワ、神聖ローマ皇帝カル5世(アルバ公6万)軍を撃退。アルバ公軍、補給続かず撤退開始。包囲戦動員6万のうち帰還1万2千

1552年12月27日-09:00|日本|茨城県古河市|天文21年12月12日|<交替>古河公方「(4代)足利晴氏」隠居⇒「(5代)足利義氏」(~天正11年01月21日(15830213)死去)

1552年12月30日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|天文21年12月15日|三倉俊宗等、三倉郷(大久保)の八幡宮を再建(森町三倉)

1553年-08:00|インドネシア/ポルトガル| || |<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Cristovao de Sa」(2期目~1555.11)

1553年-07:00|オーストリア| || |セーラーティート王、ランナータイ王国の王位継承を主張しチェンマイへ派兵

1553年-05:30|インド| || |<死去>アフマド・カール王国国王「フルハン・ニザム・シャー1世」

1553年-05:30|インド| || |<即位>アフマド・カール王国国王「フサイン・ニザム・シャー1世」(~1565年死去)

1553年-03:30|イラン| || |<就任>サファヴィー朝宰相「Ma' sum Beg Safavi」(~1568年)

1553年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| || |<即位>アダル・スルタン国スルタン「Ali ibn Umar Din」(~1555年)

1553年-02:00|キプロス/イタリア| || |<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「マルコ・デ・ニコロ・ケリマーニ」(~1555年)

1553年-02:00|エジプト/トルコ| || |<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ドゥカキンザード・メフメド・パシャ」(~1556年)

1553年-02:00|エストニア/ドイツ| || |<就任>リガ・オニアのレヴァル司令官「フランツ・フォン・ジークェンホーフェンアンステル」(~15580726)

1553年-01:00|ドイツ| || |<交替>ブランドenburg=クルムハッハ辺境伯「アルブレヒト・アルヒヒアデス」解任国外追放⇒「ゲオルク・フリードリヒ」(~16030425死去)

1553年-01:00|フランス| || |<再任>モンペリアル伯「ゲオルク1世」(~15580717)

1553年-01:00|イタリア| || |<死去>ゲラフィナ公「アントニオ・オルシ」

1553年-01:00|ポーランド| || |<就任>オレシツァ公「ヤン」(~1569年)

1553年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| || |<就任>ボスニア総督「ハテム・ガジ・アリ・パシャ」(~同年)⇒「ドゥガリ・マルコック・ベイ」(~1554年)

1553年-01:00|スペイン/ポルトガル| || |<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro da Cunha」(1期目~同年)⇒「Joao Rodrigues Pereira」(~同年)⇒「Martim Correia da Silva」(2期目~1555年)

1553年-01:00|フランス| || |<即位>エタンブ公「Diane de Poitiers」(~1562年)

1553年-01:00|スイス| || |カルヴァンが三位一体説を誤謬と主張したセルヴェを火刑に処す

1553年-01:00|フランス/イタリア| || |コルシカ、仏領に

1553年 00:00|イギリス| || |<就任>4代モートン伯「ジェームズ・ダークラス」(~15810602死去剥奪)

1553年 00:00|アイスランド/デンマーク| || |<就任>アイスランド支配者「ホルム・ユイトフェルト」(~1554年)

1553年 00:00|カリブ諸島/スペイン| || |<就任>スペイン王国植民地グラン・カリブ島知事「Luis Serrano de Vigil」(~1555年)

1553年 00:00|イギリス| || |<就任>デヴァン伯「エドワード・コートニー」(~15560918死去)

1553年 00:00|イギリス| || |剥奪>エセックス伯「ウィリアム・パー」

1553年 00:00|イギリス| || |イギリスの黒人奴隷貿易船で黄熱病が猛威をふるい乗員の大半が死亡

1553年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| || |<死去>ファイアル島・ビュ島ドナリア長官「Manuel de Utra Corte Real」

1553年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| || |<就任>ファイアル島・ビュ島ドナリア長官「Alvaro de Castro」(~1573年)

1553年 04:00|チリ| || |バルデヒアがチリのアラウカ族と戦って敗北

1553年 04:30|ベネチア| || |<即位>ポントウラ王「Po At」(~1579年)

1553年 04:30|ベネチア| || |ヌボ・セゴビア(現ベネチア)のブリア鉱山(現在のバルキネット市近郊)でミゲルにひきいられた黒人奴隷の反乱

1553年 05:00|キューバ| || |ゴンサロ・ペレス・デ・アンゴロ総督、首都をサンタゴからメキシコに近いハバナへ移転

1553年 05:00|パナマ| || |ダリエンで、逃亡奴隷「バリノ王」の反乱が流血の事態に発展し、スペイン副王カニエが仲裁に入る

1553年 06:00|ニカラガ/スペイン| || |<就任>ニカラガ市長「ニコラス・ロペス・デ・ス・アラガ」(1回目~同年)⇒「ファン・デ・カバロン・イ・アルベラ」(~1555年)

1553年 07:00|メキシコ| || |王立メキシコ大学、サンパウロ大学創立

1553年1月2日-01:00|フランス/オーストリア| || |ギーズ公フランソワが立て籠もる、フランス北東部ロレーヌ地方のメススを包囲していた、神聖ローマ皇帝カル5世が撤退

1553年1月4日-01:00|イタリア| || |<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ・ジョセフォ・プロメントリオ(~15550104)

1553年1月13日 05:00|ペルー| || |クスコ在住のフランス・エルナンデス・デ・ヒロンを指導者とするインコモンテ・ロの反乱

1553年1月13日-09:00|日本|長野県松本市|天文21年12月29日|小笠原長時・二本氏、立て籠もっていた安曇郡中塔城を脱出

1553年1月14日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡肝付町|天文22年|<交替>大隅高山領主「肝付兼続」隠居⇒嫡男「肝付

1560迄 (1476件)

良兼」(~元亀2年07月30日(15710820)死去)
1553年1月14日-09:00|日本|長崎県対馬市|天文22年|<交替>対馬国主「宗晴康」隠居⇒「宗義調」(~永禄9(1566)年8月隠居)
1553年1月14日-09:00|日本|三重県伊勢市|天文22年|<交替>伊勢・志摩国守護「北畠晴具」隠居⇒長男の「北畠具教」が継ぐ(~永禄6(1563)年隠居)
1553年1月19日-09:00|日本|長野県|天文22年1月6日|信濃国小笠原長時、武田氏に信濃を追われ、越後国の長尾景虎を頼る
1553年2月2日-09:00|日本|京都府京都市|天文22年1月20日|<退任>関白「二条晴良」
1553年2月4日-09:00|日本|京都府京都市|天文22年1月22日|<就任>関白「一条兼冬」(~天文23(554)年2月1日)
1553年2月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>「ハートマン・フォン・ウルム」辺境伯「エルスト1世」
1553年2月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>「ハートマン・フォン・ウルム」辺境伯「カール2世」(~15770323死去)
1553年2月17日-05:30|インド| |||<死去>「マイソール王国(オデヤ朝)国王「チャマ・ラジャ3世」
1553年2月17日-05:30|インド| |||<即位>「マイソール王国(オデヤ朝)国王「ティンマ・ラジャ2世」(~1572年死去)
1553年2月25日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文22年閏1月13日|伊東義祐、日向飢肥城(島津忠親)を攻める/島津忠親、これを迎撃
1553年3月7日-09:00|日本|大分県大分市|天文22年閏1月23日|府内の乱/一万田鑑相、宗像鑑久、服部右京助らが「大友氏」に謀反/大友義鎮に誅伐される
1553年3月13日 00:00|モロッコ| |||<就任>「タンジール」首長「フェリナト・デ・メネス」(~同年)⇒「ペドロ・ガルシア」(~同年)⇒「ペドロ・アルバレス・コレア」(~同年)⇒「ディオゴ・ロペス・デ・フアンサ」(1回目~同年)
1553年3月23日-09:00|日本|新潟県|天文22年2月10日|<死去>前越後国主「長尾晴景」(45歳)
1553年3月28日-09:00|日本|広島県|天文22年2月15日|毛利元就・三村家親の連合軍、尼子派の庄為資に勝利
1553年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>「サンマリノ」共和国執政「ウインチェンツォ・ゴンベルティニ」
1553年4月2日-09:00|日本|京都府京都市|天文22年2月20日|三好長慶軍、細川晴元軍を京都西郊に於いて撃破
1553年4月8日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文22年2月26日|三好長慶、細川晴元の戦闘、山城の鳴滝で行われ、長慶方勝利
1553年4月8日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天文22年2月26日|細川晴元が高尾五台山に城を築く
1553年4月8日-09:00|日本|静岡県|天文22年2月26日|今川義元が「今川仮名目録」追加二十一箇条を制定
1553年4月9日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの人文主義者・作家「フランソワ・ラブレ」(1483~) 巨大で荒唐無稽な物語「ガルシユアとパンタグリエル」(1532~64年)を著した
1553年4月13日-09:00|日本|岡山県|天文22年3月|毛利元就・三村家親の連合軍、尼子派の庄為資に勝利/三村家親、嫡男元資を庄家に養子
1553年4月13日-09:00|日本|徳島県徳島市|天文22年3月|<鑓場の戦い(阿波国)>自身の舅でもあった久米義広らの持隆派家臣が反乱を起こしたが三好義賢は鑓場の戦いで彼らを滅ぼした
1553年4月13日-09:00|日本|長野県埴科郡坂城町|天文22年3月|村上方の埴科郡狐落城が、大須賀久兵衛の裏切りで落城
1553年4月20日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文22年3月8日|足利義藤(義輝)も三好長慶との和睦を破棄して晴元方につき、霊山城へ入る
1553年4月22日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天文22年3月10日|細川晴元の牢人衆が畑(丹波国)にて蜂起/討伐のため、三好長慶が松永久秀を遣わしてこれを破る
1553年4月28日-09:00|日本|京都府京都市右京区|天文22年3月16日|松永久秀が山城畑で細川晴元の兵と戦い、これを破る
1553年5月-02:00|ルーマニア| |||<再任>「ワキア」総督・領主「ミルチャ3世羊飼候」(2回目~1554年3月)
1553年5月13日-09:00|日本|広島県三次市|天文22年4月|備後比叡尾山城の三吉氏が毛利家に臣従
1553年5月14日 02:00|日本|長野県松本市|天文22年4月2日|昼近く、武田晴信が筑摩郡苅屋原城を攻落し城主太田長門守資忠は生捕られた
1553年5月14日 07:00|日本|長野県安曇野市|天文22年4月2日|夕刻過ぎ、武田晴信に攻められ塔原城が自落
1553年5月15日-09:00|日本|千葉県富津市|天文22年4月3日|小田原方の北條綱成が兵を発し海を渡って安房国の里見義弘を攻める
1553年5月15日-09:00|日本|長野県松本市|天文22年4月3日|武田軍、会田虚空城(会田清幸)を放火、攻略
1553年5月15日-09:00|日本|広島県三次市|天文22年4月3日|江田隆連、三谿郡旗返城に抛り、尼子方に寝返る
1553年5月17日-09:00|日本|長野県|天文22年4月5日|村上方の屋代政国・塩崎氏・石川氏等が武田に寝返る
1553年5月18日-09:00|日本|広島県三次市|天文22年4月6日|芸備の国衆、三谿郡吉舎で尼子軍を撃退
1553年5月21日 00:00|イギリス| |||「ヘンリー7世」の曾孫娘の「ジェーン・グレイ」が、「ノザンバーランド」公の息子の「ギルフォード・ダットリー」と結婚
1553年5月21日-09:00|日本|長野県埴科郡坂城町|天文22年4月9日|村上方の埴科郡狐落城が、大須賀久兵衛の裏切りで落城/武田晴信、村上義清の埴科郡葛尾城を攻略/義清は小県郡に撤退、続いて義清、越後に敗走し、長尾景虎(謙信)に救援を求める
1553年5月23日-01:00|イタリア| |||<死去>「ヴェネツィア」共和国「ドージェ」第79代「フランチェスコ・ド・ナート」
1553年5月24日-09:00|日本|広島県三次市|天文22年4月12日|毛利軍、尼子方の三谿郡江田寄国固屋を攻略
1553年5月29日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文22年4月17日|<赤塚の戦い>織田信長八百騎で那古野を南下し、中根村を通過して三王山布陣。山口九郎二郎教吉1500人で北赤塚に出陣/山口方先手足軽、清水又十郎・柘植宗十郎・中村与八郎・萩原助十郎・成田弥六・成田助四郎・芝山甚太郎・中島又二郎・祖父江久助・横江孫八・荒川又

1560迄 (1476件)

蔵/織田方先手足輕、荒川与十郎・荒川喜右衛門・峰屋般若介・長谷川挨介・内藤勝介・青山藤六・戸田宗二郎・賀藤助丞。山口方萩原助十郎・中島又二郎・祖父江久助・横江孫八討死。織田方30騎討死/織田信長、発情期の牝馬を敵陣に駆け込ませ、敵の武者の牝馬を制御不能にする/織田信長、手勢を二手に分け一手は桜・中村・戸部砦を攻撃させ、救援のために赤塚に来た山口九郎二郎と戦闘

1553年5月29日-09:00|日本|愛知県名古屋市長区|天文22年4月17日|山口教継、織田信長から離反。鳴海城は今川家に帰属

1553年6月3日-09:00|日本|長野県千曲市|天文22年4月22日|<更級八幡の戦い>長尾景虎(謙信)、北信濃の国人衆の支援に出陣し、麻績から進軍した武田先鋒軍を更級郡八幡で破り、諸氏は旧領を回復

1553年6月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第80代ドージェ(元首)「マルカンティオ・トラヴィザン」(~1554年)

1553年6月4日-09:00|日本|長野県埴科郡坂城町|天文22年4月23日|村上義清は葛尾城奪回に成功し、小県郡塩田城に拠る

1553年6月7日-09:00|日本|広島県山県郡北広島町|天文22年4月26日|吉川元春、平賀広相と盟約を結ぶ

1553年6月12日 04:30|ペルー/スペイン| |||<死去>スペイン領ペルー暫定総督「Juan Ruiz de Villegas y Maldonado」

1553年6月12日 04:30|ペルー/スペイン| |||<就任>スペイン領ペルー総督「Alonso Arias de Villasinda」(~1557年死去)

1553年6月14日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|天文22年5月4日|安見宗房、畠山氏配下城州上三郡守護代、大和鷹山城主・鷹山弘頼を高屋城で自刃させる

1553年6月20日-09:00|日本|広島県庄原市|天文22年5月10日|毛利軍、三上郡高表・信敷・本郷で尼子軍を撃退

1553年6月22日-09:00|日本|岡山県真庭市|天文22年5月12日|<美作勝山合戦>尼子軍3千が高田の村に討って出てきたので浦上軍は後藤勝基など美作勢2千でこれを迎撃。浦上軍美作勢の敗色が目立ってきたため浦上軍播磨勢7百余騎が尼子軍の横合いに攻めこみ突き崩した。しかし後詰めに控えていた尼子軍2千7百余騎が崩れる味方を助けるため浦上軍播磨勢に討ってかかってきた。宗景は備前勢1千5百を援軍として向かわせ、先陣を助けて攻め戦った/両軍入り乱れて戦ったが勝負がつかず日暮れになったので互いに兵を引き揚げ再び睨みあって対陣

1553年6月23日-09:00|日本|愛知県豊川市|天文22年5月13日|大檀那牧野出羽守保成・牧野伝三郎成元・牧野右馬允成定・岩瀬和泉守善性氏高・檀那竹本四郎左衛門成久、大恩寺阿弥陀堂(豊川市御津町広石)造営

1553年6月30日-09:00|日本|広島県庄原市|天文22年5月20日|毛利元就、尼子晴久を備後国萩瀬で破る

1553年7月2日-09:00|日本|岡山県真庭市|天文22年5月22日|<美作勝山合戦>尼子軍は5百騎が先陣となり、さらに1千騎が二陣に備え宗景の先陣に対して撃ってかかる。浦上軍は小寺など播磨勢3千騎が備えを進めて戦ったが序々に浦上軍は不利になり散り散りになって引き退いた。浦上軍美作勢2千騎はこれに入れ替わって戦った。尼子軍も1千騎の部隊を投入、浦上軍もさらに播磨勢5千騎を投入。尼子軍もまた尼子紀伊守ら1万騎ばかりで攻めかかったため大軍が入り混じって乱戦となった。両軍は午後2時頃まで戦ったが浦上軍は多勢に無勢で尼子軍に敗れ前後一つになって敗走/浦上軍の先陣は打ち負け討ち取られた首級は750、討ち取った首級は330だった

1553年7月5日-09:00|日本|広島県庄原市|天文22年5月25日|毛利軍、恵蘇郡萩瀬で尼子軍を破る/尼子軍、同郡山内まで退く

1553年7月6日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王「エドワード6世」肺結核で/15歳(誕生1537/10/12)ノサンバランド公が医物に毒を盛るよう指示したとの説もある

1553年7月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「モーリッツ」戦死

1553年7月9日-01:00|ドイツ| |||ジーフェルシャゲンでザクセン選帝侯モーリッツがブランデンブルク辺境伯アルブレヒト・アルクヒアデスを破る

1553年7月10日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド対立王位請求者「ジェーン・グレイ」サフォーク公ヘンリー・グレイとフランス・ブランドンの女子(~7.19廃位~1554/02/12斬首刑16歳)

1553年7月11日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン選帝侯「アウグスト」(~1586/02/11死去)

1553年7月11日-09:00|日本|愛知県知立市|天文22年6月|今川義元、駿遠三の軍勢を以って、重原城(重原)山岡河内守伝五郎を攻取る

1553年7月13日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「トウアルテ・ダ・コスト」(~1558/01/03)

1553年7月19日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド王「メアリー1世(血塗れのメアリー)」ヘンリー8世とキャサリン・オブ・アラゴンの女子(~1558/11/17死去42歳)カトリック復帰政策が始まる

1553年7月19日 00:00|イギリス| |||<廃位>イングランド対立王位請求者「ジェーン・グレイ」(~1554/02/12斬首刑16歳)

1553年7月27日-09:00|日本|徳島県|天文22年6月17日|<死去>阿波国守護「細川持隆」三好義賢に攻められ、自刃⇒三好義賢の子「細川真之」が継ぐ(~天正10年10月8日(1582/11/03)死去滅亡)

1553年8月 00:00|イギリス| |||<再任>ノフォーク公・サリ伯「トマス・ハート」先代の子(~1554/08/25死去)

1553年8月5日-09:00|日本|千葉県富津市|天文22年6月26日|房州逆乱起こり、妙本寺日我、金谷城へ逃れる

1553年8月9日-08:00|中国| ||明・嘉靖32年7月|河南で師尚詔の農民反乱がおこる

1553年8月11日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文22年7月3日|三好長慶が芥川孫十郎の籠る芥川山城(摂津国)の東の山に陣取り芥川山城を攻める

1553年8月17日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>サヴォイア公「カルロ3世」

1553年8月17日-01:00|フランス/イタリア| |||<即位>サヴォイア公「エマヌエーレ・フィリベルト」(~1580/08/30死去)

1553年8月18日-09:00|日本|福島県伊達市|天文22年7月10日|陸奥/伊達晴宗、懸田俊宗を破り、これを滅ぼす

1553年8月20日-09:00|日本|愛知県|天文22年7月12日|<死去>尾張国守護「斯波義統」親今川方清須守護代「織田信友」の将坂井大膳・河尻左馬丞・織田三位に殺される(清洲城の変)/嫡男「斯波義銀」は織田信長を頼り那古屋城

1560迄 (1476件)

に逃げる⇒以降、尾張国守護は不在

- 1553年8月20日-09:00|日本|滋賀県米原市|天文22年7月12日|<太尾山城合戦>六角義賢が京極高廣を擁した浅井久政と太尾山城で合戦に及び大勝し浅井氏を降伏させた
- 1553年8月21日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|天文22年7月13日|保田妙本寺兵禍焼失
- 1553年8月22日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ノザンバーランド公・初代ウォリック伯「ジョン・ダートリー」大逆罪で処刑・爵位剥奪(誕生1502年)
- 1553年8月22日 00:00|イギリス| |||<就任>ウォリック伯「ジョン・ダートリー」先代の息子(〜15541021死去)
- 1553年8月23日-03:30|イラン/トルコ| |||スレイマン1世が、サファヴィー朝軍がアトリアに侵攻したため、イラン遠征に出発
- 1553年8月23日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス王軍、ジェノヴァ領「コルシカ島」を占領
- 1553年8月26日-09:00|日本|愛知県清須市|天文22年7月18日|<安食・成願寺の戦い>織田信長、柴田勝家ら7将で清洲城を攻める/清洲勢は山王口から攻め入った敵に対し安食村で防いだがかなわず、成願寺でも支えられず、ついに清洲の町口まで追い詰められ反撃を試みたが、織田三位・河尻左馬丞・雑賀修理・原殿・八坂・高北・古沢七郎左衛門・浅野久蔵ら310人討死
- 1553年8月31日-09:00|日本|広島県三次市|天文22年7月23日|<高杉城合戦>毛利元就、祝甲斐守に勝利、三谿郡高杉城を攻略。祝甲斐守は討死
- 1553年9月 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ルイス・ダ・シルバ・デ・メネズ」(〜15540429)
- 1553年9月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「アルバロ・デ・ソサ」(〜1556年)
- 1553年9月2日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文22年7月25日|龍造寺隆信は鹿江崎に上陸し、隆信追い落としに加わった佐嘉周辺の諸将の居城・館を攻め落とし
- 1553年9月4日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文22年7月27日|肥前・龍造寺隆信、神代勝利を破り、佐嘉城に入る
- 1553年9月4日-09:00|日本|静岡県静岡市|天文22年7月27日|今川義元が山口左馬助義繼(教繼)・山口九郎二郎教吉を駿河へ招き切腹させる
- 1553年9月6日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「フアン・デ・オメデス」
- 1553年9月8日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「クロード・ド・グリュエル・ド・ラ・ブーレル」(〜15540102)
- 1553年9月8日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天文22年8月1日|<船岡山合戦>三好長慶、足利義藤・細川晴元らに勝利、霊山城陥落。足利義藤と細川晴元、京から近江朽木方面に逃避。室町幕府、瓦解(幕府の中絶)
- 1553年9月8日-09:00|日本|長野県小県郡長和町|天文22年8月1日|武田晴信(信玄)・村上方の小県郡和田城を攻め落とす
- 1553年9月11日-09:00|日本|長野県上田市|天文22年8月4日|村上方の武石城も自落し、高鳥屋城は落城
- 1553年9月12日-09:00|日本|長野県上田市|天文22年8月5日|<滅亡>信濃葛尾領主「村上義清」武田晴信に最後の拠点、小県郡塩田城を攻略され越後国へ逃れる
- 1553年9月12日-09:00|日本|長野県上田市|天文22年8月5日|武田晴信の出現に驚いた小泉城の小泉重成は自ら小泉城を壊し、室賀城を誘って武田氏に降伏
- 1553年9月15日-09:00|日本|青森県八戸市|天文22年8月8日|八戸城攻撃/八戸宗暘、和を乞い、龍造寺長信に旧領を返還
- 1553年9月18日-09:00|日本|秋田県能代市|天文22年8月11日|<死去>出羽松山領主「安東舜季」⇒子の「安東愛季」が継ぐ(⇒元亀元(1570)年湊家と統合⇒天正10(1582)年、出羽脇本〜天正15年09月01日(15871002)病死)
- 1553年9月22日-09:00|日本|愛知県海部郡大治町|天文22年8月15日|坂井大膳(清洲城将)、坂井甚介・河尻与一・織田三位と共に尾張国松葉城を攻略、織田伊賀守(松葉城将)・織田右衛門尉(深田城将)を人質とし
- 1553年9月23日-09:00|日本|愛知県清須市|天文22年8月16日|織田信長(織田上総介信長)、尾張国那古野城を発し稲庭地の川端まで進撃/守山より織田孫三郎(織田信秀舎弟)が合流し、萱津口(海津口)を攻撃/織田信長(信長)、清洲衆を撃破して清洲城まで進撃し荻田
- 1553年9月25日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文22年8月18日|細川晴元の牢人衆・塩川伯耆守が池田(摂津国)にて蜂起し芥川山城(摂津国)の後詰に赴くが敗れる
- 1553年9月26日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文22年8月19日|芥川孫十郎、安見直政に降伏し、攝津芥川城から退去する
- 1553年9月30日-09:00|日本|広島県竹原市|天文22年8月23日|平賀弘保、大檀那として、賀茂郡田万里八幡宮の社殿を再興
- 1553年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョ・アントニオ・ベルツィ」「リナルド・ディ・ジョヴァンニ・バルディ」
- 1553年10月2日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのバイエルバイ「トクマン・パシャ」(1回目〜15560223)
- 1553年10月2日-09:00|日本|大阪府高槻市|天文22年8月25日|三好長慶、芥川山城に入城し、本拠を越水城から移す
- 1553年10月6日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カラ・ア・メド・パシャ」(〜15550929)
- 1553年10月7日-09:00|日本|滋賀県高島市|天文22年8月30日|足利義藤、三好長慶との戦いに敗れ、朽木谷へ退く
- 1553年10月8日-09:00|日本|兵庫県神戸市|天文22年9月|松永久秀、三好長慶から「滝山城」(神戸市中央区)を預けられ、初めて「城持大名」となる(居住は京都)
- 1553年10月8日-09:00|日本|長野県|天文22年9月1日|<第一次川中島の戦い>村上義清や北信国衆の要請を受け長尾景虎が信濃へ侵攻、布施の戦い(現長野市篠井)で武田軍の先鋒を破り、軍を進めて荒砥城(現千曲市上山田地区)を落とし、虚空蔵山城を攻略/武田軍は塩田城から反撃するが、小規模な戦闘に終わり両軍は撤退
- 1553年10月9日-01:00|イタリア| |||<即位>フェララ・モデナ・レッジョ公「アルフォンソ2世」(〜15971027死去)
- 1553年10月10日-09:00|日本|長野県東筑摩郡|天文22年9月3日|<第1回川中島戦い>景虎は青柳城(筑北村/東筑摩軍旧坂北村)を破り、麻績(東筑摩郡麻績村)、会田(松本市/東筑摩軍旧四賀村)まで取り返した

1560迄(1476件)

1553年10月10日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天文22年9月3日|松永久秀が弟長頼とともに丹波へ出陣、八上城に波多野与兵衛(晴通)と戦い敗れるが、退却時に三好政勝らに落とされた八木城を奪回して入る/長頼が内藤氏を嗣ぎ八木城主となる

1553年10月20日-09:00|日本|長野県千曲市|天文22年9月13日|<第1回川中島戦い>夜、塩田城にいた武田軍が麻績、荒砥城に放火させ、反撃

1553年10月21日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文22年9月14日|入来院氏との岩劔城の戦、貴久側の郡山衆28名は蒲生郷新留にて敵8人を討ち取る

1553年10月24日-09:00|日本|長野県埴科郡坂城町|天文22年9月17日|長尾勢は坂木南条を放火したものの塩田城までもは攻略できず

1553年10月25日-09:00|日本|京都府亀岡市|天文22年9月18日|<数掛山城の戦い>三好長慶の家臣松永久秀、弟の長頼が、晴元方の波多野氏数掛山城を攻撃/しかし晴元方の援軍三好宗渭、香西元成による背後からの奇襲を受け敗北/この戦いで丹波守護代内藤国貞が討死したため、松永長頼が内藤家の居城八木城へ入り跡を継ぐ(後に内藤宗勝と名乗る)/この頃、三好長慶は摂津芥川山城を攻略、居城とする

1553年10月26日-09:00|日本|兵庫県養父市|天文22年9月19日|<第3次八上城の戦い>丹波・松永長頼(久秀弟)、八上城に丹波波多野晴通を攻めるが、香西元成の援軍に敗れ、退却時に三好政勝らに落とされた八木城を奪回/長頼が内藤氏を嗣ぎ八木城主となる

1553年10月27日-09:00|日本|新潟県|天文22年9月20日|<第一次川中島の戦い(信濃国)>塩田城に籠もった晴信が決戦を避けたため、景虎は一定の戦果を挙げたとして越後国へ引き揚げた

1553年11月7日-09:00|日本| ||天文22年10月2日|<死去>山崎宗鑑(89歳)連歌師、俳諧師

1553年11月7日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文22年10月2日|比志島義弘、岩劔城にて参戦。家臣10人と共に戦死

1553年11月12日-01:00|スペイン| |||<死>スペイン人入植者のヒロンがスペイン支配に対して反乱/ウアマナ(現アヤクチュ)、アルパの植民者もこれに同調

1553年11月12日-09:00|日本|山梨県|天文22年10月7日|<第1回川中島戦い>武田信玄も、塩田城をあとにし、甲斐に戻る

1553年11月13日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文22年10月8日|<加与丁の戦い>龍造寺隆信は村中城に復帰して、蓮池城を攻撃。小田政光は城から打って出て加余丁で龍造寺氏と衝突するも、力及ばず敗れて城に逃げ帰った(その後、隆信に降伏して龍造寺氏の家臣となった)

1553年11月15日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|天文22年10月10日|石見・津和野三本松城主・吉見正頼、陶打倒を掲げて挙兵

1553年11月19日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<再任>アイルランド 副卿「アンソニー・セント・レジエ卿」(5回目~15560526)

1553年11月24日-09:00|日本|広島県三次市|天文22年10月19日|<旗返城合戦>備後・毛利元就・大内軍、旗返城(江田隆連)を攻略/江良房榮が入城。亀山城主の小奴可隆盛は討死(山内隆通や多賀山通統らは毛利家に帰属)

1553年12月1日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文22年10月26日|龍造寺隆信、龍造寺鑑兼を水江に下し、弟家信に与える

1553年12月25日 04:00|チリ/スペイン| |||<死去>チリ総督「ペドロ・デ・バルデビア」のスペイン軍、アラウコ軍に敗走中捕らえられ、拷問の上処刑される

1553年12月25日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督代行「フランシスコ・デ・ビジャグラ・ベラスケス(2回目)」 「ロドリゴ・デ・キロガ・ロペス・ウジョア(1回目)」 (~1555年2月)、対立総督「フランシスコ・デ・アギレ・デ・メネス」 (~1555年2月)

1553年12月31日-09:00|日本|滋賀県米原市|天文22年11月26日|<地頭山の戦い>六角義賢が浅井久政を撃破/浅井久政は六角氏の傘下に入る/京極高延は支持者を失い没落

1554年-05:30|インド| |||<建国>ヒンドル国

1554年-05:30|インド| |||<死去>ムファリト 朝スルタン「フマト・シャ3世」

1554年-05:30|インド| |||<即位>ムファリト 朝スルタン「アフマト・シャ3世」 (~1561年死去)

1554年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ 朝スルタン「Aboobakuru2世 Asaa Lees Loka」 (~1557年)

1554年-04:00|ロシア| |||<即位>アストラハン・ハン「ダウル・ウツシュ・アリー」 (3回目~1556年)

1554年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ベ・イレル・ベ・イ「ヒジル・パ・シャ」 (~同年) => 「ヒ・リ・パ・シャ」 (~同年) => 「カバト・パ・シャ」 (~1557年)

1554年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「デ・イコ・デ・ソウサ」 (~1558年)

1554年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Alonso de Urrea」 (~1559年)

1554年-01:00|フランス| |||<就任>ダマルタン伯「Anne de モンモランシー」 (~15671112死去)

1554年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「ヨハン・ヴァイルヘルム」ザクセン・ヴァイマル公 (~1572年)、ヨハン・フリードリヒ2世「ザクセン公」 (~1566年)

1554年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「カラ・オスマン・カーン」 (~1555年)

1554年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||オスマン朝がアルジェリアのジャン朝を滅ぼす

1554年-01:00|ベルギー| |||メルカトルがヨーロッパの正方位地図を作成

1554年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「クヌート・ステンセン」 (~1560年)

1554年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan Lopez de Cepeda」 (~1557年)

1554年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ベルナルデ・デ・ガルバ・リョ」 (~1564年)

1554年 04:00|チリ| |||<就任>フロンテロを根拠地とするフランス人海賊ジャック・ソワールの率いるユグノー集団、サンチアゴの町を30日間にわたり占拠、略奪

1554年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「アンフ・ロゾ・オ・メンデス」 (1回目~1556年)

1560迄 (1476件)

1554年 07:00|メキシコ| |||フランスコ・デ・イバウ、ヌエバ・ガリシア北方のヌエバ・ヒスガヤ地方(現ソラおおよびシアラ州)を征服
1554年1月2日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「クロード・ド・ラ・サンクル」(~15570818没)
1554年1月2日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル公(王位継承者)「ジョアン・マヌエル」
1554年1月6日-09:00|日本|広島県庄原市|天文22年12月3日|毛利家臣の宍戸隆家の説得により、備後甲山城の山内隆通が毛利方となる/備後部山城の多賀山氏が毛利家に臣従
1554年1月11日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウー国王「ディッカ」(~15560306)
1554年1月16日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文22年12月13日|戸田宣光、姜神明宮(豊橋市東田町)社殿1宇造営
1554年1月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「セバスティアン」(~15570611、セバスティアン1世として即位)ン・マヌエル
1554年1月25日 00:00|イギリス| |||サー・トマス・ワイアットが、マリー1世がスペインのフェリペと結婚することに反対してケント州で反乱を起こす
1554年2月-01:00|スペイン/刊| |||ラウラ、マリグエニでもスペイン軍を打ち破る
1554年2月2日-09:00|日本|長野県木曽郡|天文23年|<死去>信濃木曽谷領主「木曾義在」病没⇒子の「木曾義康」が継ぐ(~天正7(1579)年死去)
1554年2月2日-07:00|ベトナム| |||大越莫朝・光宝1年|大越莫朝・光宝と改元(-1561)
1554年2月2日-09:00|日本|愛知県知多市|天文23年1月|今川軍、寺本に砦を築き、松平越前守長勝を置き、謀り事をもって寺本城(知多市寺本)降し、小川城(水野下野守信元)の糧道絶つ
1554年2月2日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|天文23年1月|太原崇孚、大龍山臨濟寺で「歴代序略」出版(中国の歴史書)雪斎弟楽全軒建業善得寺で「聚分韻略」出版(静岡で印刷第一号)
1554年2月3日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天文23年1月2日|<黒井城の乗っ取り戦>赤井直正は荻野秋清へ年初の挨拶に黒井城に出向いき、荻野秋清を暗殺し黒井城を乗っ取ってしまう
1554年2月4日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文23年1月3日|井伊信濃守直盛29歳、竜潭寺阿弥陀堂(浜松市北区引佐町井伊谷)建立
1554年2月12日 00:00|イギリス| |||<死去>前イングランド対立王位請求者「ジェーン・グレイ」斬首刑/16歳(誕生1537年)
1554年2月19日-09:00|日本|宮崎県西都市|天文23年1月18日|伊東義祐、本拠を佐土原から都於郡に移す
1554年2月23日 00:00|イギリス| |||<死去>サーク公・ドゥーセット侯「ハリー・グレイ」処刑剥奪
1554年2月25日 07:20|日本|愛知県知多郡東浦町|天文23年1月24日|<村木砦の戦い(尾張国)>辰の刻(8時)、織田信長が斎藤道三援軍とともに村木砦に攻撃開始/織田軍が攻め続けたことで村木砦側は負傷者・死者が増え、ついに降伏/申の下刻(16時20分)ごろ、戦闘終了
1554年3月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキフ総督・領主「パトラスク・良候」(~15571224没)
1554年3月3日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン公「ヨハン・フリードリヒ」
1554年3月3日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「ヨハン・フリードリヒ2世」(~15651021死去)
1554年3月4日-09:00|日本|京都府京都市|天文23年2月1日|<死去>関白「一条兼冬」/一条内基が家督継承(関白職は3月2日まで空位)
1554年3月5日-09:00|日本|静岡県富士市|天文23年2月2日|今川軍、吉良義昭を攻める為、西三河へ向かった後、北条氏康、織田信長と通じ、3万率いて駿河に侵攻、吉原・柏原郷(富士市)に陣
1554年3月13日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王国「ラティン・トマス・グロフ・ナターシェ・イ・ナターシェ・イ・エス・フオラスメルト」(~15620602没)
1554年3月15日-09:00|日本| |||天文23年2月12日|<改名>室町幕府13代将軍「足利義藤」⇒「足利義輝」
1554年3月16日 00:00|イギリス| |||エリザベス1世がロンドン塔に幽閉される
1554年4月 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ポルトガル知事兼提督「Alonso Esteves」(~1555年)
1554年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「イナフエンソ・ブランケイ」「ジャコモ・ディ・エウアンゾ・エリスタ・ベルツツィ」
1554年4月2日-09:00|日本|岐阜県|天文23年3月|<交替>美濃国領主「斎藤道三」隠居⇒子の「斎藤義龍」(~永禄4年5月11日(15610623)死去)
1554年4月2日-09:00|日本|佐賀県|天文23年3月|三溝口の戦い/高木鑑房、龍造寺隆信に和を乞うが隆信、警戒し殺す
1554年4月2日-09:00|日本|静岡県|天文23年3月|武田信玄、今川救援のため駿河に出兵し、北条軍と刈屋川で戦う
1554年4月2日-08:00|中国| |||明・嘉靖33年3月|明が銭法を改正し銀1分を導入、私造の悪銭の使用を禁止
1554年4月3日-09:00|日本|京都府京都市|天文23年3月2日|<就任>関白「近衛前久」(~永禄11(1568)年11月)
1554年4月4日-09:00|日本|静岡県富士市|天文23年3月3日|<善徳寺会盟>今川義元と武田晴信と北条氏康、同盟を締結
1554年4月4日-09:00|日本|山口県山口市|天文23年3月3日|<三本松城の戦い>大内軍に攻められ三本松城の支城である賀年城(城主の波多野滋信・秀信親子と援軍の吉見範弘・下瀬頼定)落城/波多野親子、吉見範弘らが討ち死にし、下瀬や吉賀は敗走
1554年4月11日 00:00|イギリス| |||サー・トマス・ワイアットが処刑される/(誕生:1521頃)/マリー1世の結婚に反対して反乱を起こした貴族
1554年4月12日 00:00|イギリス| |||ギーズのマリー皇太后が、スコットランド女王マリーの摂政となる
1554年4月17日-09:00|日本|山口県岩国市|天文23年3月16日|陶晴賢の命で弘中隆包、重臣である江良房榮を殺害
1554年4月25日-09:00|日本|鳥取県西伯郡大山町|天文23年3月24日|伯耆の大山の中腹にある大山寺の堂宇がごとく焼失
1554年5月12日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文23年4月11日|宮尾城が毛利軍に占拠された
1554年5月13日-09:00|日本|京都府|天文23年4月12日|松永久秀、三好長慶とともに丹波桑田郡へ出陣、三好政勝

1560迄 (1476件)

方の小城を攻め落とす

- 1554年5月19日 00:00|イギリス| |||エリザベス1世が、ロンドン塔での2カ月の獄中生活から生還
- 1554年5月21日-09:00|日本|愛知県清須市|天文23年4月20日|守山城「織田孫三郎信光」、守護代「織田大和守勝勝秀」を殺し清洲城を奪い織田信長に譲り、那古野城主になる
- 1554年5月31日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第80代ドージェ(元首)「マルカントニオ・トラヴィザン」贖罪と断食で衰弱して
- 1554年6月8日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文23年5月9日|岡崎城番馬場幸家・堀越義久、3500騎率い足助城を攻める/城主鈴木越後守重直、子鈴木兵庫助信重を人質にして今川方に降る
- 1554年6月11日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第81代ドージェ(元首)「フランチェスコ・ヴェニエル」(~1556年)
- 1554年6月11日-09:00|日本|広島県広島市|天文23年5月12日|<佐東銀山城合戦>毛利元就、大内義長から離反、陶晴賢方の銀山城、己斐城を攻略/毛利軍は江良賢宣が置かれている桜尾城へ進軍途中、羽仁有繁が守っていた支城の草津城を落とし、そのまま桜尾城も落とした/厳島の対岸にある桜尾城が陥落したことにより、厳島も毛利が奪取
- 1554年6月21日-09:00|日本|広島県|天文23年5月22日|毛利氏、天野隆綱と盟約を結ぶ
- 1554年6月30日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天文23年6月|吉田城代伊東左近将監元実・代官藤原朝臣吉田四郎左衛門重安・作事奉行畑三郎左衛門勝吉・作事奉行佐久間平助光信、吉田牛頭天王社(関屋町)社殿造営
- 1554年7月-03:30|イラン/トルコ| |||オスマン朝がイランに侵攻し、ナフサハン、エリヴァンを征服
- 1554年7月4日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文23年6月5日|<折敷畑の戦い(安芸国)>毛利元就が、陶晴賢の派遣した宮川房長の軍を安芸の折敷畑で迎えうち破る。宮川房長は自害
- 1554年7月6日-09:00|日本| |||天文23年6月7日|大内義長と尼子晴久、和睦し同盟
- 1554年7月15日-09:00|日本|大阪府|天文23年6月16日|<死去>和泉上半国守護(山城国勝龍寺城城主)「細川元常」/家督は「細川藤孝」が継承
- 1554年7月25日-01:00|イタリア/スペイン| |||<即位>ナポリ王・シチリア王「フェリペ2世」(ミラノ公フェリペ1世)(~15980913死去)
- 1554年7月25日 00:00|イギリス/スペイン| |||<即位>イングランド王「フィリップ1世」神聖ローマ皇帝兼スペイン王カルロス1世とイザベル・デ・ポルトガルの男子、女王マリーと結婚(~15581117退位~15980913死去71歳)
- 1554年7月30日-09:00|日本|静岡県|天文23年7月|北条氏康の娘早川殿と今川義元の嫡男氏真が婚姻
- 1554年7月31日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文23年7月2日|伊東軍、古市時任付近の作薙を行う/島津兵、これを見て出陣/飢肥城が手薄になったところを伊東軍が総攻撃を仕掛けるも失敗
- 1554年8月7日-09:00|日本|鹿児島県出水郡長島町|天文23年7月9日|長島領主「長島鎮真」が堂崎城を放棄し薩州島津家を頼って出水に逃亡⇒肥後人吉領主「相良晴広」は同城に兵を進めてこれを占領
- 1554年8月10日-09:00|日本|愛知県|天文23年7月12日|<死去>尾張国守護「斯波義統」守護代織田信友に清洲城を攻められ死亡⇒「斯波義銀」が継ぎ那古野城へ逃げて信長に保護された(~1556年)/織田信長は守護代格として格式を得る
- 1554年8月13日-01:00|フランス/オーストリア| |||親征したフランス王アンリ2世、「ランティの戦い」で神聖ローマ皇帝カルロス5世に勝利
- 1554年8月14日-09:00|日本|静岡県|天文23年7月16日|「今川氏真」が「北条氏康」娘早川殿と結婚
- 1554年8月16日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文23年7月18日|<安食の戦い>柴田勝家、安食の成願寺前で川尻一・織田三位を討つ
- 1554年8月22日-09:00|日本|長野県下伊那郡|天文23年7月24日|武田晴信、伊奈郡の神之峰城主知久頼元・座光寺氏が叛いたため信濃下伊那に出陣、信濃下伊那地方を平定
- 1554年8月25日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク公・サリ伯「トマス・ハート」
- 1554年8月25日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公・サリ伯「トマス・ハート」先代の孫(~15720602死刑剥奪)
- 1554年8月29日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|天文23年8月2日|<三本松城の戦い>(4月17日~)大内軍は12回に及ぶ三本松城総攻撃を行うが、籠城側は防衛に成功/さらに、三本松城の支城である下瀬城と御嶽城でも籠城が続いていた
- 1554年9月 00:00|モロッコ| |||<死去>ワッターズ朝スルタン「アリー・アブー・ハサン」
- 1554年9月2日-09:00|日本|長野県小諸市|天文23年8月6日|武田晴信・義信は信濃国に入り、佐久で抵抗する小室城の大井高政ほか、同調する豪族を滅ぼす
- 1554年9月3日-09:00|日本|長野県飯田市|天文23年8月7日|武田晴信・義信、南伊那の小笠原氏の鈴岡城を落とす小笠原信定、京都に逃れる
- 1554年9月9日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|天文23年8月13日|<死去>本願寺第10世「証如(光教)」39歳/12歳の顕如が継承
- 1554年9月11日-09:00|日本|茨城県土浦市|天文23年8月15日|常陸國小田城主小田氏治は部將新治郎土浦城主菅谷摂津守勝貞入道喜翁をして新治郡木田余城主信太勢守範宗を土浦城に誘って殺害
- 1554年9月11日-09:00|日本|長野県飯田市|天文23年8月15日|武田晴信・義信、南伊那の知久氏の神峰城を落とす、知久頼元父子が捕らえられる/次いで、吉岡城の下条信氏ら、晴信(信玄)に降る/「信玄、伊那を平定」
- 1554年9月12日-09:00|日本|佐賀県|天文23年8月16日|<任命>肥前国守護「大友義鎮(宗麟)」(~永禄元(1576)年正月隠居)
- 1554年9月16日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ペドロ・マスカレニャス」(~15550616死去)
- 1554年9月27日-09:00|日本|兵庫県小野市|天文23年9月1日|三好長逸、播磨に出陣し依藤(別所)城外で交戦、三木次郎は敗れ依藤城に籠城
- 1554年9月28日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|天文23年9月2日|<三本松城の戦い>吉見正頼が子・亀王丸(後の吉見広頼)を山口に人質として送ることを条件に大内義長に降伏、和睦が成立

1560迄 (1476件)

1554年10月1日-01:00|サンマリ| |||<就任>サンマリ共和国執政「マルクアントニオ・ゴジ」「フランチェスコ・デ・イ・セバステアノ・オノフリ」
1554年10月6日-09:00|日本|愛知県豊川市|天文23年9月10日|吉田城代伊東左近将監元実、龍雲山三明寺(豊川市豊川町)造営
1554年10月8日-09:00|日本|兵庫県三木市|天文23年9月12日|三好長逸は、依藤城包囲の傍ら10日間に付城・出丸等7ヶ所を陥落し美濃郡を攻略、この日引揚げる
1554年10月10日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文23年9月14日|<岩剣城の戦い>島津貴久の弟忠将は岩剣城外に出張っていた祁答院軍に対し種子島銃で攻撃/祁答院軍も種子島銃で応戦/初めて鉄砲が実戦で使用された
1554年10月11日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文23年9月15日|安芸・毛利元就、折敷畑で宮川房長を破る
1554年10月14日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文23年9月18日|島津忠将は、戦船50余隻をもって別府川を遡り、鉄砲で帖佐城を攻めた
1554年10月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ケリック伯「ジョン・ダトリー」
1554年10月25日-09:00|日本|広島県江田島市|天文23年9月29日|毛利元就と小早川の警固衆が呉・能美衆らを討伐、安芸能美島を占領
1554年10月28日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文23年10月2日|<岩剣城の戦い>祁答院良重(13代)の嫡男・重経が、岩剣城の戦いで島津氏に敗れ戦死
1554年10月29日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文23年10月3日|未明、祁答院良重(13代)は島津氏に岩剣城を開城/帖佐城に撤退
1554年10月30日-09:00|日本|京都府京都市|天文23年10月4日|陰陽師・勘解由小路在富、養子の勘解由小路在種(弟在康の子)を殺害
1554年11月-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「サルヴェアトレ・ミチエリ」(~15560501死去)
1554年11月 00:00|イギリス| |||この月、イギリス議会で国王至上法などの反ローマ立法が取り消される/新教徒迫害が過酷となる
1554年11月10日 05:00|ペルー| |||ヒロソ軍、併か北西のフカラのたたかいで壊滅/クスコの反乱終結
1554年11月10日-09:00|日本|京都府綾部市|天文23年10月15日|綾部城攻撃/龍造寺隆信が綾部鎮幸の綾部城を攻撃/少貳冬尚、城主と共に山浦城へ逃亡
1554年11月10日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|天文23年10月15日|<第一次門司城の戦い>(13日~)戸次鑑連(立花道雪)らの大友軍1万5千は豊前柳ヶ浦で毛利元就と小早川隆景を大敗させ毛利勢は総崩れし、門司城を奪還された
1554年11月20日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文23年10月25日|毛利軍、陶氏の佐西郡友田固屋を攻略
1554年11月22日-05:30|インド| |||<死去>スル朝シャー「イスラム・シャー」スル朝が分裂
1554年11月22日-05:30|インド| |||<即位>スル朝シャー「フィールズ・シャー」(~12月従兄のムハンマド・アーデイル・シャーに背かれ暗殺された)
1554年11月25日-09:00|日本|島根県安来市|天文23年11月1日|尼子晴久、新宮党尼子国久・誠久父子を殺害
1554年11月26日-09:00|日本|兵庫県神戸市西区|天文23年11月2日|<第二次枝吉城の戦い>三好長慶は兵をあげ、まず先陣として三好実休隊と篠原長房隊が枝吉城を攻囲、すぐには合戦とはならず枝吉城明石某軍も防備に徹し籠城戦となった
1554年12月-05:30|インド| |||<死去>スル朝シャー「フィールズ・シャー」従兄のムハンマド・アーデイル・シャーに背かれ暗殺された
1554年12月-05:30|インド| |||<即位>スル朝シャー「ムハンマド・アーデイル・シャー」(~1555年死去)
1554年12月1日-09:00|日本|茨城県古河市|天文23年11月7日|<古河御所の戦い>足利晴氏・藤氏、北条氏康に叛するも氏康下総古河城を陥れ足利晴氏・藤氏父子を相模波多野に幽閉
1554年12月4日-09:00|日本|千葉県君津市|天文23年11月10日|北条綱成以下、玉縄衆の軍勢が久留里に対する向久留里(向郷)へ陣とり久留里城を攻めるが落城せず
1554年12月8日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文23年11月14日|藤原直貞、六所大明神(浜松市北区引佐町的場)社殿再建
1554年12月9日-09:00|日本|愛知県春日井市|天文23年11月15日|吉田城代伊東左近将監元実・代官吉田四郎左衛門尉重定・作事奉行畑三郎左衛門尉勝吉・作事奉行佐久間半助光信、三河石巻大明神下社社殿造営
1554年12月14日-09:00|日本|熊本県|天文23年11月20日|<死去>肥後国主「菊池義武」大友義鎮(宗麟)に攻められて自刃/菊池氏宗家は断絶
1554年12月19日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文23年11月25日|友田高森要害が陥落/毛利軍を悩ました山里一揆終結
1554年12月20日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文23年11月26日|那古野城主織田信光(信長の父・信秀の弟)、家臣坂井孫八郎に殺害される
1554年12月25日-09:00|日本|神奈川県|天文23年12月|北条氏政、武田信玄の娘黄梅院殿と結婚
1554年12月29日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天文23年12月5日|<北条城の戦い(越後国)>長尾景虎家臣の北条高広が武田信玄と通じて謀反
1555年-08:00|マレーシア| |||<死去>ハ・ハン・スルタン「ザイナル・アビデイン・シャー」
1555年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Duarte d' Eca」(~1558. 12)
1555年-08:00|マレーシア| |||<即位>ハ・ハン・スルタン「マンスール・シャー2世」(~1560年没)
1555年-05:30|インド| |||<建国>ジャムナ国(86の村からなる)
1555年-05:30|インド| |||<死去>スル朝シャー「ムハンマド・アーデイル・シャー」
1555年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Ismail Shah」(~1557年)
1555年-05:30|インド| |||<即位>スル朝シャー「イブラヒム・シャー」(~同年)⇒「シカンダル・シャー」(~6. 22滅亡)

1560迄 (1476件)

1555年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Ghiyasuddin Bahadur Shah1世」(~1561年)
 1555年-05:30|インド| |||<即位>マルワー・スルタン朝スルタン「Baz Bahadur」(~1562年)
 1555年-05:00|カザフスタン| |||<即位>ノガイ・オルダ・ハーン「Ismail Khan Nogay」(~1564年)
 1555年-04:00|ロシア| |||シビルはロシアの宗室権下(~1563年)
 1555年-04:00|ジョージア/イラン/トルコ| |||ペルシャとオスマン帝国は合意によりジョージアを分割
 1555年-04:00|ロシア| |||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」が郡制改革、地方改革を実施
 1555年-03:30|イラン| |||<死去>ハダスパニド朝(Kojur)君主「Kayumarth3世」
 1555年-03:30|イラン| |||<即位>ハダスパニド朝(Kojur)君主「Jahangir2世」(~1567年)
 1555年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Mustafa Neshshar Pasha」(2期目~1559年)
 1555年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<即位>アダル・スルタン国スルタン「Barakat ibn Umar Din」(~1559年)
 1555年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ジャンパツィスタ・デ・アントレ・ド・ナート」(~1557年)
 1555年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ヒズル・パシャ」(~1561年)
 1555年-02:00|トルコ| |||このころからistanbulでコーヒーが普及しだす
 1555年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「フィリップ5世」(~1598年)
 1555年-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「カラム・スタファ・ベイ」(~1557年)
 1555年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Jorge Vieira」(~1557年)
 1555年-01:00|オランダ| |||<即位>ゲルダール公「Philip2世」(~1598年)
 1555年-01:00|デンマーク/オランダ| |||<即位>ブラバント公(アブスロー家)フィリップ4世(~1598年)
 1555年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「アウグスティン・マリチッチ」
 1555年-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=グストロ公「ウルリヒ・アルブレヒト7世の息子」(~16030314死去)
 1555年-01:00|イタリア| |||フィレンツェ共和国シエナを獲得/フィレンツェ、トスカナ公国の首都に
 1555年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Rodrigo Manrique de Acuna」(2期目~1557年)
 1555年 00:00|セネガル| |||<独立>バウル国
 1555年 05:00|ペルー| |||メディーナ、水銀による銀の抽出法(アマルガム法)を発明/メキシコで実用化
 1555年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「ペドロ・デ・サルバティエラ」(~1562年)
 1555年 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・大審問院長代行「フロンシ・デ・ソリタ」(~1556年)
 1555年1月 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ市長「ジョン・マルケス」(~11月)
 1555年1月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドーージェ「アゴスティノ・ビネロ・アルデイメンティ」(~15570104)
 1555年1月7日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天文23年12月14日|武田晴信の長女(黄梅院)が北條氏政に嫁ぐ
 1555年1月14日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・大審問院長「アントニオ・ロドリゲス・デ・カサ」(~10.20)
 1555年1月19日-09:00|日本|宮崎県日南市|天文23年12月26日|鬼ヶ城火災/飢餓の島津兵、伊東方の鬼ヶ城を攻撃
 1555年1月23日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天文24年|奥平貞能、日近城主奥平久兵衛貞直・彦六父子を助けるため麻生邑主天野弥九郎を先鋒に、高隆寺(岡崎市高隆寺町)を攻め兵火により7堂12坊焼失
 1555年1月23日-09:00|日本|京都府京都市|天文24年|京都西陣で紋織のできる高機(たかばた)の使用が開始
 1555年1月23日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|天文24年|法栄院日立、円立山法栄寺(静岡市葵区駒形通)創立
 1555年1月23日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天文24年|楞嚴寺(静岡市清水区今泉)創立
 1555年1月23日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|天文24年|三河国慈廣寺雲耕、森淵山梅林院を再興
 1555年1月23日-09:00|日本|静岡県焼津市|天文24年|山田新右衛門景隆、山田越後守の守本尊薬師仏を安置する為、瑠璃山瑞応寺(焼津市越後島)開基
 1555年1月23日-09:00|日本|長崎県対馬市|天文24年|<任命>対馬国守護「宗義調」(⇒永禄3(1560)年、対馬国主~永禄9(1566)年隠居)
 1555年1月23日-09:00|日本|宮城県|天文24年|<死去>陸奥登米寺池領主「葛西晴胤」⇒子の「葛西親信」が継ぐ(~永禄3年4月11日(15600506)死去)
 1555年2月 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「ジェローム・デ・アルデレ」(就任せず~1556年5月)、総督代行「フアンスコ・デ・ビジャグエラ・バスケス」(3回目⇒1556年5月、総督~1557年4月)
 1555年2月4日-09:00|日本|兵庫県神戸市西区|天文24年1月13日|<第二次枝吉城の戦い>三好長慶、枝吉城(明石長行・祐行)を攻略
 1555年2月13日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文24年1月22日|北村城主・北村清康が貴久に内通した振りをして貴久をおびき寄せ攻撃、貴久は鹿児島へ逃げ帰る
 1555年2月22日-05:30|インド| |||<復位>ムガル帝国第2代皇帝「フマユーン」(~15560127死去47歳)
 1555年2月22日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文24年2月|臨濟宗方広寺派長松山富春院(浜松市小沢渡町)開創
 1555年2月22日-09:00|日本|千葉県君津市|天文24年2月1日|<第1次久留里城合戦>里見義堯、北条綱成に勝利
 1555年2月24日-09:00|日本|高知県高知市|天文24年2月3日|<死去>土佐朝倉領主「本山茂宗」⇒子の「本山茂辰」が継ぐ(⇒永禄6(1563)年1月10日、土佐本山に移転~永禄7(1564)年死去)
 1555年2月24日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天文24年2月3日|北条高広、長尾景虎に降伏
 1555年3月1日-01:00|フランス| |||医師で占星術師のミシェル・ド・ノートルダム(ノストラダムス)がフロワランス地方のサンで予言詩「諸世紀」を出版
 1555年3月14日 00:00|イギリス| |||<死去>ベットフォード伯「ジョン・ラッセル」
 1555年3月14日 00:00|イギリス| |||<就任>ベットフォード伯「フアン・ラッセル」先代の子(~15850728死去)
 1555年3月20日-09:00|日本|兵庫県小野市|天文24年2月27日|三好長慶軍は依藤城を約1ヵ月間攻め、城主であった

1560迄 (1476件)

三木次郎が和議を申し入れ開城/播磨東二郡を手に入れた三好長慶軍は開陣とし、阿波勢、淡路勢、そして長慶も芥川山城に帰城

1555年3月23日-01:00|バチカン| |||<死去>第221代ローマ教皇「ユリウス3世」/67歳 (誕生14870910)

1555年3月23日-09:00|日本|茨城県筑西市|天文24年3月|結城政勝、宇都宮方の常陸小栗城を攻略

1555年3月23日-09:00|日本|佐賀県神埼市|天文24年3月|竜造寺方の小川信安が姉川惟安の姉川城攻撃/惟安敗れる/ついで小川信安が江上武種の勢福寺城攻略

1555年3月23日-09:00|日本|長野県大町市|天文24年3月|大日向美作入道ら、千見城奪還

1555年3月23日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天文24年3月|<北条城の戦い(越後国)>北条城城主・北条高広は長尾景虎に降伏

1555年3月23日-09:00|日本|広島県広島市南区|天文24年3月|<仁保島合戦(安芸国)>毛利方から離反していた矢野城主野間隆実と共に白井賢胤の軍勢が仁保城を攻めるが奪回には至らなかった

1555年3月23日-09:00|日本|福島県|天文24年3月|<任命>奥州探題「伊達晴宗」(~永禄8(1565)年隠居)

1555年3月23日-09:00|日本|千葉県君津市|天文24年3月1日|北条綱成2000余騎で再び久留里城を攻めるが、応戦に出た正木氏に敗れる

1555年3月27日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルタワキル・ヤーヤ・シャフ・アッデ・イン・ビ・ン・シャムスアッデ・イン」

1555年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・デ・マリノ・リギ」/「ジオ・アントニオ・デ・アントニオ」

1555年4月6日-09:00|日本|山口県岩国市|天文24年3月15日|江良房栄が警固船140艘からなる水軍を率いて厳島などを襲撃/その後、野間隆実が毛利方から離反して白井賢胤と共に海田浦(毛利方の阿曾沼広秀領)や仁保島を攻めた

1555年4月7日-09:00|日本|山口県岩国市|天文24年3月16日|江良房栄、岩国の琥珀院で陶晴賢の命令を受けた弘中隆包らによって暗殺された

1555年4月8日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|天文24年3月17日|<死去>下野鹿沼領主「壬生綱房」⇒子の「壬生綱雄」が継ぐ(~天正4年2月25日(15760325)死去)

1555年4月9日-01:00|バチカン| |||<就任>第222代ローマ教皇「マルケルス2世」(~15550501死去)

1555年4月9日-09:00|日本|長野県木曽郡木祖村|天文24年3月18日|武田晴信、木曽谷の藪原着、藪原砦を築城

1555年4月12日-01:00|スペイン| |||<死去>アラゴン国王・レオン国王・カスティーリャ国王「フナ狂女王」75歳 (誕生14791106) トルデシーヤスに幽閉されていた

1555年4月13日-09:00|日本|島根県浜田市|天文24年3月22日|吉川元春、永安城・永安兼政を攻撃、落城/永安兼政は益田藤兼を頼って益田七尾城に逃げる

1555年4月17日-01:00|イタリア/フランス/スペイン| |||フランス王軍が救援に努めていたイタリア中部トスカ地方の「シエナ共和国」が、神聖ローマ皇帝カルル5世(スペイン軍)により陥落

1555年4月22日-09:00|日本|鹿児島県始良市|天文24年4月2日|島津貴久は蒲生氏の帖佐平山城を攻め、これを落城させた

1555年4月28日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文24年4月8日|陶方の神領衆が安芸小方・大竹から小船七、八十艘に分乗し毛利方厳島を攻める

1555年5月1日-01:00|バチカン| |||<死去>第222代ローマ教皇「マルケルス2世」/53歳 (誕生15010506)

1555年5月4日-01:00|フランス| |||フランスの医師・占星術師・詩人の「ストラダ・ムス、リヨ」で「予言集」を刊行

1555年5月4日-09:00|日本|岡山県岡山市東区|天文24年4月14日|安南郡矢野保木城野間隆実が出城が落とされたことで毛利元就に降伏/隆実は舅に当たる熊谷信直を通して降伏を申し出ており、元就も一旦は了承するが、城外に出たところで城兵諸共に討ち滅ぼされた

1555年5月10日-09:00|日本|愛知県|天文24年4月20日|織田信長が叔父の織田信光とはかり、尾張守護代織田彦五郎を滅ぼし、清洲城を奪って居城と/織田信光(織田孫三郎殿)は織田信長より尾張国那古野城を受け取る

1555年5月14日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天文24年4月24日|壱岐・謀叛起こり、六人衆に追われ、有安鶴の部海岸[郷/浦町]にて波多隆が馬渡弥八右エ門、草履取一人と共に自害

1555年5月15日-09:00|日本|長野県長野市|天文24年4月25日|上杉景虎が武田信玄守備隊の旭日山城攻略戦、勝利

1555年5月23日-01:00|バチカン| |||<就任>第223代ローマ教皇「パウルス4世」(~15590818死去)

1555年5月25日-01:00|スペイン/アンダル| |||<死去>ナバラ王「エンリケ2世」兼アンダル公国共同大公「フォア伯爵エンリケ2世」52歳

1555年5月25日-01:00|スペイン/アンダル| |||<即位>ナバラ王国国王兼アンダル公国共同大公「フナ3世」エンリケ2世とマルケリットの女子(~15720609死去44歳)、ナバラ王国国王「アントニオ」ヴァントーム公シャルル・ド・ブルボンとフランス・ダランソンの男子(~15621117死去44歳)

1555年5月29日-03:30|イラン/イラク/トルコ| |||中央アジアのアフシャールで、オスマン朝とサファヴィー朝が和平条約を締結/バグダッドがオスマン領へ

1555年5月31日-09:00|韓国/日本| |||天文24年5月11日|倭寇が朝鮮全羅道を襲撃

1555年6月1日 03:00|ブラジル| |||先住民千名がアントニオ・カルドゾの製糖工場を包囲/アルバロ・ダ・コストの騎兵隊は先住民を圧倒、多くを殺害

1555年6月2日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文24年5月13日|陶晴賢軍百艘が厳島に出陣、宮ノ城を攻撃するが毛利軍に敗退

1555年6月16日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド総督「ペドロ・マスカニヤス」

1555年6月16日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「フランシスコ・バレット」(~15580908)

1555年6月17日-09:00|日本|山梨県南都留郡富士河口湖町|天文24年5月28日|武田信玄、鶴島流罪中の知久頼元ら8人を船津で切腹命令を出す

1555年6月22日-05:30|インド| |||<即位>スール朝スルタン「アデイル・シャー・スリ」(~1556年)

1560迄 (1476件)

1555年6月22日-05:30|インド| |||<廃位>スール朝シャー「シカンダル・シャー」滅亡
1555年6月26日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文24年6月8日|毛利元就が、自ら厳島に渡る途中に陶晴賢方の偵察船三艘を撃破
1555年7月1日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文24年6月13日|本寺稲荷山善住寺(水窪町向市場)7世心国吟波を請して金岩山永福寺(水窪町大里)開創
1555年7月10日 05:00|キューバ| |||ジフロリダを根拠地とするフランス人海賊ジャック・ソワール、第三回目のハバナ襲撃。ハバナを一時占領し略奪
1555年7月13日-09:00|日本|沖縄県|明・嘉靖34年6月25日|<死去>琉球国王「尚清」
1555年7月14日-09:00|日本|愛知県|天文24年6月26日|織田秀孝(信長の弟)が単騎で守山城主織田信次の側を通り過ぎたとき信次の家臣が無礼を咎めるため相手が秀孝と知らずに弓で射殺/信次は報復を恐れて出奔
1555年7月19日-09:00|日本|千葉県富津市|天文24年7月|<佐貫城合戦>北条氏康が佐貫城を奪取
1555年7月19日-08:00|中国/日本| |||天文24年7月|中国大陸に上陸した倭寇が南京の大安徳門を焼き、4千人を殺傷
1555年7月23日-05:30|インド| |||亡命していたムガル皇帝フマーンが、デリーを奪回
1555年7月24日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文24年7月6日|織田信長が織田定宗・飯尾讃岐守に柴田勝家・津々木蔵人と共同で守山城包囲を命じ、愛知郡岩崎城主丹羽勘四郎氏勝の軍と交戦/織田信時(秀俊)を守山城主とする
1555年7月25日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文24年7月7日|大内軍の白井賢胤が宮尾城を攻めるが、宮尾城の己斐直之らが撃退
1555年7月28日-09:00|日本|広島県広島市南区|天文24年7月10日|大内軍の三浦房清率いる水軍が兵500で仁保城を攻めるが、城番の香川光景勢200の抵抗により攻略できなかった
1555年8月6日-09:00|日本|石川県|天文24年7月19日|越前の朝倉宗滴が再び加賀に侵入
1555年8月6日-09:00|日本|長野県長野市|天文24年7月19日|<第2次川中島の戦い>川中島(犀川付近)で武田・上杉両軍が衝突。小競り合いに終わる(犀川の戦い)
1555年8月10日-09:00|日本|石川県加賀市|天文24年7月23日|<大聖寺合戦>朝倉宗滴が大聖寺などに立て籠もる加賀一向一揆を撃破
1555年8月12日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Diego de Caraza」(2期目~1561年)
1555年8月19日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天文24年8月3日|<蟹江城の戦い>蟹江城織田民部大輔信包を今川軍攻め落城させる
1555年8月28日-09:00|日本|熊本県人吉市|天文24年8月12日|<死去>肥後人吉領主「相良晴広」八代鷹峯城にて⇒子の「相良万満丸(義陽)」が継ぐ(~天正9年12月2日(15811227)死去)
1555年8月29日-09:00|日本|石川県金沢市|天文24年8月13日|<敷地・菅生合戦>朝倉宗滴が加賀一向一揆を鷹尾山におびき出しこれを撃破、大勝
1555年9月6日-09:00|日本|長野県木曽郡木曽町|天文24年8月21日|武田信玄が木曾に侵入して木曾義康・義昌父子の福島城を包囲、義康は降伏開城
1555年9月12日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|天文24年8月27日|石見津和野城を包囲した陶晴賢が長門へ軍を返し、城主吉見正頼は長門徳佐まで追撃
1555年9月16日-09:00|日本|石川県|天文24年9月|<飯川邸騒動>畠山義綱、温井総貞を謀殺し実権を奪う
1555年9月18日-09:00|日本|愛知県海部郡蟹江町|天文24年9月3日|<蟹江城合戦>今川義元の命で松平広忠が蟹江城を攻略
1555年9月20日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天文24年9月5日|竜造寺隆信が肥前谷田城の神代勝利を奇襲/勝利は敗れ、筑前高祖城の原田隆種を頼って落ち延びた
1555年9月22日-09:00|日本|岐阜県恵那市|天文24年9月7日|今川方が東美濃の遠山明智氏を攻め六人討取る
1555年9月23日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文24年9月8日|鱈兵庫助信重が小渡(豊田市旭町)に砦を築く。普請合力のため岩村遠山衆と三河高橋庄の広瀬右衛門大夫が出陣。広瀬右衛門大夫が帰陣の所に今川方足助周辺小領主阿摺衆が馳せ参じ合戦/阿摺衆の安藤藤三・深見与三郎が安藤新八郎・安藤宗左衛門を討取る
1555年9月25日-01:00|ドイツ| |||アウクスブルグ帝国議会で、ルター派の存在を認める宗教和議の取り決めが成立
1555年9月29日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ケレイクバル・ダマト・リュステム・パシャ」(2期目~15610710)
1555年9月29日-09:00|日本|愛知県豊田市|天文24年9月14日|<大給(豊田市大内町)山中(豊田市加茂川町)戦い>天野小四郎藤秀、諸隊の一隊として参戦し、先駆けし真先に敵に鎗を入れて平五屋敷を押し破る。松井左衛門佐宗信、天野七郎安芸守景泰・天野小四郎藤秀手負いの所支え引き取る
1555年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロ・ベルツィ」
1555年10月1日-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Emmanuel Philibert of Savoy」(~1559年)
1555年10月12日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天文24年9月27日|<第4次八上城の戦い>丹波・三好長慶、八上城(波多野晴通)を攻めるが敗れる
1555年10月13日-09:00|日本|静岡県浜松市|天文24年9月28日|井伊信濃守直盛、万福寺薬師堂再興
1555年10月16日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文24年10月1日|<厳島合戦>陶晴賢は毛利元就討伐に出陣したが毛利元就の三男小早川隆景が陶並びに陶一族を全滅させ、大内義長を周防より追放/陶晴賢自害/毛利氏は周防国・長門国などその旧領を手中にする
1555年10月18日-09:00|日本|広島県廿日市市|天文24年10月3日|<厳島の戦い>弘中隆包は、大聖院を経て弥山沿いの谷を駆け登って隣接する山の絵馬ヶ岳にある龍ヶ馬場と呼ばれる岩場に立て籠もっていたが山頂を包囲

1560迄 (1476件)

した吉川勢の猛攻に討ち死、弘中隆助を含め弘中隊は全滅
1555年10月23日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|天文24年10月8日|木村政綱、尾張国功德院の地藏菩薩像を寄進
1555年10月25日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー総督「エマニエル・フィリップ・デ・ユカ・デ・イ・サグ・オイア」(~15590727)
1555年10月25日-01:00|フランス/オランダ/ルクセンブルグ| |||<即位>ブラバント公・リンブルグ公・ルクセンブルグ公「フィリップ 4世」兼フランドル伯「フィリップ 5世」兼エノー伯「フィリップ 3世」兼アルトア伯「フィリップ 7世」(~15980506) 兼オランダ伯「フィリップ 3世」(~15810726)
1555年10月25日-01:00|ベルギー| |||<即位>ベルギー公「フィリップ 5世」(~15560116死去)
1555年10月25日-01:00|オランダ| |||<退任>エノー伯「シャルル 1世」
1555年10月25日-01:00|オランダ/ベルギー/フランス| |||カル5世が、息子のフェリペ 2世にネーデルランドの支配権を譲る→<就任>(アプスブルグ家)エノー伯「フィリップ 3世」兼フランドル伯「フィリップ 5世」(~15980913)
1555年10月25日-09:00|日本|千葉県千葉市|天文24年10月10日|上総小田喜城主「正木大膳亮時茂」千葉へ乱入、宿中放火
1555年10月27日-09:00|日本|山口県岩国市|天文24年10月12日|<防長経略(周防国、長門国)>元就は大内軍の主力である陶晴賢軍を撃破
1555年10月29日-09:00|日本|山口県岩国市|天文24年10月14日|<防長経略>未明に毛利軍が鞍掛城の搦め手より奇襲をかけて杉隆泰親子と城兵1,300を討ち取り、落城させた
1555年11月 06:00|コカチア/スペイン| |||<就任>コカチア市長「アルバロ・デ・パス」(~1556年)
1555年11月2日-09:00|日本|山口県岩国市|天文24年10月18日|<防長経略>蓮華山城相杜隆康は降伏、安芸の大名毛利元就に降った
1555年11月6日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天文24年10月22日|斎藤義龍が仮病を装い弟孫四郎と喜平次を稲葉山城に呼び寄せ謀殺
1555年11月7日-09:00|日本| ||弘治1年10月23日|「弘治」に改元
1555年11月7日-09:00|日本|愛知県西尾市|弘治1年10月23日|今川義元、吉良義安が叛した為、西条城(西尾市錦城町)攻撃し庄内放火・2百余討取る
1555年11月10日 03:00|ブラジル/フランス| |||<就任>フランス南極大陸(フォート・コニー)総督「ニコラ・デュラン・ド・ヴァル・ガニオン」(~1559年)
1555年11月10日 03:00|ブラジル/フランス| |||フランスの副提督ニコラ・デュラン・ド・ヴァル・ガニオン、ユグノー教徒80名をひきいブラジルに進出/ゲアナバウ湾(現財近郊)のセルピ島(現セルピオン島)に上陸/フランス領「南極フランス」を宣言
1555年11月10日-09:00|日本|佐賀県|弘治1年10月26日|龍造寺隆信が若村の戦いで同族の鑑兼を破り、鑑兼は降伏
1555年11月11日-09:00|日本|山口県岩国市|弘治1年10月27日|<鞍掛城合戦>毛利元就、杉隆泰に勝利。杉隆泰は討死
1555年11月12日-09:00|日本|山口県山口市|弘治1年10月28日|周防伊賀地で百姓が蜂起するが、小早川隆景がこれを鎮圧
1555年11月23日-09:00|日本|静岡県藤枝市|弘治1年閏10月10日|<死去>大原雪斎、駿河長慶寺にて
1555年11月27日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ページャ公「ルイス」
1555年11月28日-09:00|日本|長野県|弘治1年閏10月15日|<第2次川中島の戦い>今川義元の仲介によって、武田信玄と上杉謙信の和談成立
1555年12月12日-09:00|日本|大阪府堺市|弘治1年閏10月29日|<死去>茶人・武野紹鷗
1555年12月15日-01:00|フランス/バチカン| |||フランス王アンリ2世とローマ教皇パウル4世の「同盟」が成立
1555年12月15日-09:00|日本|静岡県榛原郡川根本町|弘治1年11月3日|小長谷修理亮、智者山神社十二所権現社(本川根町藤川)社殿造立
1555年12月16日-09:00|日本|宮崎県日南市|弘治1年11月4日|飢肥新山城水切れとなり、伊東軍これを攻め落とす
1555年12月18日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|弘治1年11月6日|東侯・厚地に敵が来襲し、島津義久方の兵2人が討ち取られる
1555年12月24日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|弘治1年11月12日|斎藤利尚(義龍)が長井道利と謀り稲葉山城内へ見舞いに来た斎藤孫四郎・斎藤右兵衛大輔喜平次を殺害して斎藤道三と敵対
1555年12月29日-09:00|日本|広島県尾道市|弘治1年11月17日|毛利方の村上水軍が大島郡の宇賀島を攻め、大内方の宇賀島水軍を討伐
1556年-09:00|東ティモール/ポルトガル| |||トミカの修道士は、リファオ(リファウ)で最初のポルトガル入植地を確立
1556年-05:30|インド| |||<建国>ソマリランド
1556年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバーニ朝ハン「ヒール・ムハンマド 1世」アブル・ハイルの子ホージャ・ムハンマドの子ジャーニ・ベクの子(~1561年)
1556年-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「シモン 1世」(~1569年)
1556年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イスタンブル・パシャ」(~1559年)
1556年-01:00|ポーランド| |||<再任>レグニツァ公「フレデリック 3世」(~1559年退任)
1556年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのベイルベイ代行「ハサン・コルリ」(~6月)
1556年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・リタニア・ベイルベイ「トルグート・レイス」(~15650623没)
1556年-01:00|ポーランド| |||<就任>ホーレ公「ゲオルク・フリードリヒ」フランドル公「アンソハ」辺境伯(~1558年、アプスブルグ家がホーヘンツォルン王として領有)
1556年-01:00|ドイツ| |||<就任>フランクフルト選帝侯「Otto Henry」(~1559年)
1556年-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「フェルディナンド 1世」神聖ローマ皇帝(~15640725)

1560迄 (1476件)

1556年-01:00|アルジェリア| |||<退位>サ・イヤーン朝スルターン「アル・ハサン・ベン・アブー・ム」オスマン帝国に併合
1556年-01:00|オーストリア/ハンガリー/トルコ| |||オスマン朝がハンガリーのオーストリア人と戦う
1556年-01:00|ドイツ| |||ゲオルギウスが「金属学」を著し、鉱毒による環境破壊に言及
1556年-01:00|スペイン/チリ| |||ビリャグランのひきいるスペイン軍、ウカ軍を壊滅。ウカ戦死
1556年-01:00|イタリア| |||ベネチア、ペストで多数が死亡
1556年-01:00|スペイン/チリ| |||ウカ、アンゴロとコンセプションでスペイン軍を打破。コンセプションの町を破壊
1556年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地گران・カリヤ島知事「Juan Pacheco de Benavides」(~1562年)
1556年 00:00|フェロー諸島/ノルウェー| |||<就任>フェロー諸島領土執達吏(トスハウ)「Anders Jude」(~1569年)
1556年 00:00|ガナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・コスト長官「アフォンソ・ゴンサルベス・デ・ボタフォ」(~1557年)
1556年 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||フレーク島は王からサークの支配者に授与
1556年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター/治安判事「マヌエル・デ・アントラーデ」(~1559年)
1556年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「アロンソ・デ・マルトナド」(~1558年)
1556年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サティアゴ 総督「フアン・ゴンザレス・デ・ヒノサ」(~1558年)
1556年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「エルナン・ベルメル/ルイス・デ・ユホア(2回目)」(~1558年)
1556年 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・大審問院長「ペドロ・ラミレス・デ・キニョネス(摂政)」(~15590902)
1556年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア市長「ニコラス・デ・ス・アラカ」(2回目~1557年)
1556年1月7日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|弘治1年11月26日|織田信長の叔父織田信光が那古野城内で坂井孫八郎に暗殺される
1556年1月12日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|弘治1年12月|島津貴久・義久が大檀主として花尾社の宝殿一字を造立
1556年1月12日-08:00|中国| |||明・嘉靖34年12月|四川・山東の銀鉱を開く
1556年1月16日-01:00|ベルギー| |||<死去>ベルギー公「フィリップ 5世」
1556年1月16日-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「カルロスフェリペ 2世」の長男(~15680724死去)
1556年1月16日-01:00|ベルギー/ルクセンブルグ/スペイン| |||<制定>スペイン領ネーデルラント、スペイン王の下で君主制(~17001116)
1556年1月16日-01:00|スペイン/イタリア/フランス/ベルギー| |||<即位>スペイン王・サルディニア王「フェリペ 2世」兼ブルゴニュー伯「フィリップ 7世」カルロス1世とイザベル・デ・ポルトガルの息子(~15980913死去71歳)兼アルトワ伯「フェリペ 7世」兼フランドル伯「フィリップ 5世」(~15980506)
1556年1月16日-01:00|ドイツ/イタリア| |||<即位>ドイツ王・イタリア王「フェルディナント1世」マクシミリアン1世の孫。カルロス5世の弟。ハンガリー王(~15640725死去)
1556年1月16日-01:00|スペイン| |||<退位>アラゴン国王・カスティリヤ国王「カルロス1世」息子に譲位(~15580921死去)
1556年1月16日-01:00|オランダ/スペイン| |||オランダはスペイン領ネーデルラントの一部
1556年1月23日-08:00|中国| |||明・嘉靖34年12月12日|甘肅省と陝西省の間で大地震が起こり、83万人が死亡
1556年1月27日-05:30|インド| |||<死去>ムガル帝国第2代皇帝「フマユーン」デリーの書庫の階段から落ちて/47歳(誕生1508年)
1556年2月5日-01:00|フランス/オーストリア| |||フランス王アンリ2世と神聖ローマ皇帝カルロス5世、ノルマンディー地方カヴァンヌ県のヴァーセルで「ヴァーセル休戦条約」を締結/現状維持を条件に5年の休戦を決定
1556年2月11日-09:00|日本|大分県宇佐市|弘治2年|豊前・大友軍、竜王城を攻略
1556年2月11日-09:00|日本|沖縄県|明・嘉靖35年|<即位>琉球国王「尚元」(~1572年死去)
1556年2月11日-09:00|日本|長崎県壱岐市|弘治2年|牧山舎人、下条将監、立石三河守、牧山善右衛門、下条掃部、松本左近ら壱岐国六人衆が、壱岐城代「波多重」を殺害
1556年2月11日-09:00|日本|愛知県みよし市|弘治2年1月|<福谷城戦い>今川義元38歳、福谷に砦構え、酒井忠次・渡辺正綱・大久保忠勝・大久保忠佐・阿部忠政・杉浦勝吉・大原惟宗・寛正重百騎で守らせる/織田方柴田勝家・荒川新八郎頼季5百騎が攻める。先鋒早川藤太は渡辺正綱に射られ大久保忠勝に討取られる。柴田勝家、阿部忠政に射られ逃れる。酒井忠次、城外に於て多くの寄手討取る。織田方143人討死
1556年2月11日-09:00|日本|静岡県静岡市|弘治2年1月|駿河の松平元信(家康15歳)が今川義元の姪である築山殿(父の関口親永(氏純)は今川家御一家衆)を正室に迎える
1556年2月14日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「アクバル」(~16051027死去63歳)
1556年2月15日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治2年1月5日|<滝脇の戦い>大給松平和泉守親乗と今川方滝脇松平乗清戦い、松平久大夫正乗討死
1556年2月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ヨハン5世」
1556年2月18日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「ヨハン6世」(~15670210死去)
1556年2月23日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのバイエルベイ「ハディム・アリ・パシャ」(2回目~15570214)
1556年2月26日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ選帝侯「フリートリヒ2世」
1556年2月26日-01:00|ドイツ| |||<就任>プファルツ選帝侯「オットー・ハインリヒ」(~15590212死去)
1556年3月5日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・順平8年1月24日|<死去>後黎朝(大越)後期第2代皇帝「中宗黎暄」
1556年3月5日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・順平8年1月24日|<即位>後黎朝(大越)後期第3代皇帝「英宗黎維邦」(~1

1560迄 (1476件)

5730122死去)

- 1556年3月6日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウカ=ウ=国王「ソー・ハラ」(~15640724)
- 1556年3月6日-09:00|日本|京都府京都市|弘治2年1月25日|地震で禁裏将軍家の殿門多く破壊
- 1556年3月8日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督「ディエゴ・デ・マサリエゴス」(~15650912)
- 1556年3月12日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年2月|<三河忽劇(三河国)>青野松平家で内紛が起きて今川方の
当主の松平忠茂が討死
- 1556年3月12日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治2年2月|<三河忽劇(三河国)>上野城の酒井忠尚も挙兵したが降伏
- 1556年3月12日-09:00|日本|大分県宇佐市|弘治2年2月|豊前・宇佐郡の諸氏、大友氏に叛旗。大友義鎮、志賀・田北・
朽網・利光に鎮圧させる
- 1556年3月12日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|弘治2年2月|石見国津和野三本松城吉見正頼(11代当主)が山
口にいる嫡男亀王丸を策略を使い奪い返す/再び挙兵し、大内に叛旗
- 1556年3月13日-09:00|日本|山口県岩国市|弘治2年2月2日|周防国山代で一揆蜂起。毛利氏、これを討つため、坂元
祐・栗屋元通らを遣わす
- 1556年3月14日-09:00|日本|愛知県名古屋市中千種区|弘治2年2月3日|反今川方上野城酒井将監忠尚が今川方に転
じ、酒井忠尚家臣足立甚尉・勝正と共に上野城に退く
- 1556年3月20日-09:00|日本|熊本県人吉市|弘治2年2月9日|<改名>肥後人吉領主「相良万満丸」⇒「相良頼房(義陽
)」
- 1556年3月23日-09:00|日本|山口県岩国市|弘治2年2月12日|<防長経略(周防国、長門国)>毛利軍は、山代地方の平
定に当たっていた坂元祐(坂新五右衛門)が入っていた高森城(美和町)から成君寺城を攻め落城させた
- 1556年3月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年2月14日|日近城主奥平久兵衛貞友、秦梨城栗生将監永信を
攻める。奥平貞能、奥平市兵衛・神谷久左衛門・長田善左衛門を遣わして奥平貞直を助ける。栗生永信は開城して
逃走。奥平市兵衛討死
- 1556年3月29日-09:00|日本|山口県岩国市|弘治2年2月18日|<防長経略(周防国、長門国)>毛利軍は、三瀬川で大内
義長軍を撃退
- 1556年3月31日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年2月20日|<名之内城戦い>東条松平右京亮忠茂、子亀千代甚太
郎家忠(1歳)を東条に置き、2百騎で織田方日近城主奥平久兵衛貞友を攻める。松平忠茂、郭外勝利に乗り城中へ
入ろうとした所矢に当たり保久・大林に於て討死
- 1556年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジ・オ・アントニオ・レオナルド・トリ」「ホ・ネット・デ・イ・マリノ・ホ・ネットイ」
- 1556年4月1日-09:00|日本|茨城県筑西市|弘治2年2月下旬|常陸国の佐竹義昭、多賀谷政経、下総国の結城政勝、下
野国の宇都宮廣綱、壬生綱房、千本義通等が連合して小田方の属城である常陸国真壁郡の海老ヶ島城主平塚山
城守入道自省を攻める
- 1556年4月7日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年2月27日|<日近合戦(三河国)>山内俊英らが約200の兵を引き連
れ日近城を攻略し真木治重も連合軍側に加わった
- 1556年4月10日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|弘治2年3月|飛騨桜洞領主「姉小路良頼」が古川姉小路家の当主「姉小
路高綱」を滅ぼし飛騨一国を制覇(~元龜3年11月12日(15721216)死去)
- 1556年4月10日-09:00|日本|長野県伊那市|弘治2年3月1日|武田晴信(信玄)、信濃伊那郡を攻略/甲越和睦は、有名
無実となる
- 1556年4月14日-09:00|日本|茨城県下妻市|弘治2年3月5日|常陸国筑波郡小田城主小田氏治は真壁郡の黒子村に
出陣して下妻城主多賀谷下総守政経を攻め、佐竹義昭、結城政勝らの加勢軍と戦い筑波郡手子丸城主赤松伯胤
齊則定入道疑淵らを討取られて敗北し氏治は菅谷摂津守入道喜翁の新治郡土浦の城に逃入
- 1556年4月19日-09:00|日本|神奈川県三浦市|弘治2年3月10日|里見義弘・正木時忠・小糸城主・秋元氏・丸城・山川・
川名氏ら、水軍をもって相模三浦を攻めるが退く
- 1556年4月20日-09:00|日本|京都府|弘治2年3月11日|山代一揆鎮圧される
- 1556年4月24日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘルコ教37ソ・ペレ・ガルシア・ド・オリヴァン」(~15600923)
- 1556年4月24日-09:00|日本|山口県山口市|弘治2年3月15日|石見国津和野三本松・城吉見正頼(11代当主)が嘉年
勝山城を奪回し、波多野秀信は城主として治まる
- 1556年5月1日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<死去>ヴェネツィアのカンティエ公「サルヴァトレ・ミチエリ」
- 1556年5月1日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公「ジ・ロ・モ・チコニャ」(~1558年)
- 1556年5月4日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治2年3月25日|<滝脇の戦い>大給松平親乗、今川方滝脇松平乗清攻め
滝脇領を奪う/松平乗清・松平三郎大夫乗遠父子討死
- 1556年5月8日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年3月29日|<野馬原戦い>織田信長、東条松平氏居城青野城に隣接
した荒河侵入/松平亀千代家忠の名代松井忠次が首級1つ取る
- 1556年5月9日-09:00|日本|大分県宇佐市|弘治2年4月|豊前の宇佐郡衆が毛利氏に内応の気配を見せたため、大友
義鎮自らが出陣/豊前竜王城に入りこれを鎮圧
- 1556年5月9日-09:00|日本|広島県廿日市市|弘治2年4月|毛利隆元、厳島天神社の建立
- 1556年5月9日-09:00|日本|広島県三次市|弘治2年4月|毛利氏、三次郡高杉知波夜比古神社本殿を再興
- 1556年5月9日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治2年4月上旬|<三河上野原会見>尾張守護「斯波義銀」と三河守護「吉
良義昭」同盟を締結
- 1556年5月13日-09:00|日本|神奈川県小田原市|弘治2年4月5日|下総国結城城主結城政勝が伊勢大廟に参詣せん
と発向し途中相模国の小田原に至りしに、下野国河内郡宇都宮城主宇都宮広綱、常陸国筑波郡小田城主小田氏
治等が連合して結城を攻め、結城政勝は小田原城主北條氏康に援兵を頼み、氏康は武藏国江戸城主遠山丹波守
高俊、道景、岩槻城主太田美濃守を始め富永政家等の五百騎を結城の加勢として派遣し、下野国佐野城主佐野顯

1560迄 (1476件)

綱、上野国館林城主茂呂忠季、常陸国下妻城主多賀谷政経、下野国の千本通長、梁田、一色、赤井、榎本等も古河公方足利義氏の命により結城へ加勢として集る/下野国壬生、鹿沼両城主壬生末治、政廣父子は同国宇都宮城主宇都宮廣綱、忠綱父子を攻め破って結城へ来り那須資胤も駆せ加わる、結城政勝は小田原の加勢を得て全軍を率へて発向し真壁郡の海老ヶ島に陣す、海老島城主平塚入道自省は城の守りを厳重にして小田原軍の攻撃に備える。小田氏治は江戸、石川、尾上、穴戸等の諸將と二千騎を率へて出陣し海老ヶ島に於て小田原軍と対陣。結城政勝の子結城七郎晴朝が真っ先き馳けて小田勢に斬り込み結城の兵共大いに奮戦し戦い小田軍を破り、小田原勢の岩槻城主太田美濃守の兵等も小田勢を攻め一千余騎を討取り、遂に小田氏治は敗北して新治郡の土浦城に逃入る

- 1556年5月14日-09:00|日本|静岡県裾野市|弘治2年4月6日|大甫一巨、富士山光明寺を開基
- 1556年5月14日-09:00|日本|茨城県つくば市|弘治2年4月6日|結城政勝は真壁郡の海老ヶ島、筑波郡の小田城を攻略し、小田氏の所領中郡四十二郷、田中庄、海老ヶ島、大島、小栗、沙塚、豊田等の地を攻略して所領と成す
- 1556年5月21日 00:00|イギリス| ||トマス・クランマーが火刑に処せられる/66歳(誕生:14890702)前カタルーニャ大司教でイギリスの宗教改革者
- 1556年5月26日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「セックス伯トマス・ラド・クリフ」(1回目~15581213)
- 1556年5月26日-09:00|日本|福井県|弘治2年4月18日|<寺井合戦>朝倉景隆、一向一揆に勝利
- 1556年5月28日-09:00|日本|岐阜県|弘治2年4月20日|<死去>美濃国主「斎藤道三」長男の義龍と居城に近い長良川河畔で戦い敗死/63歳(誕生:明応3(1494))
- 1556年5月28日-09:00|日本|山口県周南市|弘治2年4月20日|小早川隆景率いる軍勢5,000が攻めるが、須々万沼城に籠もる城主・山崎興盛と大内氏援軍・江良賢宣に撃退される
- 1556年5月29日-09:00|日本|福井県|弘治2年4月21日|朝倉義景が、将軍義輝の仲介により加賀一向一揆と和睦
- 1556年6月-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのベイルバ「ムハンマド・クルド・グマリ」(~1557年)
- 1556年6月2日-04:00|ロシア| ||イヴァン4世はアストラハン・ハン国を滅ぼし、始めてキプチャク・ハン国の一部を併合
- 1556年6月2日-01:00|イタリア| ||<死去>ヴェネツィア共和国第81代ドージェ「フランチェスコ・ヴェニエール」
- 1556年6月6日-09:00|日本|愛知県豊川市|弘治2年4月29日|今川義元、一色城牧野民部丞成勝が叛いた為、牛久保城牧野出羽守保成を接收し勾坂長能を牛久保城主とする
- 1556年6月8日-09:00|日本|熊本県|弘治2年5月|<姓氏対立事件>大友義鎮は大友一門の同紋衆に対し、在地の国衆や外様家臣の他紋衆にはあまり恩賞を与えず扱いに格差をつけていたことから、他紋衆の阿南氏小原鑑元が中心となって肥後で挙兵/挙兵は府内でも発生したため、義鎮は丹生島城へ避難
- 1556年6月8日-09:00|日本|島根県大田市|弘治2年5月|石見・吉川元春、山吹城(刺賀長信)を攻略し、大森銀山を領有
- 1556年6月13日-09:00|日本|熊本県玉名郡南関町|弘治2年5月6日|大友軍は大津山資冬を案内役として田原氏、井木野氏、小代氏、谷川氏、河崎氏、迎春氏、三池氏、田尻氏、蒲池氏らを動員、小原鑑元の立て籠もる関城を攻めさせた
- 1556年6月14日-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国第82代ドージェ(元首)「ロレンツォ・フロリ」(~15590807死去)
- 1556年6月15日-09:00|日本|熊本県玉名郡南関町|弘治2年5月8日|他紋衆は鎮圧され、小原鑑元も南関城で討死
- 1556年6月24日-01:00|ルウェー/デンマーク| ||<就任>ルウェー総督「クリスティアン・ムンケイル・タフト・ウッブ」(~15720623)
- 1556年6月27日-01:00|スウェーデン/フィンランド| ||<就任>フィンランド 公「ヨハン・ヴァーサ」スウェーデン王ゲスタ71世の子/スウェーデン王領地を付与(~15630812)
- 1556年6月29日 05:00|ベルギー/スペイン| ||<就任>ベルギー副王「カエタヌ・アントニス・ウルトラ・デ・メントーサ」(~15610330没)
- 1556年7月1日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年5月24日|<秦梨城の戦い>秦梨城主栗生将監永信・子信盛、名之内城奥平兵衛尉貞友に攻められ、奥平市兵衛・松平彦左衛門ら5人を討取る
- 1556年7月5日-09:00|日本|愛知県|弘治2年5月28日|林秀貞、林美作守(秀貞弟)・柴田勝家らと共に織田信長へ謀反、荒子城・米野城・大脇城も敵対
- 1556年7月5日-09:00|日本|愛知県新城市|弘治2年5月28日|<第1次布里(鳳来町布里)の戦い>奥平貞能に誘われて、織田方となった田峯菅沼定継と、弟布利城主菅沼定直が戦って菅沼定直敗退/野田菅沼新八郎定村、林左京長政に據って今川方に帰服/菅沼十郎兵衛定氏、菅沼定仙み林左京と内通し今川方に属す
- 1556年8月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市中山区|弘治2年6月26日|守山城家老角田新五が城主織田信時を自害させ、岩崎の丹羽源六を味方に守山城を奪う
- 1556年8月3日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア| ||<退位>神聖ローマ皇帝「カール5世」兼イタリア王「カルロ5世」(~15580921死去)
- 1556年8月3日-09:00|日本|新潟県|弘治2年6月28日|越後国主「上杉景虎」、国内の紛争に耐え切れず隠居出家を図る/長尾景虎は長尾政景らの諫言、家臣団は忠誠を誓ってこれを引き止め、出家は取りやめ
- 1556年8月5日-09:00|日本|島根県大田市|弘治2年7月|<忍原合戦>尼子晴久、忍原で毛利軍穴戸隆家に勝利
- 1556年8月5日-08:00|中国/日本| ||明・嘉靖35年7月|浙江巡按御史の胡宗憲が倭寇の頭目の徐海らを破る
- 1556年8月7日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|弘治2年7月3日|島津忠良、大口を相良家に割譲
- 1556年8月23日-09:00|日本|長野県長野市|弘治2年7月19日|高梨政頼、井上左衛門尉の綿内領乱入、綿内要害落城
- 1556年8月27日-01:00|スペイン| ||<就任>バルセロナ伯「フェリペ1世」(~15980913死去)
- 1556年8月27日-01:00|ドイツ/オーストリア/チェコ/イタリア| ||<即位>神聖ローマ皇帝「フェルディナント1世」マクシミリアン1世の孫(~15640725死去)ドイツ王・ボヘミア王・ハンガリー王・クロアチア王・オーストリア大公
- 1556年8月27日-01:00|スペイン| ||<退任>バルセロナ伯「カルロス1世」
- 1556年8月27日-09:00|日本|長野県長野市|弘治2年7月23日|真田幸綱、雨飾城攻撃開始
- 1556年9月 00:00|イギリス| ||<死去>第3代ボスウェル伯「ハトリック・ヘフ・バーン」
- 1556年9月 00:00|イギリス| ||<就任>第4代ボスウェル伯「ジェームズ・ヘフ・バーン」(⇒15670512兼オークニー公~同年剥奪)

1560迄 (1476件)

1556年9月6日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年8月3日|奥平貞能、宝飯郡兩山に砦築き、知多郡阿知波郷より移り用いた、奥平修理(阿知波修理定直)に守らせ、織田方に転じる

1556年9月6日-09:00|日本|愛知県常滑市|弘治2年8月3日|野田菅沼織部新八郎定村、設楽郡双瀬城林左京進長政と共に今川に帰服し、大野菅沼十郎兵衛尉定勝・八右衛門定仙と大野城に入る

1556年9月7日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治2年8月4日|三河松平氏の攻撃で尾張織田氏の三河兩山城落城

1556年9月7日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|弘治2年8月4日|三好長慶が安見安房を河内高屋城から追放し飯盛城に奔らせ、紀伊の畠山高政を高屋城に迎える

1556年9月13日-09:00|日本|奈良県|弘治2年8月10日|松永久秀が三好勢と共に大和に侵入、筒井・十市・万歳氏らを追う

1556年9月18日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴィン伯「エドワード・コートニー」

1556年9月18日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴィン伯「ウィリアム・コートニー」(~15570929死去)

1556年9月24日-09:00|日本|愛知県新城市|弘治2年8月21日|<第2次布里の戦い>今川軍攻撃し田峯城主菅沼大膳亮定継を討死させる。小大膳定利は岡崎へ退く/菅沼左衛門次郎定俊、今川方に攻められ布里において自害/恩原城主山川清兵衛重常・菅沼孫太夫定久・筒井与次右衛門源勝・筒井太郎兵衛俱路自害

1556年9月25日-09:00|日本|愛知県|弘治2年8月22日|<第2次尾張争乱>実弟の織田信勝、林秀貞や柴田勝家と共に謀反

1556年9月26日-09:00|日本|愛知県名古屋市西区|弘治2年8月23日|柴田勝家、林美作守が尾張国名塚砦を攻撃

1556年9月26日-09:00|日本|茨城県つくば市|弘治2年8月23日|土浦城の小田氏治は小田城を攻めて結城勢を追拂って攻略し、城を取り戻して帰住

1556年9月26日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|弘治2年8月23日|相模国に大風雨が襲い、鶴岡八幡宮の鐘楼が倒壊する

1556年9月26日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|弘治2年8月23日|武田方に内通し挙兵した景虎家臣の大熊朝秀を越後頸城郡駒形において上野家成らが破る/朝秀は武田方に亡命し武田家臣となった

1556年9月27日-09:00|日本|愛知県名古屋市西区|弘治2年8月24日|<稻生合戦>織田信長:尾張国稻生で柴田勝家をうち破り、ついで林美作守を討ち捕った/織田信行は末盛城に籠城、信長の生母土田氏の取りなしにより林秀貞、柴田勝家共々赦免

1556年9月28日-09:00|日本|長野県長野市|弘治2年8月25日|真田幸綱ら、雨飾城支城の車城を落とす。城主栗田大膳戦死

1556年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・フランク・ティ」「バルト・デ・イ・ガスパール」

1556年10月3日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領スエ・アンダルシヤ総督代行「ゴンサロ・デ・メントーサ」(~15580721没)

1556年10月4日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|弘治2年9月|龍造寺軍が山内の三瀬城を攻撃、神代勝利は筑前国の原田隆種を頼り逃れる

1556年10月6日-09:00|日本|島根県大田市|弘治2年9月3日|<山吹城合戦>尼子晴久、刺賀長信に勝利。尼子晴久、石見銀山を掌握

1556年10月11日-09:00|日本|長野県中野市|弘治2年9月8日|真田幸綱(幸隆)・小山田虎満(備中守)らが東条氏が抛る長野盆地東部の埴科郡尼飾城(長野市松代町)を陥落させる

1556年10月12日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領チリ総督・総司令官「ギル・ラミレス・ダ・バルス」(~15590728)

1556年10月13日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ゴンサロ・デ・メントーサ」(~15580721死去)

1556年10月22日-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア摂政「イサベラ」(3回目~15590915)

1556年10月22日-01:00|ハンガリー/ルーマニア| |||<即位>ハンガリー対立王「ヤーノシュ2世」兼トランシルヴァニア王(ハンガリー選出)「ヨハネ2世」(2回目~15710314)

1556年10月22日-09:00|日本|愛媛県松山市|弘治2年9月19日|伊予・西園寺公高、宇和郡飛鳥城で宇都宮豊綱と戦い、戦死

1556年10月22日-09:00|日本|滋賀県彦根市|弘治2年9月19日|近江の六角義賢が高野瀬秀澄を肥田城に水攻めする

1556年10月25日-09:00|日本|山口県周南市|弘治2年9月22日|<防長経略(周防国、長門国)>毛利隆元が軍勢を率いて再度須々万沼城を攻撃するが、やはり落とすことはできなかった

1556年10月29日-09:00|日本|岐阜県恵那市|弘治2年9月26日|<明智城合戦>斎藤義龍が美濃恵那郡明智城を陥し、城主明智光安宗宿自害、明智光秀出奔

1556年10月29日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|弘治2年9月26日|大友義鎮が田原親宏に命じ毛利氏に奪われた門司城奪回を目指して攻め掛かるが、小早川隆景の救援により敗れる

1556年11月5日-04:30|アフガニスタン/インド| |||第2次パニーパットの戦いでバールの孫アハバルが、スール朝のヒュームを破ってムガル朝の支配を再び確立

1556年11月20日-09:00|日本|鹿児島県始良市|弘治2年10月19日|島津貴久は蒲生氏の支城、松坂城を攻略

1556年11月22日-09:00|日本|高知県|弘治2年10月21日|香曾我部親秀、香曾我部秀通を謀殺

1556年12月1日-09:00|日本| ||弘治2年10月30日|<死去>一条房通(48歳)元関白、左大臣

1556年12月5日-09:00|日本|島根県|弘治2年11月4日|毛利元就、石見国の佐波隆秀と盟約を結ぶ

1556年12月13日-09:00|日本|千葉県君津市|弘治2年11月12日|北条氏康は北条綱成ら1万2千余騎で上総久留里城に押し寄せ合戦し敗退

1556年12月19日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督代行「フアン・デ・バルブサ」(~31日)

1556年12月31日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治2年11月30日|<武節谷の戦い>武田方信濃下伊那郡吉岡城主下条

1560迄 (1476件)

信氏、武節古城・川手城山田景隆を陥落させ、下条隼人・佐々木筑後50騎にて、弘治3年3月まで警固させる/下条
 信氏、武節谷で鈴木伊賀守と戦い、鈴木兵庫・弟鈴木甚内・下田運平を討取る
 1557年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元) 皇帝「ダライソ・ゴテン・ハン」
 1557年-08:00|インドネシア| |||<即位>バカン・スルタン「Bayansirullah (Dom Joao)」(~1578年)
 1557年-07:00|カンボジア/タイ| |||<クメール王国のアン・チャン1世がシャムに侵攻、コーラト等を占領
 1557年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Habib Shah」(~1561年)
 1557年-05:30|インド| |||ニザーム朝がアーデル王国を攻め、グルバルガを包囲
 1557年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第9代ハン「トースト」フチュガの子(~1558年)
 1557年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Ali 4世 Audha Siyaaka Katthiri」(~1558年戦死)
 1557年-04:00|ジョージア| |||<ゲリア公国イメリティから脱退
 1557年-03:00|エリトリア/トルコ| |||<制定>オスマン帝国ハベシュ州(エヤレット)
 1557年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ王国スルタン「Abu Sakikin」(~1568年)
 1557年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイレルベイ「フェルハト・パシャ」(~1558年)
 1557年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「シヨヴァンニ・デ・イ・フェデリコ・レニエ」(~1559年)
 1557年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「ハムザ・ベイ」(~1561年)
 1557年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Fernao de Meneses」(1期目~1562年)
 1557年-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツ=ノイブルク公「ヴォルフガング」(~15690611死去)
 1557年-01:00|イタリア| |||ベネツィアでサンソヴァーノのプロジェクトによるサン・ジミニャノ教会完成
 1557年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Francisco Metia Marquez y Pedrosa」(~1558年)
 1557年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事代理「Bartolome de Fonseca」(~1558年)
 1557年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールト・コースト長官「アントニオ・デ・メロ」(~1559年)
 1557年 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<死去>スペイン領ベネズエラ総督「Alonso Arias de Villasinda」
 1557年 04:30|ベネズエラ| |||<フェルナド・ガベネズ・エリョ沿岸を探検
 1557年1月-01:00|スペイン| |||<スペインで最初の国家破産宣言
 1557年1月1日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「フアン・ルイス・デ・モンハラス」(~1559年)
 1557年1月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴァーレン公「フィリップ1世」
 1557年1月4日-01:00|イタリア| |||<就任>シエラ・レオネ共和国「ジョヴァンニ・シヴァーニャ」(~15581203在職中死亡)
 1557年1月30日-08:00|中国/ポルトガル| |||明・嘉靖36年|ポルトガルがマカオに居留地を建設、明が海賊征討協力で居住と通商を許す
 1557年1月30日-07:00|ベトナム| ||<大越黎朝・天祐1年|後黎朝3代・英宗が天祐と改元
 1557年1月31日-09:00|日本|大分県大分市|弘治3年|ルイス・デ・アルメイダ、府内に小児科医院を設立/日本で最初の洋式病院
 1557年1月31日-09:00|日本|香川県仲多度郡多度津町|弘治3年|多聞院(現、多度津町)蔵絹本著色西谷藤兵衛肖像、描かれる
 1557年1月31日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|弘治3年|島津貴久、薩摩に南林寺を建立
 1557年1月31日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|弘治3年|京都妙心寺雪峰禅僧、金剛山宝泰寺(静岡市葵区伝馬町)を中興
 1557年1月31日-09:00|日本|長崎県壱岐市|弘治3年|六人衆が壱岐を分治
 1557年1月31日-09:00|日本|福岡県|弘治3年|<任命>筑後国守護「大友義鎮」(~天正4(1576)年正月隠居)
 1557年1月31日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|弘治3年1月1日|<八戸城の戦い>龍造寺軍に攻められ八戸城は破却された/城主宗暘は神代氏に逃れた
 1557年1月31日-09:00|日本|佐賀県武雄市|弘治3年1月1日|神代勝利、竜造寺の熊の川代官館を攻め落とす/肥前山内を奪回
 1557年2月8日-01:00|フランス| |||<死去>リネー伯「アンソニー-2世」
 1557年2月8日-01:00|フランス| |||<就任>リネー伯「John 3世」アンソニー-2世の息子(~15760701死去)
 1557年2月13日-01:00|フランス| |||フランスで、ユグノー弾圧のため、国王アンリ2世(38)が異端審問所を設ける
 1557年2月14日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイレルベイ「ハシムハンマド・パシャ」(~8. 6)
 1557年2月14日-09:00|日本|静岡県静岡市|弘治3年1月15日|松平元信(のちの徳川家康)、今川義元の命で今川家重臣・関口刑部大輔親永(義広)の娘「鶴姫(瀬名姫)」(今川義元の姪、後の築山御前)を娶る/のち、松平元信(家康)は、祖父・松平清康の偏諱をもらって松平蔵人佐元康に改名
 1557年2月14日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|弘治3年1月15日|寒嵐晴、駿府葛山左衛門佐屋敷近く火事、僅かの間に百余軒焼失。専照山東漸寺円光院(静岡市葵区伝馬町)の寮社焼失
 1557年2月17日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代サセックス伯「ヘンリー・ラトクリフ」
 1557年2月17日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代サセックス伯「トマス・ラトクリフ」(~15830609死去)
 1557年3月1日-09:00|日本|新潟県長岡市|弘治3年2月|木嶋城主木嶋出雲守、武田に下る
 1557年3月7日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハン「ペーテル・エルデディ」(~15670426死去)
 1557年3月14日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|弘治3年2月14日|井伊谷(引佐町井伊谷)薬師堂造営
 1557年3月15日-09:00|日本|長野県長野市|弘治3年2月15日|<葛山城の戦い>信濃・馬場信春、長尾方の前進拠点であった水内郡葛山城(善光寺北方)を攻略し落合氏を滅ぼし、その後戸隠飯綱を勢力下に置く
 1557年3月19日-09:00|日本|山口県周南市|弘治3年2月19日|毛利元就が隆元に大内方最後の拠点周防須々万沼城

1560迄 (1476件)

に再度攻撃をかけさせる

1557年3月21日-09:00|日本|茨城県筑西市|弘治3年2月下旬|長尾景虎が上野国に進出し、佐竹義昭や多賀谷政経に筑波郡の小田城主小田氏治を攻めさせ、佐竹義重は真壁郡海老ヶ島城主平塚入道自省を攻め破って討取り攻略

1557年3月21日-09:00|日本|熊本県人吉市|弘治3年2月21日|肥後人吉領主「相良頼房(義陽)」叔父・上村頼孝が弟の上村頼堅、稲留長蔵と共に頼房に対して謀反

1557年3月31日-09:00|日本|石川県|弘治3年3月|<弘治の内乱(能登国)>反乱軍、一向一揆を率いて攻め込むが長続連に討たれる→反乱軍は押水まで後退

1557年3月31日-09:00|日本|茨城県下妻市|弘治3年3月|小田氏治は下妻城攻撃に向かったが多賀谷政経の救援に駆けつけた佐竹義昭に黒子の戦いで敗北し土浦城へ逃れた

1557年3月31日-09:00|日本|長野県中野市|弘治3年3月|長尾氏の有力な盟友であった高梨氏は本拠地の高梨氏館(中野城)を武田軍により落とされ、飯山城に後退

1557年4月-01:00|スペイン/刊| |||ピリャグ・ランのひきいるスペイン軍、ラウ知軍を壊滅。ラウ知戦死。部下のガハ・リオンが闘いを引き継ぐ

1557年4月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「カニエ侯爵が ルシア・ウルト・デ・メントーサ」(~1561年2月)

1557年4月 05:00|コロンビア/エクアドル| |||スペインが植民都市ケンカを建設

1557年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シオ・ロド・ウ・イコ・デ・イ・マッテオ・ベルツィ」 「ヴェインチェンツォ・ジ・ヤンニ」

1557年4月1日-09:00|日本|山口県周南市|弘治3年3月2日|<須々万沼城合戦>早朝、毛利元就自身が10,000余の軍勢を率いて沼城総攻撃/籠城していた男女1,500人余が惨殺された/江良賢宣が降伏し、その後に興盛も沼城を出て開城、自害

1557年4月1日-09:00|日本|山口県周南市|弘治3年3月2日|富田若山城の陶長房は味方の裏切りにあって殺され、陶氏は完全に滅び去る

1557年4月3日-09:00|日本|山口県山口市|弘治3年3月4日|山口後河原で内藤隆世が杉重輔と戦い、山口の街は焼かれ、敗れた杉重輔が防府にて討たれた

1557年4月7日-09:00|日本|山口県周南市|弘治3年3月8日|毛利軍は、陶氏遺臣が残る富田若山城を攻略

1557年4月11日-09:00|日本|宮崎県日南市|弘治3年3月12日|島津貴久が伊東義祐の日向東光寺城を攻略

1557年4月11日-09:00|日本|山口県防府市|弘治3年3月12日|毛利軍は、防府の天神山松崎天満宮(防府天満宮)に駐屯していた鷲頭隆政と朝倉弘房が率いる大内軍2,000を壊滅/右田ヶ岳城の右田隆量や野田長房らは元就の勧告に応じて降伏

1557年4月22日-09:00|日本|島根県益田市|弘治3年3月23日|<七尾城合戦>(弘治2年6月~)吉川元春、益田藤兼に勝利/益田藤兼、毛利氏に帰属

1557年4月29日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||弘治3年4月|日朝間に丁巳約条(朝鮮王朝と対馬の宗氏の間で合意された来航者取締規則)成立

1557年4月29日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|弘治3年4月|<柿城合戦>小倉実春、佐脇・神戸の連合軍に勝利。佐藤中務丞、神戸利盛に謀反。小倉実春、神戸城に入城。神戸利盛は神戸城を一時喪失

1557年4月30日-09:00|日本|福岡県筑紫野市|弘治3年4月2日|<侍島の戦い>筑紫惟門が筑前侍島で大友軍と交戦、釣り野伏せ戦術により大友軍は敗北

1557年4月30日-09:00|日本|山口県下関市|弘治3年4月2日|<且山城合戦>大内氏の家老内藤隆世は自害、大内義長は開城した且山城を出て長福院に入った

1557年5月1日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンバランド伯「トマス・パーシー」6代伯の甥(~1571年剥奪)

1557年5月1日-09:00|日本|山口県|弘治3年4月3日|<死去>周防・長門国守護「大内義長」毛利元就の攻撃され自害/18歳(誕生1540年)大内氏はこれで完全に滅亡(勘合貿易の終焉と南蛮貿易の開幕)/陶氏の忠臣・野上房忠も、陶長房の嫡子鶴寿丸を殺害の後に自害

1557年5月1日-09:00|日本|山口県|弘治3年4月3日|毛利元就軍が周防・長門守護大内義長の且山城を攻略/毛利隆元:周防・長門・石見三国を領す

1557年5月4日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「オーストリアのジョージ」

1557年5月5日-09:00|日本|静岡県裾野市|弘治3年4月7日|御宿播磨守綱春、妻(跡部越後守妹)が原因で御宿館に楯籠り今川義元より妻子共に自害/御宿大監物正友綱、御宿館落城の時逃れて駿河国相国寺に隠れる

1557年5月6日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|弘治3年4月8日|紀伊国日前・国懸両社の造営成る

1557年5月7日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ロバート・オブ・ベルグス」(~1564年辞任)

1557年5月13日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|弘治3年4月15日|大隅・島津貴久、北村城(菱刈重豊)を攻略

1557年5月15日-09:00|日本|京都府京都市|弘治3年4月17日|顕如、教光院如春尼(三条公頼の娘)と婚儀

1557年5月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>フ・ファルツ・ゾンメルン公「ヨハン2世」

1557年5月18日-09:00|日本|鹿児島県始良市|弘治3年4月20日|北村城が陥落した事により戦意を喪失した蒲生範清は、龍ヶ城を捨て祁答院へと逃れた/島津氏の薩摩統一

1557年5月19日-09:00|日本|長野県須坂市|弘治3年4月21日|<第三次川中島合戦>上杉景虎が武田方の福島城(須坂市)攻略

1557年5月19日-09:00|日本|長野県長野市|弘治3年4月21日|<第三次川中島合戦>上杉景虎が武田方の山田要害(長野市)攻略

1557年5月22日-09:00|日本|福岡県宗像市|弘治3年4月24日|筑前国宗像社焼失

1557年5月23日-09:00|日本|長野県長野市|弘治3年4月25日|長尾景虎、旭山城を再興

1557年5月26日-09:00|日本|京都府京都市上京区|弘治3年4月28日|京都立売町が焼亡。近衛前久邸、炎上

1560迄 (1476件)

1557年5月29日-09:00|日本|大分県中津市|弘治3年5月2日|野仲重兼が城主を務める下毛郡長岩城(津民)を大友方攻略

1557年5月30日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リグォニア騎士団団長「ハインリッヒ・フォン・ガレン」

1557年6月-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのベイルベク代行「ヤヒヤ」(~同年)⇒「ユースフ1世」(~同年)⇒「ハサン・パシャ」(2回目~1561年)

1557年6月1日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リグォニア騎士団団長「ヨハン・ヴァイルヘルム・ゲラーフ・フォン・フルステンベルク」(~15590917)

1557年6月1日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王ジョアン3世/54歳(誕生:15020606)

1557年6月7日-02:00|トルコ| |||建築家ミナル・シナンによるイスタンブールのスレイマニエ・モスクが完成

1557年6月7日 00:00|イギリス/フランス/スペイン| |||イングランドとスペインがフランスに宣戦布告

1557年6月11日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王「ジョアン3世信心王」

1557年6月11日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「セバスティアン1世待望王、騎士王」(~15780804死去)ジョアン3世の孫

1557年6月11日-09:00|日本|長野県埴科郡坂城町|弘治3年5月15日|上杉景虎、香坂を攻撃、次いで坂城・岩鼻両城を攻略

1557年6月22日-09:00|日本|長野県下水内郡栄村|弘治3年5月26日|<第3回川中島の合戦>長尾景虎と武田信玄が善光寺の東北4kmほどの上野原で戦闘/長尾景虎が勝利

1557年6月27日-09:00|日本|熊本県宇城市|弘治3年6月|上村頼孝・上村頼堅・稲富長蔵の兄弟が謀叛

1557年6月27日-09:00|日本|山口県山口市|弘治3年6月|陶氏家臣であった佐藤宗左衛門尉父子が山口にて蜂起し、山口守備の任に当たっていた市川経好と祖式友兼によって鎮圧された

1557年6月28日-09:00|日本|富山県氷見市|弘治3年6月2日|<弘治の内乱(能登国)>反乱軍が義綱軍の八代俊盛が拠点とする越中国氷見・湯山城を陥落させる。

1557年7月8日-09:00|日本|熊本県宇城市|弘治3年6月12日|相良勢は謀叛した上村頼孝・上村頼堅・稲富長蔵の兄弟を成敗するため、頼堅の豊福城を攻撃し、頼堅を成敗

1557年7月17日-09:00|日本|福岡県豊前市|弘治3年6月21日|城主・山田隆朝の上毛郡山田城(豊前市櫛狩屋)を大友方攻略

1557年7月19日-09:00|日本|長野県下水内郡栄村|弘治3年6月23日|長尾景虎は飯山城へ撤退/武田氏は志久見郷の防衛に成功

1557年7月24日-01:00|フランス| |||異端撲滅の厳命「コンピエーニュ勅令」が出される/カルヴァン派の本拠であるジュネーヴへの滞在を禁止する/神の神聖をけがす「神の書」の所持を禁止

1557年7月26日-09:00|日本|大分県宇佐市|弘治3年7月|大友義鎮は宇佐郡竜王城を落城させ、次に妙見岳城、長岩城、松山城、馬岳城、三ヶ岳城を次々に攻略、豊前国を支配下に置く

1557年7月29日-09:00|日本|福岡県行橋市|弘治3年7月4日|貫親清等が籠る京都郡馬ヶ岳城(大谷)を大友方攻略/規矩郡三岳の長野氏降服/京都郡松山城に籠っていた杉重良、規矩郡門司の仁保氏、毛利方に逃亡

1557年7月30日-09:00|日本|長野県安曇野市|弘治3年7月5日|武田信玄、安曇郡小谷城を攻略

1557年8月1日-09:00|日本|福岡県朝倉市|弘治3年7月7日|<古処山城の戦い>戸次鑑連を総大将とする大友家秋月討伐軍、高橋鑑種、臼杵鑑速ら二万は、秋月氏の出城の杉本の城を落とした後、本拠地、古処山城を攻めた

1557年8月6日-09:00|日本|愛知県一宮市|弘治3年7月12日|織田信長、黒田城山内盛豊(岩倉城織田信賢家老)攻落

1557年8月6日-09:00|日本|福岡県朝倉市|弘治3年7月12日|<古処山城合戦>立花道雪・臼杵鑑速、秋月文種に勝利。秋月文種・晴種父子は自害

1557年8月7日-09:00|日本|福岡県太宰府市|弘治3年7月13日|豊後勢は筑紫惟門も討たんと山隈原に陣を布き攻撃、岩屋城・若杉城の両城が落ち、筑紫惟門は五箇山に入った

1557年8月10日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||フランス王軍、フランス北部の「サン・カンタンの戦い」(城外の戦闘)でスペイン王軍に大敗/アンヌ・ド・モンモランシー大元帥らが捕虜となる

1557年8月12日-09:00|日本|福岡県太宰府市|弘治3年7月18日|五箇山城自落。秋月氏と共に決起した筑紫惟門・広門父子は五箇山城を放棄し逃走

1557年8月18日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「クロード・ド・ラ・サンクル」

1557年8月18日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|弘治3年7月24日|龍造寺隆信は鹿江兼明の鹿江城へ攻め込む/鹿江は大軍に防ぎきれず父子3人討死/鹿江は大友と敵対していた人物で隆信は鹿江の首級を豊後勢の陣に差し送り大友と和融

1557年8月19日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルベク「ガジ・ガシム・パシャ」(2回目~15581104)

1557年8月19日-09:00|日本|熊本県水俣市|弘治3年7月25日|相良勢が上村兄弟に呼応した菱刈方の久木野城を落とす/菱刈重任ら50余人を成敗

1557年8月20日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ジャン・パリス・ド・ヴァレット」(~15680821没)

1557年8月27日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||フランス北部の「サン・カンタン」が陥落し、ガスパール・ド・コリニ提督も捕虜となる

1557年8月30日-09:00|日本| |||弘治3年8月7日|下総国印旛郡佐倉城主千葉介利胤が死亡、子の親胤が千葉氏宗家を継ぐが家臣原胤貞に殺され、伯父の胤富が入って宗家を継ぐ

1557年8月30日-09:00|日本|千葉県佐倉市|弘治3年8月7日|<死去>下総佐倉領主「千葉親胤」17歳、幽閉された後に暗殺された⇒兄の「千葉胤富」が継ぐ(~天正7年05月04日(15790529)死去)

1557年9月4日-01:00|フランス| |||<サン・ジャック通り事件>パリの「サン・ジャック通り」(5区)の弁護士の家で開かれた「改革派」の集いが、トリック側から襲撃を受け130人(うち30人が貴族)が逮捕される

1560迄 (1476件)

1557年9月4日-09:00|日本|佐賀県|弘治3年8月12日|龍造寺隆信は上佐嘉へ進軍、神代衆を多数討ち取った
1557年9月8日-09:00|日本|熊本県球磨郡あさぎり町|弘治3年8月16日|相良勢が稲富長蔵の岡本城攻略/長蔵は北原氏を頼り落去
1557年9月18日-09:00|日本| ||弘治3年8月26日|<弘治2年大坂湾暴風雨・高潮>近畿地方が台風による暴風雨に見舞われ、大阪湾に高潮が起こり尼崎の沿岸から明石の沿岸にかけての浦々が襲われ、伊勢地方でも死亡者が出た/死者は合計して数千人
1557年9月21日-09:00|日本|長野県下水内郡栄村|弘治3年8月29日|<第三次川中島の戦い(上野原の戦い)>上野原において武田・長尾方合戦。武田方が善光寺平と戸隠周辺を勢力下とする大勢は変わらぬまま、両軍とも兵をひく
1557年9月25日-09:00|日本|静岡県伊豆市|弘治3年9月3日|山本御大方、修善寺明山憐察に、賀子・岩崎(3島市)15貫文を、亡夫堀越六郎(法名「正覚院殿大円宗忠大禅定門」)の菩提の為、正覚院(修善寺)を再建し寄進
1557年9月25日-09:00|日本|広島県三次市|弘治3年9月3日|三吉隆亮、三次郡上里の八幡宮社殿を造立
1557年9月27日-09:00|日本|京都府京都市|弘治3年9月5日|<死去>第105代「後奈良天皇」/62歳(誕生:明応5(1496)1223)
1557年9月29日 00:00|イギリス| ||<死去>デヴィン伯「ウィリアム・コートニー」
1557年9月29日 00:00|イギリス| ||<就任>デヴィン伯「ウィリアム・コートニー」(~16300624死去)
1557年9月29日-09:00|日本|愛知県岡崎市|弘治3年9月7日|秦梨城粟生将監永信、須佐之男神社を再建
1557年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・パオロ・ネリ」
1557年10月12日-09:00|日本|熊本県球磨郡あさぎり町|弘治3年9月20日|相良勢が上村頼孝の上村城攻略/頼孝は北原氏を頼り落去
1557年10月23日 00:00|モロッコ| ||<死去>サト朝スルタン「ムハンマド・アシュ=シェイク」
1557年10月23日 00:00|モロッコ| ||<即位>サト朝スルタン「アブドゥッラー・アル=ガリフ」(~15740122死去)
1557年11月6日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|弘治3年10月16日|肥前・神代勝利と龍造寺の将・小川信安は鉄布峠で遭遇/勝利は信安に勝利/後陣の隆信は兵をまとめて撤退
1557年11月6日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|弘治3年10月16日|<八上城合戦>丹波・三好長慶、八上城(波多野晴通)を攻略。波多野晴通は敗走し波多野家が崩壊
1557年11月17日-09:00|日本| ||弘治3年10月27日|<踐祚>106代「正親町天皇」/永禄3年1月27日即位(~15861107)
1557年11月17日-09:00|日本|愛知県西尾市|弘治3年10月27日|西条城(西尾市錦城町)吉良義昭が降参して東条城に移されて、西条城(西尾市錦城町)には牧野新次郎成定が在番を命じられる7)
1557年11月21日-08:00|中国/日本| ||明・嘉靖36年11月|浙江巡撫の胡宗憲が計略により倭寇の首領の王直を捕らえる
1557年11月22日-09:00|日本|愛知県清須市|弘治3年11月2日|尾張・織田信長、再び謀反を起こした弟信行を清洲城で謀殺
1557年11月30日-09:00|日本|山口県山口市|弘治3年11月10日|大内氏遺臣の草場氏・小原氏・河越氏らが、義隆の遺児問田亀鶴丸を擁立して山口の障子ヶ岳城(障子岳)に籠城
1557年11月30日-09:00|日本|山口県山口市|弘治3年11月10日|防長で一揆蜂起し、周防国吉敷郡に乱入
1557年12月1日-09:00|日本|山口県山口市|弘治3年11月11日|<妙見崎の戦い>毛利方の内藤隆春が障子ヶ岳城を急襲して、妙見崎山で大内氏残党軍を撃ち破り、久芳賢直、波多野勝実、杉重輔の遺児松千代丸らの軍勢も各所で発生した蜂起を鎮圧
1557年12月5日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿代行判事「ダブリン大司教ヒュー・カウイン」(~15580206)、「ハリー・シトニー卿」(~15580521)
1557年12月15日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|弘治3年11月25日|刑部左近、願主となり、胡桃平神明社(春野町胡桃平)の社殿を造立
1557年12月22日-09:00|日本|広島県|弘治3年12月2日|<傘連判の契約>毛利氏ら12名による連署/毛利元就、吉川元春、阿曾沼広秀、毛利隆元、宍戸隆家、天野元定、天野隆誠、出羽元祐、天野隆重、小早川隆景、平賀広相、熊谷直直
1557年12月24日-02:00|ルーマニア| ||<死去>ワキ7総督・領主「パトラスク良候」
1557年12月24日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキ7総督・領主代行「ソル」(~15580125)
1558年-08:00|インドネシア| ||<即位>マタラム君主「Kyai Gede Pamanahan」(~1584年)
1558年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「トケメン・ジャサクト・ハーン」(~1592年没)
1558年-07:00|タイ/ミャンマー| ||ビルマ軍がタイのチェンマイを攻撃し、ランナーを属国とする
1558年-05:30|インド| ||<死去>アーデイル・シャーヒー朝シャー「アフラーヒム・アーデイル・シャー1世」
1558年-05:30|インド| ||<即位>アーデイル・シャーヒー朝シャー「アリー・アーデイル・シャー1世」(~1579年死去)
1558年-05:30|インド| ||ラーマラージャがマトラスのサントメを攻め、ポルトガルに打撃
1558年-05:00|モルデイグ| ||<死去>ヒルリ朝スルタン「Ali4世 Audha Siyaaka Katthiri」戦死
1558年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| ||<即位>ヒヴァン国第10代ハン「ハジール・ムハンマド(ハジム)1世」8代目のハン・アカタイの子(~1602年)
1558年-05:00|モルデイグ| ||<即位>ヒルリ朝国王「Dom Manoel Dhirikusa Loka」(~1573年)
1558年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ベイレルベイ「ハイタール・パシャ」(~不明)⇒「アリ・パシャ」(~1563年)
1558年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジローモ・タリアビエロ」(~1560年)
1558年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ソファラ・キープテン「セバスチャン・オブ・サ」(~1560年)
1558年-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>ゲメルト司令官代行「ワイント・ファン・エイナッテン」(⇒1660年、司令官~15700525没)

1560迄 (1476件)

1558年-01:00|フランス| |||<就任>モンペリアル伯「フリオ・リビ1世」ゲオルク1世の息子、ヴュルテンベルク公 (~16080129死去)
1558年-01:00|ポーランド/ロシア| |||ロシアがリヴォニアをめぐってポーランドと戦争
1558年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Pedro Botelho」(2期目~1559年)
1558年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Hernando de Canizares」(~1559. 6)
1558年 00:00|チャネル諸島/フランス| |||オルタニー島をマサリデ大尉の下でフランス人が占領(2週間)
1558年 00:00|ポルトガル/モルデイヴ| |||ポルトガルがモルデイヴのマルに交易拠点を開く
1558年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>第3代ブラジル総督「メン・デ・サ」(~1572年)
1558年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総督・総司令官「ファン・ロペス・デ・セバダ」(~1560年)
1558年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントiago 総督「ペドロ・カノ」(2 回目~1565年)
1558年 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 大統領・総督・総司令官「大審問院」(~15640221)
1558年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ファン・デ・トバル」(~1559年)
1558年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア市長「アント・レス・ロペス・モラガ」(~同年)⇒「フランシスコ・デ・メントーサ」(~1560年)
1558年 06:00|エルサルバドル/グアテマラ| |||エルサルバドル、グアテマラ総督領に編入(当時の国名はサンサルバドル)
1558年1月-01:00|イタリア| |||フェデリコ・パドエル、サン・カンチアーノにアッカデミーア・デッラ・ファーマ設立
1558年1月 03:00|ブラジル| |||グアハラウのフランス植民地でユグノー教徒の反乱/Villegagnonは首謀者5人を処刑し、ほかのユグノー教徒を本国に送還
1558年1月3日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ム・デ・サ」(~15720302没)
1558年1月6日-01:00|フランス/イギリス| |||フランスの貴族・軍人フランソワ・ド・ギーズ(ギーズ公)、200年以上にわたってイングランドに占領されていた、フランス北部のカレーを奪還
1558年1月12日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|弘治3年12月23日|<宇都宮城合戦>佐竹義昭・宇都宮広綱の連合軍、壬生綱雄に勝利。壬生綱雄が宇都宮城を放棄。宇都宮広綱、下野宇都宮城を回復
1558年1月15日-09:00|日本|山口県|弘治3年12月26日|元就、防長制圧が終わり、吉田に戻る
1558年1月20日-09:00|日本|愛知県新城市|弘治4年|設楽肥前守、出沢山廣釋寺(龍泉寺)創立
1558年1月20日-09:00|日本|愛知県豊川市|弘治4年|篠東神社、兵火にて焼失
1558年1月20日-09:00|日本|高知県南国市|弘治4年|土佐国国分寺金堂できる
1558年1月20日-09:00|日本|福井県|弘治4年|<交替>若狭国守護「武田信豊」追放⇒子の「武田義統」(~永禄10年4月8日(15670516)死去)
1558年1月20日-09:00|日本|福島県河沼郡柳津町|弘治4年|岩代国軽井沢銀山発見
1558年1月20日-09:00|日本|三重県津市|弘治4年|伊勢の北畠具教の次男・長野具藤を長野氏の養嗣子とする有利な和睦を長野氏と結ぶことで勢力を拡大
1558年1月20日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・正治1年|<即位>広南国主「僊主・阮𣎵」(~16130720死去)
1558年1月20日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・正治1年|後黎朝3代・英宗が正治と改元(-1571)
1558年1月20日-07:00|ベトナム| |||阮氏がフエに自立し、ベトナムが鄭と阮の対立抗争時代へ
1558年1月20日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|弘治4年1月1日|神代勝利、肥前に帰り龍造寺の兵を破り山内城に入る
1558年1月25日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ミルチャ4世羊飼侯」(3回目~15590925)
1558年2月4日-09:00|日本|長野県|弘治4年1月16日|<任命>信濃国守護「武田晴信(信玄)」(~元亀4(1573)年4月12日死去)
1558年2月19日-09:00|日本|奈良県五條市|弘治4年2月|大和国宇智郡で惣郡一揆が成立
1558年2月23日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治4年2月5日|<寺部城の戦い>松平元康17歳初陣、寺部城主の鈴木重辰に勝利
1558年2月24日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治4年2月6日|<広瀬城合戦>岡崎に帰り広瀬城(東広瀬町)三宅高清を攻め、援軍の織田方津川兵庫を討ち取る。足立甚尉討死/本多作左衛門重次・弟九蔵重玄、真先に進み、本多重次は2騎を討ち疵をうけ、弟本多重玄は討死/能見松平次郎右衛門尉重吉の次男半弥之助重茂17歳・被官名倉惣助討死/松平家臣江原孫三郎利全、敵将神戸甚平を討取る
1558年2月25日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治4年2月7日|松平元康は挙母、梅ヶ坪、伊保などを放火
1558年2月26日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/フランス| |||<即位>神聖ローマ皇帝「フェルディナント2世」オーストリア大公・ケルテン公(~15640725没)
1558年3月2日-09:00|日本|長野県上高井郡高山村|弘治4年2月12日|武田晴信、山田城主高梨一族山田左京亮に降伏勧告をだし、山田は受託
1558年3月5日-09:00|日本|長野県長野市|弘治4年2月15日|馬場信春、水内郡葛山城攻略
1558年3月10日-09:00|日本| |||弘治4年2月20日|武田晴信(信玄)、將軍家の御内書に応じて上杉景虎(謙信)と和睦
1558年3月10日-09:00|日本|愛知県豊田市|弘治4年2月20日|今川軍、吉良義昭に一味し逆心した寺部城鈴木日向守重辰を攻め降す
1558年3月11日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|弘治4年2月21日|筒井順慶、安見宗房の後援で筒井城に帰城
1558年3月17日-09:00|日本|島根県邑智郡邑南町|弘治4年2月27日|毛利軍(吉川元春)が石見出羽表の戦闘で尼子軍をやぶり尼子軍は温湯城に退却
1558年3月18日-09:00|日本| |||永禄1年2月28日|「永禄」に改元
1558年3月18日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|永禄1年2月28日|笠寺城中浅井小四郎政敏・飯尾豊前守乗連・三浦左馬助義就・葛山播磨守長嘉百余人、夜攻め寄せた織田信長による夜襲を撃退し首を少々討取る
1558年3月26日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|永禄1年3月7日|<品野城の戦い>品野城桜井松平監物家次三百人、攻め

1560迄 (1476件)

- てきた織田軍を秋葉山城・落合城と連絡取り逆襲。豪雨の中織田方広瀬衆竹村孫七郎長方・磯田金平・戸崎平九郎・滝山伝三郎ら50人討取る/高木広正、滝山伝三郎を討取る/松平家次家臣山田藤五郎討死/畔田半右衛門勝大、松平信一に従い討死
- 1558年3月29日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄1年3月10日|太田美濃守資正が筑波郡の小田城を攻めて小田氏治と戦い、小田方の菅谷範政の嫡子菅谷彦次郎政頼が討死
- 1558年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「シロ・ラモ・ジャンニ」 「フランチェスコ・ディ・セバステアノ・オノリ」
- 1558年4月1日-09:00|日本|京都府京都市|永禄1年3月13日|足利義輝、京都奪還のため挙兵、朽木(近江国)より龍花へ移る
- 1558年4月6日-09:00|日本|愛知県名古屋市守山区|永禄1年3月18日|織田勘十郎信成、新しく龍泉寺城を築城
- 1558年4月7日-09:00|日本|宮崎県都城市|永禄1年3月19日|日向・肝付兼統、都城(北郷時久)を攻撃したが撃退される
- 1558年4月9日-09:00|日本| ||永禄1年3月21日|<死去>初代西村善五郎(不明)陶工
- 1558年4月13日-09:00|日本|島根県邑智郡邑南町|永禄1年3月25日|毛利軍が湯温城周辺の日和城攻略
- 1558年4月16日-09:00|日本|石川県鹿島郡中能登町|永禄1年3月28日|<勝山城合戦>畠山義綱、畠山晴俊に勝利。畠山晴俊・温井統宗・三宅総広・神保総誠らは討死
- 1558年4月19日-09:00|日本|京都府|永禄1年4月|<交替>丹後国守護「一色義幸」隠居⇒「一色義道」(~天正7(1579)年9月24日死去)
- 1558年4月19日-09:00|日本|滋賀県|永禄1年4月|足利義輝が龍花より和邇(近江国)へ移る
- 1558年4月19日-09:00|日本|福井県勝山市|永禄1年4月|<勝山城合戦>畠山義綱、畠山晴俊に勝利/畠山晴俊・温井統宗・三宅総広・神保総誠らは討死
- 1558年4月24日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王アンリ2世の子で王太子フアンク(14歳)、フランスで育てられていたスコットランド女王マリー・スチュアート(16歳)と結婚
- 1558年4月29日-09:00|日本|千葉県野田市|永禄1年4月11日|小田原の北條氏康が下総国葛飾郡関宿城主築田晴助を猿島郡古河に移し、鎌倉葛西ヶ谷の関東公方足利晴氏、義氏父子を関宿城に移す
- 1558年5月4日-09:00|日本|福島県大沼郡三島町|永禄1年4月16日|会津の山内俊政・俊範が蘆名方の陸奥滝谷城・岩谷城を攻めるが、敗北し、蘆名氏に従属
- 1558年5月12日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄1年4月24日|<寺部城合戦>寺部城に再入城した鈴木日向守重辰・加勢の広瀬城三宅高直を、岡崎城松平元康・上野城酒井将監忠尚攻め落す/岡崎家臣足立右馬助の弟甚尉、鉄砲に撃たれ討死
- 1558年5月13日-01:00|フランス| |||<ブレ・オ・クレール事件>パリで改革派信徒の示威行動が行われ、王族の「ナヴァル王」アントワネット・ブルボンをはじめ武装した貴族が参加
- 1558年5月18日-09:00|日本|栃木県河内郡上三川町|永禄1年5月|越後の上杉軍勢が下野に攻め入った時、城主多功長朝が上杉勢を上州に追い払った/多功長朝率いる宇都宮勢は上野国の白井城まで景虎を追撃してきたが武蔵国岩槻城主の太田氏の仲介によって和睦
- 1558年5月18日-09:00|日本|新潟県|永禄1年5月|上野国平井城主上杉憲政は再び北條氏康に敗れ居城を捨てて越後国に逃走し、春日山城城主長尾景虎を頼る
- 1558年5月19日-05:00|ポルトガル| |||アドリアス・アントレの下で、ポルトガルがマレを占領(~15730701)
- 1558年5月20日-09:00|日本|滋賀県大津市|永禄1年5月3日|足利義輝が和邇(近江国)より坂本(近江国)の石河の本誓寺に入る
- 1558年5月21日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ヘンリー・シドニー卿」(1回目~15590830)
- 1558年6月3日-09:00|日本|愛知県北設楽郡設楽町|永禄1年5月17日|<名倉船渡橋合戦>織田信長の支援受けた岩村城遠山左衛門尉景任の家臣山内采女、寺脇城奥平喜八郎信光(貞勝従兄弟)を攻める。奥平貞勝は援軍として戦功/奥平喜八郎信光、山内采女の被官後藤三右衛門・その他の被官加藤甚四郎を討取。被官山本甚兵衛・中村彦次郎疵蒙る/奥平貞勝の家臣生田式部重綱討死
- 1558年6月5日-09:00|日本|京都府京都市|永禄1年5月19日|松永久秀・長頼・三好長逸・伊勢貞孝ら一万五千の兵を率いて市中を打廻す
- 1558年6月6日-09:00|日本|島根県邑智郡川本町|永禄1年5月20日|<温湯城の戦い>毛利元就、毛利隆元、小早川隆景率いる毛利勢7000が小笠原長雄の籠る石見温湯城を攻め降伏させる
- 1558年6月7日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア暫定総督「Gutierre de la Pena Langayo」(~15590802)
- 1558年6月10日-09:00|日本|島根県邑智郡川本町|永禄1年5月24日|毛利軍吉川元春が温湯城周辺の赤城攻略
- 1558年6月13日-09:00|日本|愛知県岩倉市|永禄1年5月28日|<第3次尾張争乱>織田信賢、守護代の岩倉織田信安を追放
- 1558年6月15日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「尚震」(~15630209)
- 1558年6月15日-09:00|日本|栃木県河内郡上三川町|永禄1年5月29日|<多功ヶ原の戦い(下野国)>景虎ら長尾・佐野連合軍は宇都宮領へ侵攻する前に小山氏の祇園城へ侵攻し、当主小山高朝を一戦も交えずに降伏させた/その後は壬生氏の壬生綱雄が拠る壬生城を攻め落とし、宇都宮領の多功城へと進軍/宇都宮勢は多功城主で宇都宮家中一の侍大将と評された多功長朝率いる多功勢と宇都宮家からの援軍の合計約2,000騎が迎え撃った。両軍は多功城下の多功ヶ原で激突/長尾・佐野勢は佐野氏当主で先陣の佐野小太郎(佐野豊綱)を筆頭に多くの兵が討ち取られたため、景虎は兵を引き上げた。宇都宮勢の奮闘によりなんとか長尾・佐野勢を撃退できたが、多くの将が犠牲となった
- 1558年6月17日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄1年6月2日|岩成友通・伊勢貞孝を加えた三好軍が瓜生山山

1560迄 (1476件)

頂の将軍山城を占拠、修築に当たった

- 1558年6月19日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄1年6月4日|足利義輝、細川晴元と共に如意嶽へ出陣し、三好長逸軍と京都鹿ヶ谷に於いて衝突、如意岳城を占拠
- 1558年6月22日-01:00|フランス| |||フランス王のギーズ(ギーズ公)、フランス北東部のティオンヴィルを占領
- 1558年6月22日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄1年6月7日|<鹿ヶ谷合戦>三好長慶、勝軍地蔵山城から撤退。足利義輝、勝軍地蔵山城を制圧
- 1558年6月23日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄1年6月8日|如意ヶ嶽は手薄となり長逸・久秀らが逆に如意ヶ嶽を占拠したため、両軍の位置が入れ替わっただけに終わった
- 1558年6月24日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄1年6月9日|<白川口合戦>足利義輝・六角義賢の連合軍、松永久秀に勝利
- 1558年6月26日-09:00|日本|高知県高知市|永禄1年6月11日|土佐円行寺焼失
- 1558年6月27日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄1年6月12日|<第二次門司城の戦い>小早川隆景が門司城を攻め落とした。大友方の城将・怒留湯主水を追ひ、仁保隆慰を城番とし3千の兵力を配属し、関門海峡を扼す北九州随一の要衝であったここを拠点に、九州進出を図った。そして毛利隆元は、筑前、豊前方面の諸将を調略し、筑前・宗像氏、豊前・長野氏を味方とすることに成功、各将は大友に反旗を翻し挙兵
- 1558年7月1日-01:00|ベルギー/フランス| |||フランス王のギーズ(ギーズ公)、アロンを占領
- 1558年7月6日-01:00|フランス| |||フランス王軍のポール・ド・ラ・バルト・ド・テルム元帥、フランス北部のベルグを占領
- 1558年7月13日-01:00|フランス/スペイン| |||エグモントのフランス軍が、スペインに味方してフランス軍を破る(グラウリヌの戦い)
- 1558年7月18日-02:00|エストニア/ロシア| |||トルパット市(タルトゥ)をロシア軍が占領(~15820115)
- 1558年7月18日-09:00|日本|茨城県|永禄1年閏6月3日|佐竹義昭、岩城重隆と和睦
- 1558年7月21日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<死去>スペイン領メヒコ・アンダール総督代行「ゴンサロ・デ・メントーサ」
- 1558年7月22日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領メヒコ・アンダール総督「フランシスコ・オルティス・デ・ベルガラ」(~15641019)
- 1558年7月26日-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リガのレガール司令官「クリストフ・フォン・ミュンヒハウゼン」(~12月)
- 1558年7月27日-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リガのレガール司令官代行「ハインリッヒ・フォン・ウエクスケル」(~12月)
- 1558年8月4日-09:00|日本|滋賀県|永禄1年閏6月20日|足利義輝と伊勢貞孝、和睦
- 1558年8月14日-09:00|日本|石川県|永禄1年7月初旬|<弘治の内乱(能登国)>反乱軍・温井綱貞らが再び能登へ侵攻
- 1558年8月18日-09:00|日本|長野県安曇野市|永禄1年7月5日|武田晴信、牽制のため安曇郡小谷に出兵。小谷城落城
- 1558年8月25日-09:00|日本|愛知県一宮市|永禄1年7月12日|<浮野の戦い>織田信長は2000の軍勢を率い、浮野の地において信賢軍3000と交戦。激戦が続いたが、信長の元へ信清の援軍1000が到着すると形勢は一気に傾き、信賢軍は壊滅/1200を超える死者を出した信賢軍は、本拠の岩倉城へ敗走
- 1558年9月8日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「コンスタンティノ・デ・ブラガサ」(~15610907)
- 1558年9月8日 03:00|ブラジル| |||先住民ギイカ族が反乱/ティゴ・デ・モウの部隊と対決
- 1558年9月12日-09:00|日本|埼玉県川越市|永禄1年8月|大道寺政繁、武蔵国川越に建立寺(見立寺)を創建
- 1558年9月12日-09:00|日本|千葉県野田市|永禄1年8月|足利義氏が関宿城へ入り公方府とする
- 1558年9月19日-09:00|日本|兵庫県姫路市|永禄1年8月8日|<交替>播磨置塩領主「赤松晴政」赤松義祐と浦上政宗により追放(播磨争乱)⇒子の「赤松義祐」(元亀元(1570)年隠居)
- 1558年9月20日 00:00|イギリス| |||<死去>9代クロフォード伯「デヴィッド・リンジー」
- 1558年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>10代クロフォード伯「デヴィッド・クロフォード」8代伯の孫(~1574年秋死去)
- 1558年9月21日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア| |||<死去>前神聖ローマ皇帝「カル5世」兼イタリア王「カル5世」エストレーマドゥーラ地方の山あいのユリの僧院で/58歳(誕生15000224)
- 1558年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「イフェンツォ・ブランケティ」「リナルド・ディ・ジョヴァンニ・バルティ」
- 1558年10月12日-09:00|日本|香川県善通寺市|永禄1年9月|<善通寺合戦>三好義賢(実休)が東讃岐の諸将とともに天霧城に攻め込むが香川の景はこれを撃退/之景は実休と和議を結び所領安堵のうえ三好氏の支配下に入ることとなった
- 1558年10月14日-09:00|日本|島根県大田市|永禄1年9月3日|<山吹城の戦い>尼子晴久が、石見銀山奪還のため兵25000で山吹城を攻撃。守る毛利軍の宍戸隆家(兵数7000)は敗北し、石見銀山が奪われる(忍原崩れ)/刺賀長信は自身の命と引き換えに城兵を吉田郡山城へ帰還させることを条件に降伏し自害する/尼子方となった山吹城には本城常光が配置される
- 1558年10月27日 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド伯「ジェームス・フィッツジェラルド」
- 1558年10月27日 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「ジェラルド・フィッツジェラルド」(~15831111死去)
- 1558年11月4日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイエルン「トクサン・パシャ」(2回目~1559年6月)
- 1558年11月5日-09:00|日本|山梨県甲州市|永禄1年9月25日|武田信玄、信州善光寺本尊の阿弥陀如来をはじめ数々の寺宝を移し信州善光寺三七代鏡空上人を開山に迎えて甲斐善光寺創建(山梨県甲府市)
- 1558年11月7日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|永禄1年9月27日|神代勝利が竜造寺方小川但馬守の春日山城を奪回
- 1558年11月10日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|永禄1年10月|肝付兼続、志布志城に島津忠親を攻めるが撃退される
- 1558年11月17日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王「マリー1世(血塗れのマリー)」42歳(誕生15160218)
- 1558年11月17日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド王「エリザベス1世(処女王)」ハノーリ-8世とアン・ブーリンの女子(~16030324死去69歳)

1560迄 (1476件)

1558年11月17日 00:00|イギリス| |||<退位>イングランド王「フィリップ1世」(~15980913死去71歳)
 1558年11月22日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄1年10月13日|大友義鎮は豊前の領土を確保するため田原親宏・臼杵鑑速・吉弘鑑理・斎藤鎮実・戸次鑑連(立花道雪)ら1万5千を門司城へ派軍/大友勢前線の親宏・鑑速・鑑理らは毛利勢の元春・隆景らの連携攻勢で苦戦しながら、豊前規矩郡大里津柳ヶ浦村で布陣する鑑連は将兵の中から弓が得意な兵を800人選抜し毛利兵に雨霰と矢を射込ませた/これを目にした毛利兵は次第に恐怖感、焦燥感を募らせ、元春・隆景ら毛利勢は鑑連・鎮実ら大友勢の挟撃で総崩れて門司城に退却
 1558年11月24日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ロズ伯「ジョージ・レスリー」
 1558年11月24日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ロズ伯「アンドリュー・レスリー」先代の息子(~1611年死去)
 1558年11月24日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄1年10月15日|毛利勢は門司城から出て毛利領へ帰るが、大友軍の臼杵鎮続の追撃を受けた/大友氏は門司城を奪還
 1558年11月26日-01:00|スペイン| |||<死去>6代メニェシニョ公「フアン・アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・デ・グスマン=スニガ」
 1558年11月26日-01:00|スペイン| |||<就任>7代メニェシニョ公「アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・デ・スニガ=ソトヨル」(~16150726死去)先代の孫
 1558年11月29日-09:00|日本|愛知県岩倉市|永禄1年10月20日|織田信長、岩倉城織田信賢を落城させる
 1558年11月29日-09:00|日本|香川県|永禄1年10月20日|大軍を率いて香川氏領に迫った三好実休に香川之景は抗戦したが及ばず和平成立/三好義賢(実休)は兵を引いて帰った
 1558年11月29日-09:00|日本|香川県善通寺市|永禄1年10月20日|讃岐の善通寺が兵火に遭う
 1558年11月30日-09:00|日本|香川県三豊市|永禄1年10月21日|秋山兵庫助、乱入してきた阿波衆と戦い、麻口合戦において山路甚五郎を討
 1558年12月-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官代理「Antonio Pereira Brandao」(~1560.10)
 1558年12月-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リガのレーヴァル司令官「ディートリッヒ・フォン・デア・シュタインケル」(⇒1560年8月、代行~1561年6月)
 1558年12月2日 00:00|イギリス| |||<死去>第4代アーガイル伯「アーチバルド・キャンベル」
 1558年12月2日 00:00|イギリス| |||<就任>第5代アーガイル伯「アーチバルド・キャンベル」(~15730912死去)
 1558年12月3日-01:00|イタリア| |||<死去>ジェノヴァ共和国ドージェ「ピエトロ・ジョヴァンニ・シアヴィカ」
 1558年12月9日-09:00|日本|福井県三方上中郡若狭町|永禄1年10月30日|武田義統方の一族武田信方、三方郡前川・気山で武田信豊方と合戦(11月7日まで)
 1558年12月10日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄1年11月|安形源左衛門直信、駒場慈眼寺開基
 1558年12月11日-09:00|日本|愛知県清須市|永禄1年11月2日|織田信行は再度謀反の兆しがあったことから、信長は清須城で仮病を装い、見舞いに訪れた信行を、河尻秀隆に命じて暗殺させる
 1558年12月14日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄1年11月5日|伊東義祐、新山城を攻め落とす
 1558年12月20日-09:00|日本|佐賀県神埼市|永禄1年11月11日|竜造寺方の小田政光と少貳方の江上武種が長者林で戦う/竜造寺隆信、政光を見殺しにする
 1558年12月24日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄1年11月15日|今川治部大輔義元、三河八名郡和田郷藤社大明神宮(豊橋市石巻本町)造営
 1558年12月24日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|永禄1年11月15日|龍造寺隆信は小田政光の蓮池城を攻め蓮池城は落城し政光の子鎮光らは筑後国へ逃がれた
 1558年12月28日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄1年11月19日|大和筒井城主「筒井順慶」、河内守護代遊佐氏の娘と婚姻
 1559年-05:45|バール| |||<即位>コル・ラジャ「トウ・イ・シャハ」(~1570年没)
 1559年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Karashahin Mustafa Pasha」(~1561年)
 1559年-03:00|エチオピア| |||<即位>ハール・スルタン国スルタン「Amir Nor Dhuhi-Suha 'Ali」(~1567年死去)
 1559年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ジョヴァンニ・ディ・タニエバル・ロ」(~1561年)
 1559年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ソフ・ハトウム・アリ・パシャ」(~1560年、在職中に死去)
 1559年-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Margaret of Parma」(~1567年)
 1559年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メジナ総督「Pedro Venegas de Cordoba」(~1568年)
 1559年-01:00|フランス| |||<称号剥奪>シャテルロー公「ジェームス・ハミルトン」
 1559年-01:00|オランダ| |||<設立>ベルゲン・オブ・ゾーム辺境伯領
 1559年-01:00|イタリア| |||<即位>アルフィ公「Cesare1世Gonzaga」(~1575年)
 1559年-01:00|ポーランド| |||<退任>レグニツァ公「フレデリック3世」
 1559年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Cristovao de Barros」(~1560年)
 1559年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ネリフェ島知事代理「Alonso de Llerena」(1期目~同年)⇒「Plaza」(~1561.10)
 1559年 00:00|イギリス| |||<就任>ノーサンプトン侯・エックス伯「ウィリアム・パー」(~15711027死去)
 1559年 00:00|カーナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「マヌエル・ダ・フォンセカ」⇒「ルイ・ゴメス・デ・アゼベド」(~1562年)
 1559年 03:00|ブラジル/フランス| |||<就任>フランス南極大陸(フォート・コリニ)総督「ボワール・コント卿ジャン・ド・ル・ボワシー」(~15600317)
 1559年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ラファエル・デ・フィゲロア」(~1561年)
 1559年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ペドロ・ベナビデス」(~1562年)
 1559年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カルタゴ総督(名目上)「アロンソ・オルティス・デ・アルケタ」

1560迄 (1476件)

1559年1月1日-01:00|デンマーク/ノルウェー/ドイツ| |||<死去>カマル同盟ノルウェー王・シュレーズグ・ヒ公「クリスチャン3世」55歳(誕生1503年)

1559年1月1日-01:00|デンマーク/ノルウェー/ドイツ| |||<即位>デンマーク王・ノルウェー王・シュレーズグ・ヒ公・ホシュタイン公「フレデリク2世」クリスチャン3世とドロテア・フォン・ザ・ケシエンラウエンブルクの長男(〜15880404死去53歳)

1559年1月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドーージェ「シロラマ・ヴァルデッ」(〜15610104)

1559年1月5日-09:00|日本|京都府京都市上京区|永禄1年11月27日|<永禄の和議>足利義輝と三好長慶、和睦し京都勝軍山城より入洛して相国寺に入る/そこで三好長慶らを引見(幕府の復活)

1559年1月7日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「アイラー・ハルテンベルク・ティル・マッラップ・ヴァイトフト」(〜15650703没)

1559年1月8日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永禄1年11月30日|<高屋騒動>河内守護・畠山高政が守護代・安見直政の害意を察知し高屋城から泉州堺に出奔

1559年1月9日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄1年12月|日向・島津尚久、日向板敷にて伊東義祐に敗れる

1559年1月11日-09:00|日本|佐賀県神埼市|永禄1年12月3日|肥前・江上武種、筑後より勢福寺城に帰国し龍造寺隆信・神代勝利と三者講和

1559年1月21日-09:00|日本|京都府京都市上京区|永禄1年12月13日|足利義輝、本覚寺(妙覚寺)を仮御所として移転

1559年1月25日-01:00|デンマーク/ノルウェー/スウェーデン| |||<死去>前ノルウェー王・スウェーデン王・デンマーク王「クリスチャン2世」/77歳(誕生14810702)

1559年2月2日-05:30|インド/ポルトガル| |||ダマン(ダマン)がポルトガルに買収される

1559年2月7日-08:00|中国| ||明・嘉靖38年春|蘇州で無頼の暴動がおり、巡撫翁大立を襲撃

1559年2月8日-09:00|日本|愛知県大府市|永禄2年|稲垣淡路守、追分城(大府市東新町)を築城

1559年2月8日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|永禄2年|織田信長が鳴海城の周囲に丸根砦・鷲津砦・善照寺砦・丹下砦・中島砦を築いて兵を配置、包囲

1559年2月8日-09:00|日本|滋賀県|永禄2年|<交替>近江国守護(観音寺領主)「六角義賢」隠居⇒家督は「六角義治」が継ぐ(〜永禄11(1568)年9月12日滅亡)

1559年2月8日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄2年|朝比奈丹波守親徳、仁和寺尊寿院道因大僧正を開山に、音羽山清水寺(静岡市葵区音羽町)開基

1559年2月8日-09:00|日本|静岡県藤枝市|永禄2年|賢林永固、富巖山大泉院(藤枝市堀之内)を曹洞宗に改宗し開山

1559年2月8日-09:00|日本|静岡県焼津市|永禄2年|大林法慶、石津山蔵珠院(焼津市石津)開山

1559年2月8日-09:00|日本|奈良県橿原市|永禄2年|河瀬権八郎兵部尉宗綱、顕如より寺号を得て今井郷に念仏道場(称念寺)を建立

1559年2月8日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄2年1月|<復帰>筑前秋月領主「秋月種実」古処山城を占拠していた大友軍を破り秋月氏の旧領をほぼ回復

1559年2月8日-09:00|日本|福岡県那珂川市|永禄2年1月|筑紫惟門も五箇山城を奪還

1559年2月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ選帝侯「オットー・ハインリヒ」

1559年2月12日-01:00|ドイツ| |||<即位>プファルツ選帝侯「フリートリヒ3世」(〜15761026死去)

1559年2月18日-09:00|日本|佐賀県|永禄2年1月11日|<死去>元肥前領主「少貳冬尚」肥前佐嘉領主「龍造寺隆信」に敗れ勢福寺城で弟「千葉胤頼」(28歳)とともに自害滅亡(31歳)

1559年2月27日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター/治安判事「ルイス・マルティンス・デ・エヴァンジェリョ」(〜1560年)

1559年2月28日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄2年1月下旬|相模国小田原城主北條氏康、氏政父子が下野国佐野唐沢山城主佐野周防守昌綱を攻めて包囲す、時に長尾景虎は八千余騎を率へて上野国の平井より出陣し、後詰加勢として佐野昌綱に迎いられ佐野城に入城し、北條氏康の率いる三万五千余騎の大軍を防戦して之れを撃退す

1559年3月9日-09:00|日本|岡山県岡山市|永禄2年2月|備前・浦上宗景、沼城(中山備中守)を宇喜多直家に誘殺させる

1559年3月9日-09:00|日本|岡山県瀬戸内市|永禄2年2月|備前・浦上宗景、砥石城(島村豊後)を宇喜多直家に誘殺させる

1559年3月9日-09:00|日本|福島県郡山市|永禄2年2月|蘆名盛氏、陸奥安積郡の佐柄・大槻を攻める

1559年3月9日-09:00|日本|山梨県|永禄2年2月|<改名>甲斐・信濃国守護「武田晴信」剃髪改名⇒「武田信玄」

1559年3月27日-01:00|ポーランド| |||<再任>レグニツァ公「ハンリ11世」(〜1576年退任)

1559年4月-01:00|スイス| |||スイスの植物学のゲスターが「チュリップ」を記載

1559年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロ・ベルツィ」[「ピエール・パオロ・コルベッリ」]

1559年4月3日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「ゲラウデウス・レブナ・デングル」

1559年4月3日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「メナス・レブナ・デングル」(〜15630131没)

1559年4月3日-01:00|フランス/イギリス/スペイン/イタリア| |||<カトー・カンブレジ条約>フランス王アンリ2世、スペイン王フェリペ2世とイギリス女王エリザベス1世の間で、フランス北部のカトー・カンブレジで条約が締結される/フランスがイタリアから手を引くことで「イタリア戦争」が終結/フランス、フランス北東部ロレーヌ地方のメス、トゥール、ヴェルダン(司教領)を獲得/フランスはコシカ、フランス南東部のサヴォワ、イタリア北西部のピエモンテを放棄、北部国境の諸地域とカレーを得る(8年間領有が認められ、その後イングランドから50万エキュで買い取る)/スペインはミラノ、ナポリ、シチリア、サルデーニャなどを獲得

1559年4月3日-01:00|イタリア| |||コシカ、ジェノヴァ領に

1560迄 (1476件)

1559年4月3日-01:00|フランス/スペイン| ||フランスが、スペインとの間で和約を結ぶ/これでフランスはシャルル8世以来の征服地の大部分を失うことになる

1559年4月3日-01:00|ベルギー| ||ブイヨンがリエージュ司教区の一部

1559年4月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉靖38年3月|朝鮮黄海道で林巨正の乱がおこる

1559年4月24日-09:00|日本|宮崎県|永禄2年3月17日|日向佐土原領主「伊東義祐」が北原氏後継問題で、北原三河守を殺害/併せて北原領眞幸院に兵を進める

1559年4月26日 00:00|イギリス| ||イギリスで、国王至上法と礼拝統一法が制定され、国教会のプロテスタント化が進む

1559年4月27日-09:00|日本|愛知県岩倉市|永禄2年3月20日|<岩倉城合戦>織田信長、岩倉城織田信賢を攻落/織田信賢の重臣で黒田城城主山内盛豊討死/織田信長、尾張を統一

1559年4月29日-01:00|ドイツ| ||<死去>リューネブルク侯「フランツ・オットー」

1559年4月29日-01:00|ドイツ| ||<就任>リューネブルク侯「ハインリヒ」(~1569年)、「ウーイェルム若公」(~15920820死去)

1559年5月7日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|永禄2年4月|大井川出水により、龍沢山長源寺(吉田町神戸)諸堂流失

1559年5月9日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄2年4月3日|<肥田城合戦>浅井氏に寝返った愛知郡肥田城主・高野瀬秀隆を六角義賢が攻撃/肥田城の周りに堤防を築き愛知川と宇曽川から水を流れ込ませるといいう水攻めを行い、城内は相当の被害を受けた

1559年5月18日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄2年4月12日|常陸国土浦城主菅谷摂津守左エ門大夫政貞が小田城を攻めて佐竹勢を追拂って攻略し之れを回復

1559年5月20日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|永禄2年4月14日|肝付兼統が松山城主・平山越後守忠智を志布志に殺し進んで松山城を襲い取る

1559年5月29日-02:00|トルコ| ||スレイマン1世の息子セルムとバヤズィットの間で後継者争いの内戦が起こり、セルムが勝利

1559年6月2日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ2世、パリ北郊外のエヴァンで、裁判所に向けて異端撲滅の厳命「エヴァン勅令」を出す/新教徒に対する迫害を強化

1559年6月6日-09:00|日本|熊本県山鹿市|永禄2年5月|肥後の隈部親永は領地問題から赤星親家と対立し合瀬川で親家を打ち破った

1559年6月7日 03:00|ブラジル| ||メン・ジ・サ総督、先住民トゥピ・ニキ族の四つの部落を放火・略奪し破壊

1559年6月7日-09:00|日本|静岡県磐田市|永禄2年5月2日|戸羽野村松秀寺五世松山門鶴を開山に曹洞宗円通山観音寺(福田町福田)草創

1559年6月9日 03:00|ブラジル| ||トゥピ・ニキ族が反撃、「泳者の戦い」

1559年6月10日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄2年5月5日|<佐和山城合戦>六角義賢、佐和山城を攻撃したが攻略できないまま撤退

1559年6月14日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄2年5月9日|旦那三浦土佐守、増善寺(静岡市葵区慈悲尾)の釈迦如来像を造立

1559年6月21日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダのペイルベイ「ギョゼ・リュステム・パシャ」(~1563年11月没)

1559年6月21日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|永禄2年5月16日|<死去>伊勢神戸領主「神戸利盛」⇒弟の「神戸具盛」が継ぐ(元亀2(1571)年1月解任)

1559年6月26日-09:00|日本|熊本県人吉市|永禄2年5月21日|菱刈氏により肥後人吉領主「相良頼房(義陽)」の水俣城が落城

1559年6月30日-01:00|フランス| ||フランス王アンリ2世、4月の「カトー・カンブレ」条約の祝賀行事として、パリの宮殿「トゥールネル館」前の「サン・タントワヌ通り」(4区)特設会場で行われた馬上槍競技で、スコットランド 儀仗隊長が「ブリエルト・モンゴメリ」との親善試合で右目を貫く事故にあう

1559年7月3日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄2年5月28日|<肥田城合戦>大雨によって発生した洪水のために堤防が決壊し水が流れ出したために六角義賢による肥田城水攻めは失敗に終わった

1559年7月4日-09:00|日本|大阪府岸和田市|永禄2年5月29日|<紀伊口合戦>河内守護代「安見直政」・根来衆の連合軍、三好長慶の武将、岸和田城の「十河一存」・「松永久秀」に勝利

1559年7月6日-01:00|フランス/イギリス| ||エディンバラ条約が結ばれ、スコットランド、フランス軍が撤退/新教徒の摂政評議会の設置をイングランドに約束する

1559年7月10日-01:00|フランス| ||<死去>フランス王ヴァロワ朝「アンリ2世」6月の騎馬試合で眼を刺され、傷は脳に達していて苦悶の末/40歳(誕生15190331)

1559年7月10日-01:00|フランス| ||<即位>フランス国王(ヴァロワ=アンクレーム家)フランソワ2世[アンリ2世の子](~15601205)

1559年7月18日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄2年6月14日|<高宮合戦>六角義賢、浅井久政に勝利

1559年7月20日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄2年6月16日|島津忠将と豊州家島津忠親の連合軍が伊東軍と飢肥長慶寺で合戦、島津軍の勝利に終わった

1559年7月26日-09:00|日本|大阪府|永禄2年6月22日|<十七箇所合戦>三好長慶と安見宗房が戦い、三好勢400名程が討死

1559年7月27日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー総督「ハルマ公妃マカリータ」(~15671230)

1559年7月28日 05:00|エクトル/スペイン| ||<就任>スペイン領北総督・総司令官「メルチオール・バスケス・デ・アルバ」(~15630406)

1559年7月30日-09:00|日本|大阪府|永禄2年6月26日|三好長慶、守口から河内に侵攻

1559年7月30日-09:00|日本|福岡県|永禄2年6月26日|<任命>豊前・筑前・筑後国守護「大友義鎮」(~天正4(1576)年正月隠居)

1559年8月2日 04:30|ペネエラ/スペイン| ||<就任>スペイン領ペネエラ総督「Pablo Collado」(~1561.11)

1559年8月4日-09:00|日本|島根県大田市|永禄2年7月|<山吹城の戦い>石見銀山奪還のため毛利元就・吉川元春・

1560迄 (1476件)

小早川隆景が尼子方の山吹城を攻撃するが、尼子軍に敗北、退却時に降露坂で尼子軍の追撃を受ける(降露坂の戦い)

1559年8月7日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第82代ドージェ(元首)「ロレンツォ・フッリリ」

1559年8月18日-01:00|バチカン| |||<死去>第223代ローマ教皇「パウルス4世」/83歳(誕生14760628)

1559年8月25日-09:00|日本|大阪府|永禄2年7月22日|<榎並合戦>三好長慶方の池田出羽守と安見宗房方の遊佐三郎左衛門が合戦し、出羽守が勝利

1559年8月30日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「サックス伯トマス・ラドクリフ」(2回目~15640525)

1559年9月1日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第83代ドージェ(元首)「ジローラモ・フッリリ」(~15671104死去)

1559年9月2日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・大審問院長「フアン・マルチネス・デ・ランデコ」(~15640802)

1559年9月2日-09:00|日本|愛知県豊明市|永禄2年8月|沓掛城近藤景春、山口左馬助教継の調略により今川方に属し、城を明け渡し高園城に移る

1559年9月2日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|永禄2年8月|大法律師日告、梅ヶ島温泉へ湯治に行き、布教のために日蓮宗白龍山蓮久寺(静岡市駿河区馬淵)創立

1559年9月2日-09:00|日本|茨城県結城市|永禄2年8月1日|<死去>下総結城領主「結城政勝」57歳⇒養子の「結城晴朝」が継ぐ(~天正18(1590)年所領安堵)

1559年9月2日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永禄2年8月1日|<高屋城の戦い>三好長慶、畠山高政が安見宗房の籠る高屋城(河内国)に攻め入り城下を放火

1559年9月2日-09:00|日本|岐阜県郡上市|永禄2年8月1日|美濃郡上郡東殿山城主常弁が遠藤胤縁を殺害

1559年9月3日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永禄2年8月2日|<高屋城の戦い>安見宗房が飯盛山城に撤退したため、三好長慶、畠山高政は高屋城に入城

1559年9月4日-09:00|日本|京都府京都市上京区|永禄2年8月3日|足利義輝、室町殿(二条御所)を造営

1559年9月5日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄2年8月4日|安見直政は飯盛城を放棄し大和に逃亡

1559年9月7日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄2年8月6日|<筒井城合戦>松永久秀、筒井藤勝丸に勝利、藤勝丸は椿尾上城へ逃れる

1559年9月8日-09:00|日本|群馬県沼田市|永禄2年8月7日|北条孫次郎康元(北条綱成次男)、上杉憲政退去後に沼田城主になり、沼田孫次郎を名乗る

1559年9月9日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄2年8月8日|哉翁宋咄、賢仲派庵原山一乗寺(静岡市清水区庵原)開山

1559年9月9日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|永禄2年8月8日|松永久秀、信貴山城に入る(郡山辰巳の手引き)/筒井順慶、河内布施に逃げ

1559年9月16日-09:00|日本|熊本県球磨郡多良木町|永禄2年8月15日|<瀬野原の戦い>夜半に蔵人の軍勢を多良木城を攻撃するが城は落とせず、瀬野原天道ヶ尾へ退きそこで陣を敷いた

1559年9月17日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リガ オペラ騎士団団長「コッタルド・ケッテラー」(~15620305)

1559年9月17日-09:00|日本|熊本県球磨郡多良木町|永禄2年8月16日|<瀬野原の戦い>肥後国相良氏の領内瀬野原で深水惣左衛門の多良木衆が先陣となり直政らと交戦したが、惣左衛門らは討ち死に、多良木衆壊滅。犬童頼安の人吉衆が交戦するが大きな動きはなく、半刻にも及ぶ鏖闘士の攻撃に終始。蔵人の兵に疲れが見え始め、人吉衆がこれ押し始めたことで乱戦となり直政の軍は壊滅。丸目頼美は日向へ逃れたが、直政、及び蔵人を含めた180余名が討ち死に、一方の人吉方は62人が死去/敗戦を聞いた湯前城代・中山和泉は城に火を付けて、自害/直政の妻子及び、丸目頼美の母と侍女らも逃れていた西光寺谷で自害

1559年9月18日 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ペドロ・ラミレス・デ・キニョネス・アッパ・ヘル」を管理(~1572年)

1559年9月19日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄2年8月18日|朝比奈丹波守親徳、叔父哉翁宋咄天龍円鑑禅師(朝比奈摂津守俊元)39歳を開山に、賢仲派天叟山元長寺(静岡市葵区瓦場町)開基

1559年9月22日-09:00|日本|愛知県名古屋市長区|永禄2年8月21日|山口左馬助教継、調略により無血で大高城水野忠氏を攻略/今川義元、朝比奈筑前守輝勝に在番させる

1559年9月23日-09:00|日本|福岡県京都郡みやこ町|永禄2年8月22日|田原親宏、田原親賢や佐田隆居ら大友勢豊前方面軍は、毛利元就の調略に応じ挙兵した豊前国人・西郷隆頼や野仲鎮兼らの不動岳城、西郷城を攻略/この元就の調略を響応するように門司城、花尾城、香春岳城も浪人一揆で占拠され挙兵

1559年9月25日-09:00|日本|岐阜県郡上市|永禄2年8月24日|美濃郡上郡赤谷山城主東常慶が遠藤盛数に攻められ戦死

1559年9月26日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキフ総督・領主「ヒョートル1世若侯」(15591024まで代行~15680531没)

1559年9月26日-09:00|日本|島根県邑智郡川本町|永禄2年8月25日|<温湯城合戦>石見温湯城の小笠原長雄が毛利氏に降伏

1559年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョ・アントニオ・レオナルデッリ」「シニバルド・シニバルディ」

1559年10月1日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄2年9月|1559(永禄2年9月 武田晴信が再び碓氷を越して上野国の西部に侵入し、小宮山昌行に安中城を攻めさせ、自ら箕輪城を攻めんと向い、箕輪城主長野業政は之れを迎撃せんと若田ヶ原に進み、武田晴信の前面を渡りて挑戦をいどみ対陣し、若田ヶ原の武田晴信の陣営を襲撃して雉郷砦に入ったが、武田晴信も雉郷砦を攻略し長野業政は箕輪城に退陣

1559年10月1日-09:00|日本|島根県大田市|永禄2年9月|<降露坂の戦い>毛利に服属した小笠原長雄らを先鋒とする石見銀山攻略軍は、山吹城の正面にある仙ノ山に陣を置いた/山吹城を守る本条常光の抵抗は激しく、元就は退却

1560迄 (1476件)

1559年10月3日-01:00|イタリア| |||<死去>フェーラ・モナ・レツィヨ公「エルコレ2世」
1559年10月3日-01:00|イタリア| |||<即位>フェーラ・モナ・レツィヨ公「アルフォンソ2世」(~15971027死去)
1559年10月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Philipp3世」
1559年10月4日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Albrecht」(~15931111死去)
1559年10月4日-09:00|日本|広島県東広島市|永禄2年9月4日|毛利元就は東西条の大内領に兵を進め、義隆派の平賀隆保が籠もる頭崎城を攻めた。隆保は頭崎城から逃亡して、槌山城の菅田宣眞の元に入った
1559年10月5日-09:00|日本| ||永禄2年9月5日|<死去>堯尊法親王(不明)第164世天台座主
1559年10月6日-09:00|日本|茨城県筑西市|永禄2年9月6日|結城左金吾晴朝は小田方の属城である北條の地を取って凱旋/佐竹義重、多賀谷政経らは小田方の真壁郡海老ヶ島城主平塚山城守入道自省を攻めて討取り攻略
1559年10月6日-09:00|日本|茨城県結城市|永禄2年9月6日|常陸國小田城主小田氏治は下総国の結城晴朝を攻めるが下野国小山城主小山下野守高朝、常陸国下館城主水谷伊勢守治持、同兵部大輔正村、同国真壁城主真壁左エ門尉久幹、羽石内藏助盛長等が結城城に籠って之れを撃退
1559年10月11日-09:00|日本|広島県東広島市|永禄2年9月11日|毛利元就は吉川・小早川・宍戸らと共に軍勢4000で槌山城を攻め、降伏させた
1559年10月16日-09:00|日本|三重県四日市市|永禄2年9月16日|<塩浜合戦>未明、工藤の長野勢が塩浜に上陸するところを浜田と堀木が一手になって攻めかかると長野勢はなす術もなく追い散らされた/長野勢の三宅権六ら戦いなれた者らの指図で散乱した兵は再び戻り4時間にわたる激戦となった/浜田方のうち関勢の神戸蔵人の叔父神戸左衛門尉、堀木常定はじめ強兵50余人を失い、長野勢は三宅権六、乙部丙内ら百余人が討たれ夜に乘じて船に乗り長野へ帰陣
1559年10月19日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄2年9月19日|<肥田城合戦>近江の六角義賢が高野瀬秀澄を肥田城に水攻めするが失敗
1559年10月25日-09:00|日本|福岡県宗像市|永禄2年9月25日|大友義鎮、宗像氏の許斐城を包囲/開城/当主の宗像氏貞も居城の白山城を捨て大島に逃れた
1559年10月26日-09:00|日本|茨城県結城市|永禄2年9月26日|<結城城合戦>小田氏治は結城氏を攻めるが当主となったばかりの結城晴朝に破れ属城である北条城を失っている
1559年10月26日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄2年9月26日|<第三次門司城の戦い>大友義鎮は田原親宏、田原親賢らに命じて門司城を攻撃/毛利元就は毛利隆元、小早川隆景らを門司城へ後詰に向かわせ、小早川隆景は児玉就方に海上封鎖を命じる一方、門司と小倉の間に乃美宗勝の軍勢を上陸させて大友勢を攻撃し、さらに水軍を展開して大友軍の退路を断つなどしたため、大友方は退却を余儀なくされた
1559年11月5日-09:00|日本| ||永禄2年10月6日|<死去>狩野派2代目「狩野元信」(84歳、文明8(1476)0809生)絵師「大仙院花鳥図」
1559年11月18日-09:00|日本|愛知県名古屋市区|永禄2年10月19日|奥平監物定勝・菅沼久助定勝、大高城へ兵糧入れる際に、尾張清須城主・織田信長方が大高城を監視するために築いた正光寺砦・永上砦を攻略
1559年11月21日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄2年10月22日|椿尾上城から出陣した筒井衆が横井を焼き払い、救援に赴いた松永方の郡山辰巳衆と戦う
1559年12月5日-09:00|日本|熊本県阿蘇市|永禄2年11月7日|<死去>肥後阿蘇荘領主「阿蘇惟豊」67歳⇒子の「阿蘇惟将」が継ぐ(~天正11年11月02日(15831215)死去)
1559年12月7日-09:00|日本| ||永禄2年11月9日|<任命>九州探題「大友義鎮」(~天正6(1578)年11月権威喪失)
1559年12月22日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄2年11月24日|松永久秀が山城勝軍山城を攻め、六角氏の将永原安芸守を討つ
1559年12月26日-01:00|バチカン| |||<就任>第224代ローマ教皇「ピウス4世」(~15651209死去)
1559年12月26日-01:00|スウェーデン| |||<就任>エステルエートランド公「マグヌス」(~15950626死去)
1559年12月29日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|永禄2年12月|内藤宗勝(松永長頼)が晴元方の丹波八上城を攻撃、占領。黒井城の赤井時家、荻野(赤井)直正も追放し、丹波国の大半を三好方が制圧
1560年-08:00|マレーシア| |||<死去>パハン・スルタン「マンスール・シャー2世」
1560年-08:00|マレーシア| |||<即位>パハン・スルタン「アブドゥル・ジャマル・シャー」(~1575年没)、「アブドゥル・カディール・アラウデイン・シャー」(~1590年没)
1560年-07:00|ラオス| |||ランサン国セータティラト王、タングー王朝(ビルマ)の侵攻を懸念し、王都をシェントーンからヴァンエンチャンに移転/旧都をルアンパバーンと改名
1560年-07:00|ラオス| |||ランサン国セータティラト王がアユタヤと同盟し、ビルマに対抗
1560年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Bhaktapur)国王「Trailokya Malla」(~1613年)
1560年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Kantipur)国王「Mahendra Malla」(~1574年)
1560年-05:30|インド/ポルトガル| |||ポルトガルがゴアに異端審問所を設立
1560年-05:00|パキスタン| |||<即位>カトール朝国王「Sangeen Ali1世」
1560年-04:00|オマーン| |||<即位>ナバニ王朝イマム「アブドゥラ・ビン・ムハンマド」(~1624年)
1560年-03:00|ベラルーシ| |||<就任>スルツク公「ユリウス・オルカイトス」(~1572年)
1560年-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「ソフ・ハトウム・アリ・パシャ」
1560年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「アントニオ・カルボ」(~1562年)
1560年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カラ・シャヒン・ムスタファ・パシャ」(~1563年)
1560年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン「パントレオン・サ」(~1564年)
1560年-02:00|ジンバブエ/ポルトガル| |||南部アフリカのムタパ国に、ポルトガル人が侵入
1560年-01:00|スウェーデン| |||<就任>エステルエートランド公「マグヌス」(~15950626死去)

1560迄 (1476件)

1560年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「マリツェ」(~1561年)
1560年-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツツグアイフルリッケン公「グオルファンク」(~15690611死去42歳)
1560年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ポール・スティグセン・ハイグイデ」(~1566年没)
1560年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Cristovao Doria de Sousa」(~1564年)
1560年 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||サーク島はSeigneur deGlatignyの下でフランスが占領(~1562年)
1560年 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||リオ周辺の原住民タピ族、南極フランスと連合し反乱/ポルトガルとの戦いにやぶれる
1560年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ諸島のコレクター/治安判事「グレゴリー・マティンス・カミーニャ」(~1562年)
1560年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総督・総司令官「ファン・エチャゴン」(~1561年)
1560年 06:00|グアテマラ/メキシコ| |||タパスコとユカタン、グアテマラのアウティエンシアを離れ、メキシコ副王直轄領に
1560年1月2日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄2年12月5日|浦川一宮大明神社(佐久間町浦川上市場)殿造立
1560年1月7日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|永禄2年12月10日|日蓮宗妙本寺の住持日我が「いろは字書」を著す
1560年1月20日-09:00|日本|神奈川県|永禄2年12月23日|<交替>相模・伊豆国主「(北条氏第3代目当主)北条氏康」
隠居⇒「(北条氏第4代当主)北条氏政」が家督継承/氏康の存命中は氏康・氏政の両頭体制が続く
1560年1月22日-09:00|韓国/朝鮮/日本| ||朝鮮・嘉靖38年12月25日|倭寇首領の王直、処刑。これ以降は林道乾が倭寇を統率し勢力を拡大
1560年1月25日 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「ヘンリー・ヘイステイングス」(~15951204死去)
1560年1月27日-08:00|中国| ||明・嘉靖39年|<死去>ヤルカント・ハン「アブドゥッラシード・ハン1世」
1560年1月27日-08:00|中国| ||明・嘉靖39年|<即位>ヤルカント・ハン「アブドゥル・カリム」アブドゥッラシード1世の子(~1592年、死去)
1560年1月28日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄3年|菅沼十郎兵衛定氏、市々浪城築く
1560年1月28日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄3年|長源院4世の法嗣能屋梵芸、曹洞宗泰雲山瑞龍寺(静岡市葵区)を建立
1560年1月28日-09:00|日本|静岡県焼津市|永禄3年|大井神社(焼津市駅北)創立
1560年1月28日-09:00|日本|栃木県小山市|永禄3年|<交替>下野小山領主「小山高朝」隠居⇒子の「小山秀綱」(~天正18(1590)年失領)
1560年1月28日-08:00|台湾| ||倭寇の領袖らが台湾に入植を開始
1560年1月28日-09:00|日本|大阪府|永禄3年1月|河内守護「畠山高政」は安見直政と講和し、直政を守護代に補す
1560年1月28日-09:00|日本|京都府京都市|永禄3年1月|足利義輝、イエズス会宣教師がスパルダイルの京都での布教を許可
1560年1月31日-09:00|日本|茨城県結城市|永禄3年1月4日|結城六郎晴朝の結城への帰城途中、古河城主築田中務太輔政信が襲撃、晴朝は築田勢を破って撃退し無事に結城城に帰陣
1560年2月3日-09:00|日本|茨城県結城市|永禄3年1月7日|結城晴朝に下妻城主の多賀谷政経が離反、小田氏治・佐竹義昭・宇都宮広綱ら反北条陣営が結城城を攻撃、落城寸前に古河公方の調停で和睦
1560年2月8日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|永禄3年1月12日|<品野城の戦い>品野城(品野3城秋葉・桑下・落合)松平信一・戸田直光、織田軍に攻め落される
1560年2月12日-09:00|日本|京都府京都市|永禄3年1月16日|三好長慶、幕府相伴衆に列し、三好長慶による京都支配は実質的に終焉
1560年2月14日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナメル＝グオルカスト公「フィリップ1世敬虔公」
1560年2月14日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポズナメル＝グオルカスト公「エルスト＝ルトグ化平等公」(~15920617死去)、「ヨハン・フリートリヒ強健公」(~1569年~16000209死去)、「ボギスラフ11世」(~1569年~16060307死去)、「バルニム10世若公」(~1569年~16030901死去)
1560年2月16日-09:00|日本|千葉県館山市|永禄3年1月20日|上総・北条氏康、安房国館山城主里見義堯を攻撃
1560年2月17日-09:00|日本|徳島県|永禄3年1月21日|<交替>阿波国主「三好長慶」隠居⇒「三好義興」家督を譲られる
1560年2月26日-09:00|日本|福島県須賀川市|永禄3年2月|蘆名盛氏、田村・佐竹軍と陸奥石川郡松山で戦う
1560年3月-05:30|インド| ||ムガル皇帝アハル(18)が後見人のバイラム・ハンを追放して親政を開始
1560年3月16日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄3年2月20日|<広瀬城戦い>松平元康、広瀬城三宅高直を攻め落とす
1560年3月17日 03:00|ブラジル/ポルトガル/フランス| |||ポルトガルがフランス南極大陸(フォート・コニー)の支配権を握る(フランス人入植者は1566年1月18日まで残る)
1560年3月17日-09:00|日本|広島県|永禄3年2月21日|<任命>安芸国守護「毛利隆元」(~永禄6(1563)年8月4日死去)
1560年3月27日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄3年3月|南都眉間寺を壊し多聞山城を築く
1560年3月29日-01:00|フランス| |||<アンボワーズ事件>王軍を率いたギーズ公フランソワ、「新教派」の「ラルノー・ディ卿」ジャンをはじめ1,200人を殺害
1560年3月29日-09:00|日本|鳥取県|永禄3年3月3日|<死去>因幡国守護(但馬天神山城主)「山名豊定」49歳、病没⇒守護代「山名棟豊」兄の山名祐豊の子(~永禄4(1561)年死去)
1560年3月30日-01:00|フランス| |||<アンボワーズ事件>ギーズ公フランソワ、捕らえた「新教派」の指導者52人を処刑し、アンボワーズの「城門」に吊す

1560迄 (1476件)

1560年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジヤコモ・デ・イ・エヴァンジェリスタ・ベルツィ」|「ヴァンチェンツォ・デ・マリノ・デ・イ・アントニア」

1560年4月7日-09:00|日本|広島県三原市|永禄3年3月12日|小早川隆景、御調郡久井稻荷神社々殿を再興

1560年4月15日-02:00|エストニア/デンマーク| |||オーセル島司教区、最後の司教によってデンマークに売却

1560年4月21日-09:00|日本|福島県西白河郡西郷村|永禄3年3月26日|<小田倉の戦い(陸奥国)>陸奥国白河郡小田倉にて那須氏と白河結城氏・蘆名氏の間で発生した合戦/数で劣る那須勢は大変な苦戦を強いられ、総大将であった那須資胤も負傷し一時は白刃を覚悟するほどであったが、有力家臣である大関高増らの軍勢が駆けつけたことにより事なきを得た

1560年4月22日-09:00|日本|福岡県宗像市|永禄3年3月27日|宗像氏貞、許斐城を夜襲し奪回、白山城に入城

1560年4月24日-09:00|日本|富山県|永禄3年3月29日|上杉謙信が富山城主神保義春を攻撃して追放、越中に手を伸ばす

1560年4月24日-09:00|日本|富山県砺波市|永禄3年3月29日|<移転>越中富山領主「神保長職」⇒越中増山

1560年4月25日-09:00|日本|富山県砺波市|永禄3年3月30日|上杉謙信、夜半、増山城攻略

1560年4月26日-09:00|日本|静岡県焼津市|永禄3年4月|大原肥前守資良、神明宮(焼津市吉津)建立

1560年5月6日-09:00|日本|宮城県|永禄3年4月11日|<死去>陸奥登米寺池領主「葛西親信」⇒弟の「葛西晴信」が継ぐ(〜天正18(1590)年失領)

1560年5月13日-02:00|エストニア| |||<就任>エーセルヴァイク選帝侯「エーセル伯マクス・ヘルツォーク・フォン・ホルシュタイン」(〜15670320)

1560年5月20日-02:00|ラトビア/デンマーク| |||ピルテンとドンバンゲンはデンマーク王に売却され、王の兄弟マクス・ヘルツォーク・フォン・ホルシュタインにアパナージュの一部として贈られた

1560年5月25日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄3年5月|三河国西光寺に阿弥陀如来坐像石仏が建立される

1560年5月25日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|永禄3年5月|上野国箕輪城主長野業政は同国国峯城主小幡重定を攻め破って攻略し、重定は甲斐国武田晴信を頼る

1560年5月29日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄3年5月5日|織田信長、三河国吉良に侵攻、一帯を焼き討ちし実相寺焼失

1560年6月5日-09:00|日本|静岡県|永禄3年5月12日|今川義元は自ら上洛軍を率いて駿府を発ち、尾張を目指して東海道を西進

1560年6月8日-09:00|日本|熊本県球磨郡多良木町|永禄3年5月15日|<瀬野原の戦い(肥後国)>夜半、当主相良義陽とその母である(太夫人)内城君を説得して二人に仮病をつかわせ密かに赤池城へと連れ出した/義陽と内城君が長兄に伴われて赤池城へ着く頃、長兄の家臣60余人が、「叛臣丸目氏を除く」と大声で叫んで、長兄の屋敷から頼美の屋敷へ向けて火矢を放った。頼美は突然の攻撃に恐れおののき、為す術なく妻子、及び母とその侍女らを連れだつて湯前城へと落ち延びた/直政は事前の約束と違い、内城君を奉じていないことに難色を示したが、ともに籠城することになった/義陽は、犬童頼安に軍勢を与えて出陣させ、頼安は奥野一度橋でこれを迎え撃ったが、軍勢は壊滅させられ、頼安自身も手傷を負って帰還

1560年6月12日 01:00|日本|愛知県名古屋市長区|永禄3年5月19日|<知多郡大高合戦>午前10時、松平元康、丸根砦を攻略、佐久間盛重、討死;朝比奈泰朝、鷲津砦を攻略、飯尾定宗、討死

1560年6月12日 03:00|日本|愛知県名古屋市長区|永禄3年5月19日|<知多郡大高合戦>正午頃、中嶋砦の前衛に張り出していた佐々政次、千秋四郎ら30余りの部隊は信長出陣の報に意気上がり、単独で今川軍の前衛に攻撃を仕掛けたが佐々、千秋らが討ち取られてしまう

1560年6月12日 04:00|日本|愛知県刈谷市|永禄3年5月19日|今川義元の敗走兵により市原稻荷神社焼かれる

1560年6月12日 04:00|日本|愛知県名古屋市長区|永禄3年5月19日|島田城、桶狭間合戦時の兵火に遭って焼失

1560年6月12日 04:00|日本|愛知県名古屋市長区|永禄3年5月19日|<桶狭間の戦い>13時頃、織田信長の軍勢が田楽狭間の今川義元本陣を急襲、服部小平太春安が義元に斬り付け、毛利新介良勝が討つ/蒲原氏徳、岡部長定、一宮宗是、斎藤利澄、長谷川元長、飯尾乗連、浅井政敏、三浦義就、葛山長嘉、江尻親良、由比正信、由比光教、松井宗信、久野元宗、井伊直盛、松平宗次、松平政忠らも討死

1560年6月12日 04:00|日本|静岡県|永禄3年5月19日|<死去>遠江・駿河国守護「今川義元」戦死/42歳(誕生:永正16(1519))⇒「今川」氏真が継ぐ(〜永禄12(1569)年5月17日失領)

1560年6月13日-09:00|日本|愛知県刈谷市|永禄3年5月20日|<刈谷城合戦>岡部元信は退却途中、刈谷城を攻撃、刈谷城主水野信近を討ち取る

1560年6月13日-09:00|日本|愛知県名古屋市長区|永禄3年5月20日|岡部元信、今川義元の首を貰い受けて鳴海城を開城

1560年6月13日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄3年5月20日|大和・興福寺で酒に火入れを行う/世界初の低温殺菌法

1560年6月14日-09:00|日本|愛知県豊明市|永禄3年5月21日|<沓掛城合戦>沓掛城近藤九十郎景春4百余、織田軍に攻められ祐福寺の西天神山で討死

1560年6月14日-09:00|日本|熊本県山鹿市|永禄3年5月21日|<合勢川の戦い(肥後国)>赤星道雲と隈部親永による合戦/隈部方から鉄砲50・弓100による攻撃が行われ戦闘が始まった/赤星本隊から離れて隈部軍の側面に布陣していた赤星蔵人は一気に勝敗を決するべく斬り込もうとして高所に駆け上った所で隈部方の銃弾を受けて戦死

1560年6月16日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄3年5月23日|松平元康、無人の岡崎城奪回、守将の山田景隆は既に逃亡

1560年6月16日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄3年5月23日|広瀬・高橋両城城主三宅右衛門大夫高貞、松平元康に攻められ雪岡久右衛門の為に討死し落城

1560迄 (1476件)

1560年6月20日-09:00|日本|高知県高知市|永禄3年5月27日|<長浜の戦い(土佐国)>長宗我部国親は種崎城から長浜城に夜襲をかける/長宗我部方が福留の手引きにより城門を突破すると城兵はほぼ無抵抗で城を明け渡し、本山氏の本拠地である本山城に集結

1560年6月20日-09:00|日本|千葉県野田市|永禄3年5月27日|<死去>第4代古河公方「足利晴氏」下総関宿(栗橋)城で病没(53歳)

1560年6月21日-09:00|日本|愛知県名古屋市長区|永禄3年5月28日|佐々成政に鳴海城岡部元信敗れ、岡部元信鳴海城を退去/鳴海城岡部五郎兵衛3百、攻めてきた佐久間信盛1千を撃退/松平元康、挙母・梅が坪・沓掛城織田信蕃を攻める

1560年6月21日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄3年5月28日|<肥田城合戦>(4月3日~)六角義賢、肥田城(高野瀬秀隆)を水攻めするが失敗して退却

1560年6月21日 01:00|日本|高知県高知市|永禄3年5月28日|<戸ノ本の戦い>戦国時代の土佐国に割拠していた長宗我部氏と本山氏の間で行われた合戦/朝、長宗我部軍は長浜城から南の雪溪寺に出陣、一方の本山軍はその西の日出野に陣を構えた/午前10頃から両軍は激突し当初は数で勝る本山軍が優位に戦いを進めていたが、一刻にわたる乱戦の末に長宗我部軍が本山軍を押し返し、本山茂辰は浦戸城へ退く

1560年6月22日-09:00|日本|高知県高知市|永禄3年5月29日|<潮江城の戦い(土佐国)>土佐国で長宗我部氏と本山氏の家臣・森孝頼の居城・潮江城で行われた合戦/長宗我部元親は、宇津野山から長浜城の支城である潮江城を見据えた時、城内が無人と考え、長宗我部国親や秦泉寺豊後などの反対意見を押し切り、手勢800人で火縄銃や弓を持って城内に侵入。この時城主であった森孝頼は既に潮江城から逃走しており、大量の旗本と長浜城の戦いの残兵、僅かな兵しか城内にはおらず、合戦開始から間もなく潮江城は落城

1560年6月24日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄3年6月|日長上人、日蓮宗道場山妙隆寺(蒲原町西町)創立

1560年6月24日-09:00|日本|長野県長野市|永禄3年6月|武田信玄、清野館跡に海津城築城

1560年6月24日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄3年6月1日|(~4日)松平元康が挙母・寺部・医王山取砦落とす

1560年6月24日 10:00|日本|愛知県刈谷市|永禄3年6月1日|夜、岡部元信・近藤景春、伊賀・甲賀衆75人で刈谷城を攻め水野信近を討死させる/水野信元家臣牛田城主牛田近長、伊賀衆皆殺し奪い返す

1560年6月26日-09:00|日本|岐阜県|永禄3年6月3日|織田信長が美濃に侵攻、斎藤義龍方丸毛氏・市橋氏らと戦う

1560年6月30日-09:00|日本|栃木県足利市|永禄3年6月7日|北条氏政、足利学校に「宋刊本文選21冊」(国宝)を寄進

1560年7月1日 10:00|日本|京都府南丹市|永禄3年6月8日|内藤宗勝に駆逐された波多野元秀率人と若狭武田軍勢が、野々村(京都府美山町)に攻め込む。逸見経貴の援軍もあり、内藤宗勝これを退ける

1560年7月6日-01:00|フランス/イギリス| |||エディンバラ条約が結ばれ、スコットランド、フランス軍が撤退/新教徒の摂政評議会の設置をイングランドに約束

1560年7月8日-09:00|日本|高知県高知市|永禄3年6月15日|<死去>土佐国主「長曾我部国親」病歿(57歳)⇒嫡男「長曾我部元親」が家督を嗣ぐ(~天正13(1585)年7月25日土佐一国安堵)

1560年7月11日-09:00|日本|愛知県知立市|永禄3年6月18日|<重原城攻め>松平元康が重原城に攻め寄せるも水野信元が撃退

1560年7月12日-09:00|日本|愛知県刈谷市|永禄3年6月19日|<刈谷十八町畷の戦い>松平元康、水野信元と刈谷城外十八町畷で戦う/杉浦勝吉・村越平三郎・成瀬新太郎討死

1560年7月12日-09:00|日本|京都府京都市上京区|永禄3年6月19日|足利義輝、室町殿(二条御所)に移転

1560年7月25日-09:00|日本|大阪府茨木市|永禄3年7月3日|三好長慶、畠山高政の兵を河内国玉櫛でやぶる

1560年7月25日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄3年7月3日|<若江城合戦>三好実休、河内若江城を攻略

1560年7月25日-09:00|日本|熊本県水俣市|永禄3年7月3日|菱刈家より、12屋敷との交換で相良側に水俣城が返還される

1560年8月-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リガ・オアのレヴァル司令官「カスパー・フォン・オルデンボックム」(着任しなかった~1561年6月)

1560年8月4日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|永禄3年7月13日|高野山成慶院を武田一門及び一般民の宿坊にする

1560年8月13日-09:00|日本|大阪府八尾市|永禄3年7月22日|大窪にて三好実休と安見宗房が戦い、実休が勝利

1560年8月14日-09:00|日本|岐阜県関市|永禄3年7月23日|剣術中条流達人の富田勢源が、美濃国主斎藤義龍の命により梅津某と武藤淡路守宅で立ち会い、これを討ち果たす

1560年8月15日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄3年7月24日|松永久秀が大和辰市城に井戸良弘を攻め、救援に出陣した筒井順政を破る

1560年8月19日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄3年7月28日|<井戸城合戦>(7月24日~)松永久秀、筒井氏に勝利。大和辰市城(井戸城)開城

1560年8月22日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄3年8月|<肥田城合戦>六角義賢、肥田城を攻めるも退却

1560年8月22日-09:00|日本|千葉県君津市|永禄3年8月上旬|北条氏康が下総国の久留里城主里見義堯を攻める

1560年8月25日-09:00|日本| ||永禄3年8月4日|<第一回関東遠征>長尾景虎が関東へ出陣(~永禄4年6月)

1560年8月26日-09:00|日本|静岡県浜松市|永禄3年8月5日|龍潭寺(浜松市北区引佐町井伊谷)炎上

1560年8月27日-09:00|日本|大阪府南河内郡|永禄3年8月6日|三好長慶、畠山高政の兵を河内国石川郡でやぶる

1560年8月28日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|永禄3年8月7日|佐竹義昭は結城晴綱の属城である寺山城を攻めた。佐竹方には那須資胤以下那須諸将が味方し結城方には芦名盛氏が味方した。佐竹方優勢であったが寺山城はなかなか落ちなかった

1560年9月 05:00|ペルー| |||<即位>インカ帝国皇帝(ヒラカパンバ 亡命政権)「ティトゥ・クシマコ・インカ・ユパンシ」の息子(~1571年5月天然痘で死亡)

1560迄 (1476件)

- 1560年9月2日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄3年8月12日|松永久秀、井戸城を攻略
- 1560年9月4日-09:00|日本|大阪府寝屋川市|永禄3年8月14日|三好勢池田長正、堀溝で安見宗房を破る
- 1560年9月5日-09:00|日本|熊本県球磨郡多良木町|永禄3年8月15日|<瀬野原の戦い(肥後国)>湯前城主東直政は夜半に蔵人の軍勢を多良木城攻略へと向かわせが、多良木城の城代・岩崎加賀の甥は湯前城にいたのであるが、叔父が討たれることを懸念して策を以って自らの侍女を城外へと出し、この侍女に出兵の情報を伝えさせていたため、岩崎加賀は須恵、深田、木上の地頭の兵を事前に伏兵させ、蔵人がやってくると、伏兵は一気に襲いかかったが、逆に壊滅させられ、多良木城へと逃れた。蔵人はそのまま多良木城を攻撃するが城は落とせず、瀬野原天道ヶ尾へ退きそこで陣を敷いた
- 1560年9月5日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄3年8月15日|<野良田の戦い>近江野良田で行なわれた北近江の戦国大名・浅井長政軍と南近江の戦国大名・六角承禎軍の合戦で浅井長政が勝利し、浅井家の北近江における覇権が確立
- 1560年9月6日-09:00|日本|熊本県球磨郡多良木町|永禄3年8月16日|<瀬野原の戦い(肥後国)>湯前城主東直政、頼美、蔵人の軍勢に加え、日向国向山城の那須武綱、大川内城の那須武宗、小崎城の那須武晴ら地頭衆も援軍として瀬野原に布陣/犬童頼安の人吉衆は横瀬大王祀(多良木町黒肥地横瀬)前に布陣して、深水惣左衛門の多良木衆、須恵、深田、木上の兵は、波志鹿倉(所在地不明)に布陣/多良木衆が先陣となり湯前城主東直政政らと交戦したが、惣左衛門らは討ち死に、多良木衆も壊滅、次に人吉衆がこれと交戦するが、頼美の兵と頼安の兵は知り合い同士で、尚且つ親戚や兄弟同士で戦うことになり、躊躇いがあったものか大きな動きはなく、半刻にも及ぶ鏖戦の攻撃に終始した。だがそのうちに、二度目の戦いであった蔵人の兵に疲れが見え始め、人吉衆がこれを押し始めたことで乱戦となり湯前城主東直政の軍は壊滅。頼美は日向へ逃げたが、直政、及び蔵人を含めた180余名が討ち死に、一方の人吉方は62人が死去/敗戦を聞いた湯前城代・中山和泉は城に火を付けて、自害/湯前城主東直政の妻子及び、頼美の母と侍女らも逃れていた西光寺谷で自害/乱の原因となった侍女(つまり婢)もこの時に全員殉死
- 1560年9月12日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄3年8月22日|宝誉秀林、諏訪山明光寺を開基
- 1560年9月13日-09:00|日本|岐阜県|永禄3年8月23日|織田信長:美濃侵攻、丸毛長時・長井甲斐守衛安と戦い、退却
- 1560年9月16日-09:00|日本|群馬県|永禄3年8月26日|長尾景虎が関東管領上杉憲政らの依頼により、北条氏康攻撃のため関東に出陣
- 1560年9月20日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄3年9月|岡崎城主「松平元康」が織田信長方の挙母・梅ヶ坪・広瀬・伊保・沓掛の砦を攻め陥す
- 1560年9月20日-09:00|日本|長野県松本市|永禄3年9月|<完成>武田晴信が山本勘助に命じて長尾景虎との戦いに備え、海津城(後の松代城)を築城
- 1560年9月20日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|永禄3年9月1日|大友氏の兵が再び伊予宇和郡三間に侵入
- 1560年9月23日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|永禄3年9月|<交替>日向佐土原領主「伊東義祐」⇒「伊東義益」(~永禄12年7月11日(15690823)死去)
- 1560年9月25日 00:00|イギリス| ||<死去>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「フランス・タルボット」
- 1560年9月25日 00:00|イギリス| ||<就任>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「ジョージ・タルボット」先代の息子(~15901118死去)
- 1560年9月28日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永禄3年9月9日|高屋城(河内国)東の河原口にて伊丹親興と貴志・丹下・野尻が率いる畠山勢と交戦し、親興が勝利
- 1560年9月29日-01:00|スウェーデン| ||<死去>スウェーデン王国国王「グスタフ1世」/64歳(誕生14960512)
- 1560年9月29日-01:00|スウェーデン| ||<就任>セーデルマンランド 公「カル」(~16040322)グスタフ1世の息子
- 1560年9月29日-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「エリク14世」(~15680929退位)
- 1560年10月-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Manoel de Vasconcellos」(~1561年死去)
- 1560年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ピエール・レオ・ネ・コルベツリ」「ジヨヴァンニ・シニバルディ」
- 1560年10月4日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|永禄3年9月15日|尾張国比良村六所社の社殿が建立される
- 1560年10月12日-09:00|日本|高知県高知市|永禄3年9月23日|<神森城の戦い>長宗我部元親の家臣福留隼人・中島大和などが神森城を攻め落城
- 1560年10月13日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄3年9月24日|<飯盛城合戦>三好実休、安見直政に勝利
- 1560年10月17日-09:00|日本|群馬県吾妻郡東吾妻町|永禄3年9月28日|<岩下城合戦>上杉景虎、岩下城を攻略
- 1560年10月17日-09:00|日本|群馬県沼田市|永禄3年9月28日|<沼田城合戦>上杉景虎、北条孫次郎の沼田城を攻略
- 1560年10月18日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄3年9月29日|<厩橋城合戦>長尾景虎、厩橋城を攻略。以降、越後軍の戦略拠点
- 1560年10月19日-09:00|日本|群馬県安中市|永禄3年10月|上杉謙信、碓水城原氏攻撃。援軍小倉内蔵介勝久、伊賀衆率い河越城(埼玉県川越市)北条氏堯を守る/一宮宗是外より碓水城と連絡取り上杉軍8千敗走させる
- 1560年10月19日-09:00|日本|滋賀県長浜市|永禄3年10月|<交替>近江小谷領主「浅井久政」隠居⇒子の「浅井長政」(~天正元年9月1日(15730926)死去滅亡)
- 1560年10月19日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|永禄3年10月|佐竹義昭、陸奥寺山城を攻略
- 1560年10月23日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|永禄3年10月5日|伊予に侵入した大友氏の兵が、宇和郡石城を落とす
- 1560年10月28日-09:00|日本|京都府宇治市|永禄3年10月10日|飯盛城の後詰めに出陣した香西道印・波多野右衛門・木沢新太郎らが宇治周辺で放火するが、丹波から到着した松永長頼がこれを討つ
- 1560年10月30日-09:00|日本|京都府宇治市|永禄3年10月12日|松永長頼、炭山に拠る香西元成を敗死させる

1560迄 (1476件)

1560年10月30日-09:00|日本|京都府京都市南区|永禄3年10月12日|内藤宗勝、木幡・鳥羽に攻め込んできた細川晴元軍を破る

1560年11月2日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永禄3年10月15日|三好長慶が河内高屋城救援に来た根来衆を破る

1560年11月11日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永禄3年10月24日|<高屋城合戦>三好長慶、高屋城畠山高政に勝利

1560年11月14日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄3年10月27日|三好長慶が河内飯盛城の守護代安見安房を攻撃、安見直政降伏

1560年11月18日-09:00|日本|大阪府|永禄3年11月|<就任>河内国守護「三好義賢(実休)」(~永禄5(1562)年3月敗死)

1560年11月18日-09:00|日本|埼玉県羽生市|永禄3年11月|<羽生城合戦>広田直繁、中条出羽守に勝利し羽生城を奪還

1560年11月18日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|永禄3年11月|<就任>大和信貴山領主「松永久秀」信貴山城4層高殿(天守)完成(⇒1562年、大和多聞山に移転~永禄6(1563)年12月14日隠居)

1560年11月18日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|永禄3年11月|<信貴山城改修>松永久秀、信貴山城に4層高殿(天守)完成

1560年11月18日-09:00|日本|栃木県矢板市|永禄3年11月初旬|常陸国太田城主佐竹義昭が陸奥国の白河城主白河晴綱や合津城主葦名盛氏らと戦って寺山城を落とし、陸奥国の南郷を攻略

1560年11月20日-09:00|日本|山梨県甲州市|永禄3年11月3日|<勝沼騒動>勝沼信元謀反、武田信玄の命を受けた山県昌景に誅殺され、勝沼氏は改易

1560年11月29日-09:00|日本|埼玉県羽生市|永禄3年11月12日|<羽生城合戦>広田直繁、中条出羽守に勝利し羽生城を奪還/長尾景虎、広田直繁に羽生城を安堵

1560年11月30日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄3年11月13日|三好長慶、飯盛城に入城し、居城。芥川山城には三好義興、高屋城に三好実休を配置

1560年11月30日-09:00|日本|奈良県葛城市|永禄3年11月13日|松永久秀が万歳城を攻め、万歳氏は降伏して開城/この日長慶は本城を芥川城から飯盛城へ移した/実休(義賢)は高屋城へ入る

1560年12月5日-01:00|フランス| |||<即位>オルレアン公「アンリ2世」フランス王アンリ3世(~15660208)

1560年12月5日-09:00|日本|奈良県桜井市|永禄3年11月18日|松永久秀が泊瀬の桜坊城を攻め開城させる

1560年12月5日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王フランス2世がわずか17か月の治世で(1544-、16歳)/「ヴァロワ朝」が断絶

1560年12月5日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王(ヴァロワ=アングレーム家)シャルル9世[アンリ2世の子フランス2世の弟](~15740530)母后カトリーヌ・ド・メディシスが摂政となる

1560年12月11日-09:00|日本|奈良県宇陀市|永禄3年11月24日|松永久秀、沢氏の大和国沢城と檜牧城陥落

1560年12月15日-09:00|日本|熊本県人吉市|永禄3年11月28日|肥後人吉領主「相良頼房(義陽)」は相良義滋の四女・千代菊と婚儀

1560年12月16日-09:00|日本|奈良県宇陀市|永禄3年11月29日|大和・松永久秀、宇陀郡を制圧。大和一国、完全に松永久秀の手中に入る

1560年12月17日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|永禄3年12月|上旬、長尾景虎、那波城攻略/那波宗俊に対し勝利

1560年12月17日-09:00|日本|埼玉県川越市|永禄3年12月|<河越城合戦>長尾景虎、河越城を包囲。北条氏堯、長尾景虎に勝利し河越城を防衛

1560年12月17日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|永禄3年12月|後藤貴明、須古の平井経治と戦って敗れる

1560年12月17日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄3年12月|毛利軍の仁保隆慰が門司城を奪回/以降仁保隆慰が門司城番となる

1560年12月23日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄3年12月7日|上杉景虎、赤石城(那波宗俊)を攻略

1560年12月30日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄3年12月14日|上杉景虎、既に従っていた厩橋城の厩橋長野彦九郎と、その叔父を誅殺、領地を接収